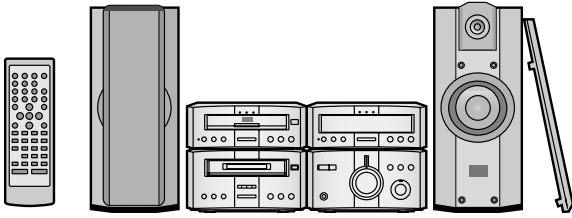
Panasonic®

DVD オーディオシステムコンポーネント

取扱説明書

品番　**SC-HDA710**

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、DVD オーディオシステムコンポーネントをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5436-S

DVD ビデオのリージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD ビデオソフトとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は 2 です。
本機は、「2」(または 2 を含むもの)と、「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

など

本機で再生できるディスクと本書内のマークについて

本機で再生できるディスクについては以下の表をご参照ください。(本機は、DVD のドルビーデジタルおよび dts をそのまま再生できます。)
また本書では、操作ごとに扱えるディスクと(ラジオ)の種類をマークで示しました。操作説明をお読みになるときの目印にしてください。

○ 再生できるディスク

名称	ロゴマーク	映像方式	本書内マーク
DVD オーディオ	DVD AUDIO	NTSC/PAL (PAL は音声のみ再生可能)	DVD-A
DVD ビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	NTSC	DVD-V
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	NTSC	VCD
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		CD
MD	Mini Disc		MD

ラジオの本書内マーク ラジオ

× 再生できないディスク

- **CD-R、フォト CD**
  ディスクの中身が壊れる恐れがありますので、絶対に再生しないでください。
- リージョン番号が 2、ALL 以外の DVD ビデオや、映像方式が PAL のディスク(DVD オーディオは音声のみ再生可能)
- その他
  SACD DVD-ROM DVD-R/DVD-RAM CD-ROM
  VSD CDV CD-G CD-RW DVD+RW SVCD など

もくじ

まず 確認と準備

すぐ 使う

もっと 使いこなす

もし 必要なとき

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

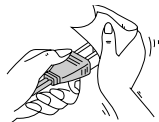
⚠ 警告

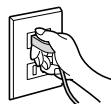
電源コードについて

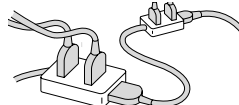
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

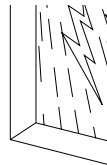
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線、機器やプラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造しない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

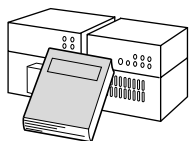
もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **スピーカーを壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを正しく接続する

- 付属以外のスピーカーを接続したり、誤った接続をすると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

DVD トレイ、MD 扉の奥には手を入れない

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

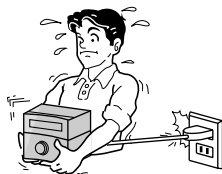
注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

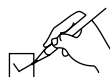
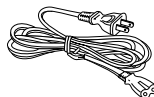
電池について

電池は正しく取り扱う

- **＋と－は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

接続の前に、まず付属品を確かめてください。

□ 電源コード .... 1 本

（RJA0059-J）

□ スピーカーコード .... 2 本

（REE0993）

□ フラットケーブル .... 2 本

（REX0900）

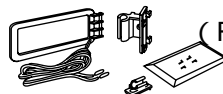
（REX0812）

□ オプティカル・デジタル・ケーブル ..1 本

（RJL1X008B05）

□ FM 簡易型アンテナ .... 1 本

（RSA0006-J）

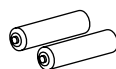
□ AM ループアンテナ .... 1 セット

（RSA0021）

□ 映像コード .... 1 本

（RJL1P019B15）

□ リモコン .... 1 コ

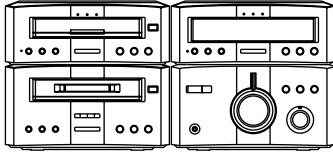
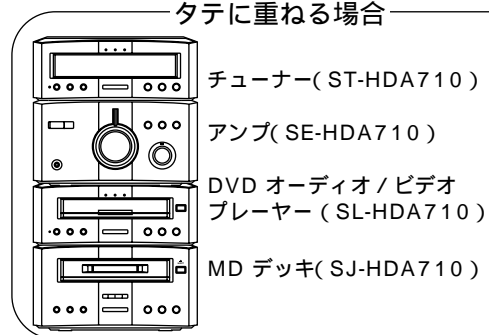
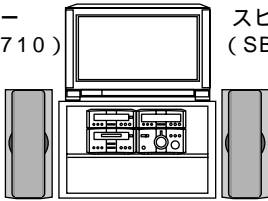
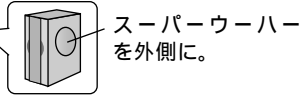
（RAK-HDA36WH）

□ リモコン用単 3 形乾電池 .... 2 コ

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

（　　）内は、買い替え時の品番です。

本システムの設置と接続

設置のしかた

本体の設置

スピーカーの設置（例）

良い音質で楽しむために

- 本スピーカーの側面（外側）にはスーパーウーハーが、後面はバスレフポートがありますので、それぞれの面と壁などが密着しないようにしてください。スーパーウーハーからは5 cm 以上、バスレフポートからも 5 cm 以上空けてください。
  ただし、特に低音は部屋の状態などによって異なりますので、好みの音質になるよう色々な設置位置を試してみてください。本機に搭載した BLFS 機能（⇒ 37 ページ）を使って重低音を調整することもできます。
- スピーカーは、床の上や、しっかりとした台、棚などの安定した場所に置いてください。また、天井や壁には取り付けないでください。

防磁設計について

- 本スピーカーは、テレビとの近接が可能なスピーカーシステム（防磁設計 EIAJ*）ですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。

* 「防磁設計（EIAJ）」とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

接続のしかた

スピーカーコード（付属）

先端を回しながら抜く。（芯線がねじれた状態になる）

スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

スピーカーコード

スピーカー側

① レバーを押しながら芯線を入れる。

② 指を離す。

黒　黒　黒　灰　青　赤

灰
灰(黒線)
青
青(黒線)
赤
赤(黒線)

本体側

① レバーを開いて、芯線を入れる。

② レバーを閉じる。

灰　黒　青　黒　赤　黒

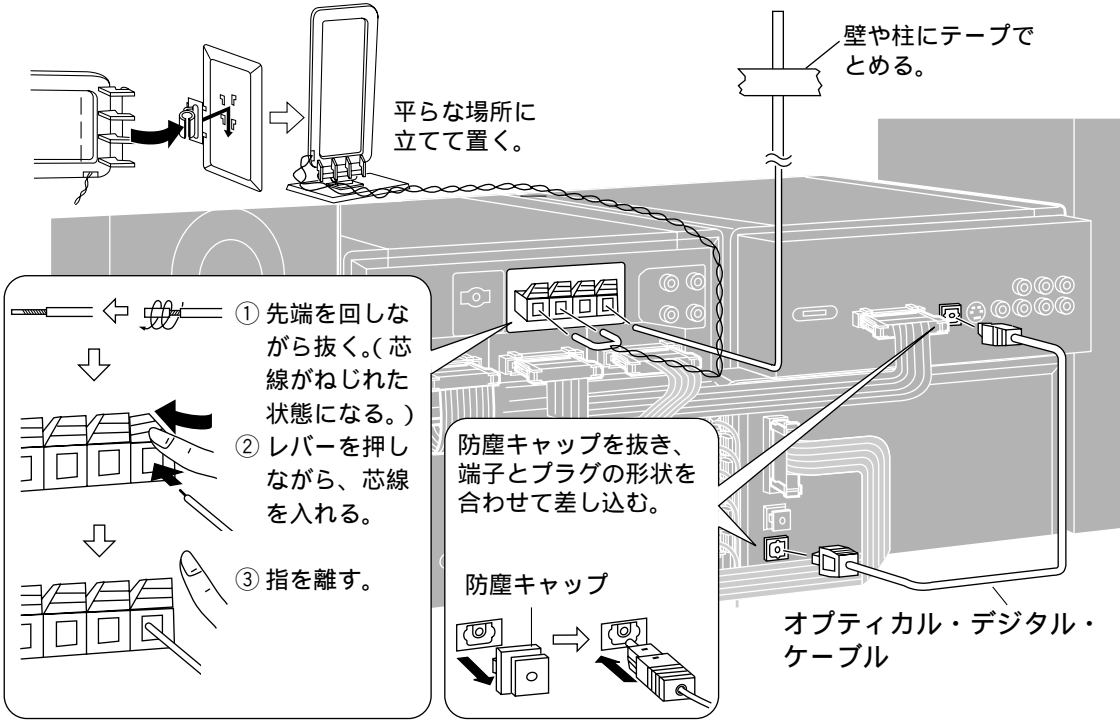
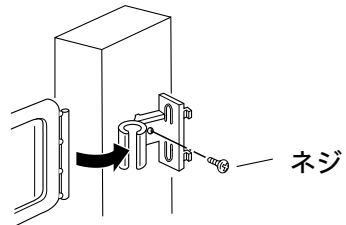
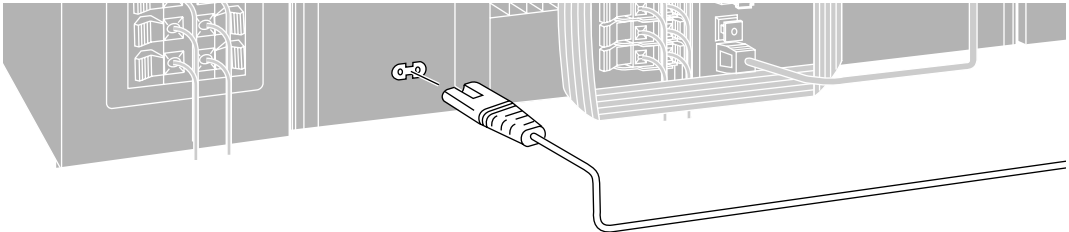
HIGH　MID　LOW　R　L

灰
灰(黒線)
青
青(黒線)
赤
赤(黒線)

L 側も同様に接続してください。

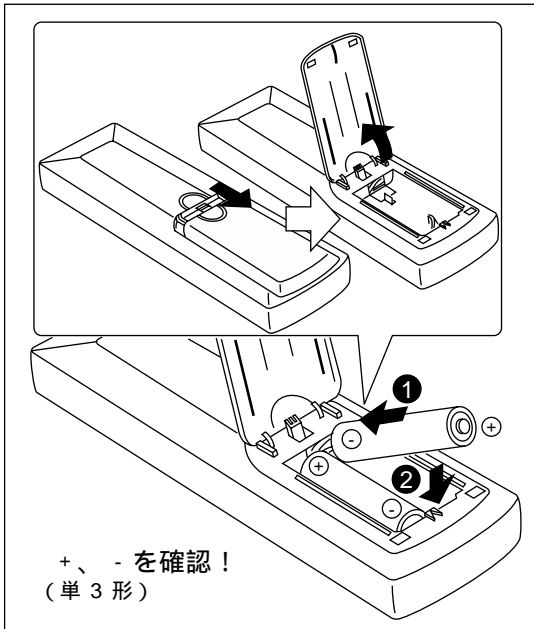
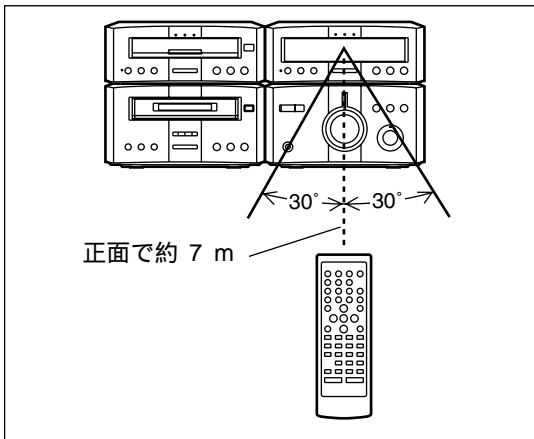
フラットケーブル（付属）

A へ接続した後、B1から B2 へ、C1から C2 へ接続してください。
ケーブルの白線が右側にくるようにしてください。

アンテナ（付属）とオプティカル・デジタル・ケーブル（付属）

AM ループアンテナをラックや柱などに取り付ける場合は
市販のネジを使って、右図のように固定してください。

電源コード（付属）

長期間使用しないときは
節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
本機は、[POWER ⏻/|] で電源を切った後でも、以下の電力を消費しています。
- ECO モードのとき：約 0.4 W
- NORMAL モードのとき：約 9 W

なお、本機のメモリー（時計以外）は電源コードを抜いた状態でも約 1 週間保持されます。

リモコンの準備

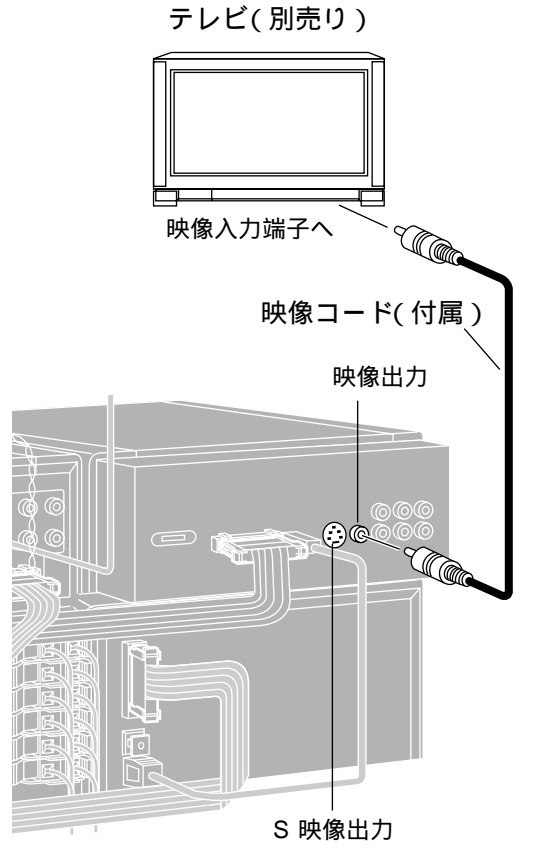
乾電池（付属）の入れかた

リモコンの使いかた

お願い

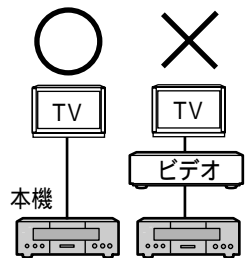
- 受光部とリモコンの間に障害物は置かないでください。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
- 受光部と送信部のほこりに注意してください。

本体をラックに入れて使用するとき
ラックのガラス扉の厚さや色によって、リモコンの動作範囲が短くなることがあります。

テレビの接続と設定

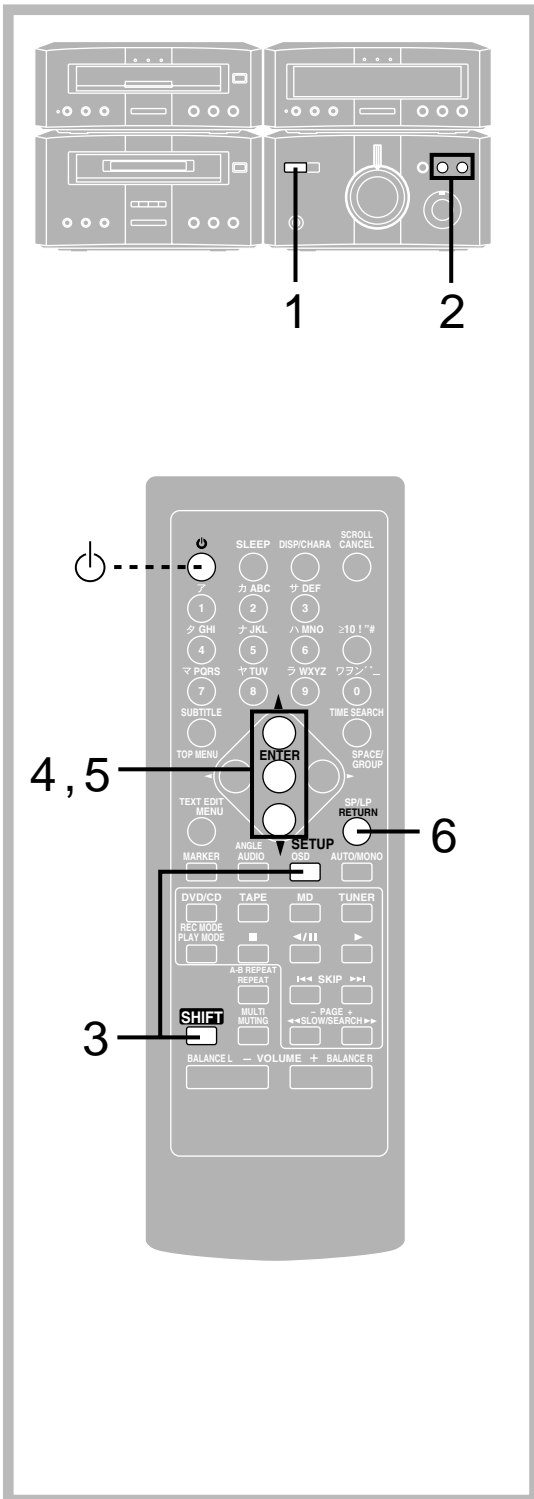
テレビと接続する（映像接続）

映像入力端子のあるテレビと接続します。

S 映像出力端子について
テレビに S 映像入力端子がある場合は、本機の S 映像出力と S 映像コード（別売り）で接続することで、より高画質でお楽しみいただけます。（このとき付属の映像コードは不要です。）

お願い
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキや VTR 内蔵テレビを経由させると、コピーガードの影響で再生中画面が乱れることがあります。

テレビに合わせて本機を設定する

画面サイズが 4:3 のテレビの場合は、この設定は不要です。(工場出荷時設定)

準備

テレビのビデオ入力を、本機との接続に合わせて切り換える。(ビデオ 1 など)

1 [POWER]を押す

リモコンでは［⏻］を押す。
電源が入ります。

2 [INPUT SELECTOR(▼または▲)]を押して、"DVD"を選ぶ

本体表示窓

ディスクが入っていないことを示しています。

押すたびに
DVD ↔ MD ↔ AUX ↔ EXT ↔ TUNER

3 [SHIFT]を押しながら [SETUP]を押す

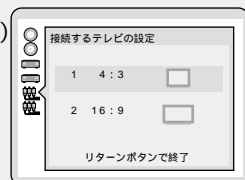
初期設定画面を表示します。

テレビ画面

4 カーソルボタン(▲▼)で"5 接続するTV"を選び [ENTER]を押す

5 カーソルボタン(▲▼)で画面サイズを選び [ENTER]を押す

［1］4:3 (標準テレビ)
(工場出荷時)

［2］16:9 (ワイドテレビ)

6 [RETURN]を押して、設定を終了する

デモ機能、時計、節電機能の設定

電源「切」時の表示について

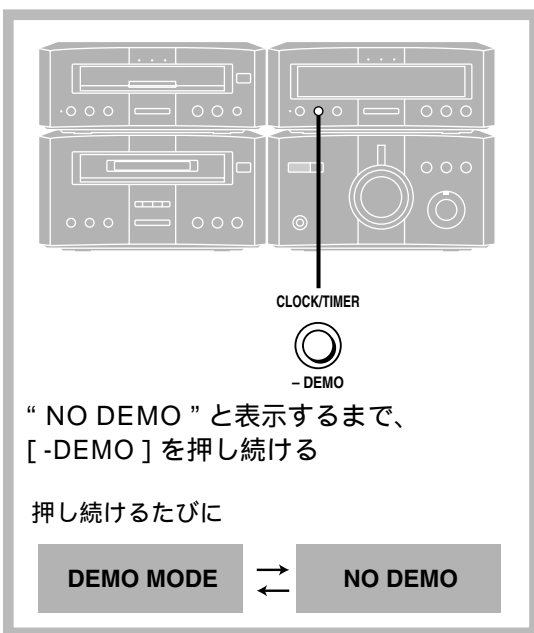
デモ機能

- 電源コードをつなぐと、表示が次々に変化する機能が、自動的に働きます。
  これを **「デモ（デモンストレーション）機能」** と呼びます。
- お買い上げ時の設定は「入」です。

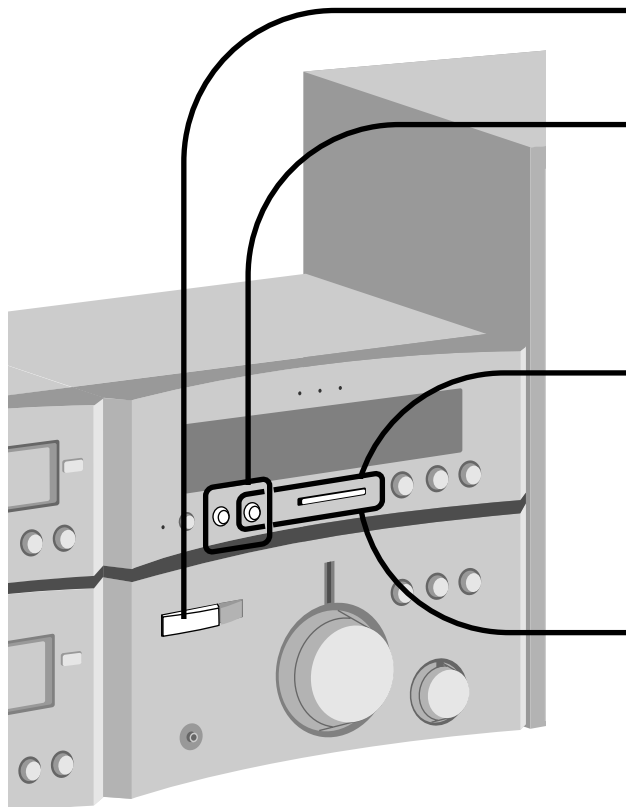
デモ機能を「切」にするには

“ NO DEMO ”と表示するまで、[-DEMO] を押し続ける

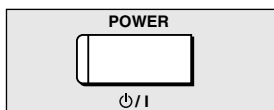
押し続けるたびに

DEMO MODE ⇄ NO DEMO

- この操作は、電源「入」「切」どちらの状態でも行えます。

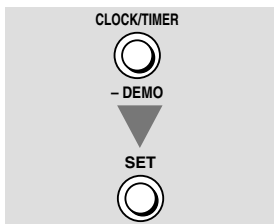
時計を合わせる（24時間表示）

例： 火曜日の 16時25分（午後4時25分）

電源待機時の節電機能について

- 電源を切った後に時計などを表示させないことで、待機時の消費電力を 9 W から 0.4 W へと節電することができます。
- お買い上げ時の設定は「ECO（節電）」です。

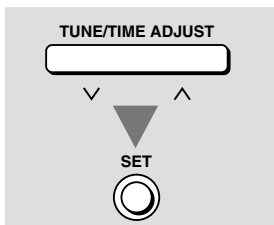
1

押して
電源を入れる

2

押して
“ CLOCK ”を選び

CLOCK

[CLOCK/TIMER]を押すたびに
CLOCK → PLAY → REC
元の表示

約 7 秒以内に
押す

3

押して
曜日を選び

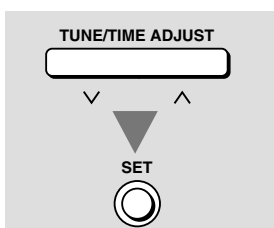
SUN	：日曜	MON	：月曜
TUE	：火曜	WED	：水曜
THU	：木曜	FRI	：金曜
SAT	：土曜		

SUN MON TUE WED
THU FRI SAT

押す

TUE 0:00

4

TUNE/TIME ADJUST
SET

押して
時刻を選び

ボタンを押し続けると、時刻が早く進みます。

TUE 16:25

時報などに合わせて
押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

TUE 16:25

時計を表示させるには

[CLOCK/TIMER]を押す
時計を約 5 秒間表示します。

お知らせ

- 電源「切」時、NORMAL モード (⇒ 下記) のときは、常に時計表示になります。
- 時計を合わせるとデモ機能 (⇒ 左ページ) は自動的に「切」になります。ただし、電源コードを抜くなどして時刻が解除されると「入」に戻ります。（あらかじめデモを「切」にしていた場合は戻りません。）

電源を入れ、[MODE]を押す
現在のモードを表示します。

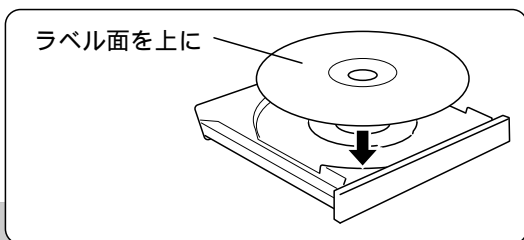
モード表示中にもう一度押すとNORMAL/ECO が切り換わります。

お知らせ

電源「切」時でも、[MODE]を押すとNORMAL → ECO に切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。

ご使用前に

DVD、ビデオ CD、音楽 CD を再生する

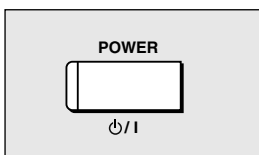
DVD-A DVD-V VCD CD

DVD、ビデオ CD について
ソフト制作者の意図によって再生方法が決められているディスクでは、一時停止、早送りなどいくつかの操作を禁止している場合がありますので、ディスクの説明書もよくお読みください。

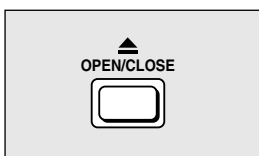
DVD 再生時の MULTI (音声切換) 表示 について
2 CH：別売りの専用システム (SC-HDX3) を接続して、DVD の多チャンネルサウンドを楽しむときに点灯させます。本機のスピーカーをフロント 2ch (L/R) 用として使用することを示しています。(⇒ 60 ページ)
DOWN MIX：通常はこのランプが点灯します。3 ch 以上の音声を 2 ch に集約できることを示しています。(⇒ 点滅した場合は 73 ページ参照)
他のランプが点灯している場合は、[MULTI] をポンポンと押すと、このランプを点灯させることができます。

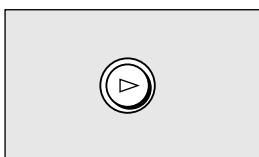
V.S.S.：V.S.S. 効果を楽しんでいるとき点灯します。(⇒ 36 ページ)

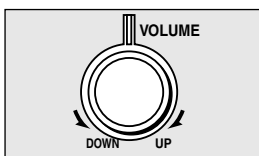
お知らせ
- **テレビ画面に“ ⊘ ”が表示された場合は、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。**
- メニューが出ているときは、画面が静止していてもディスクは回っています。再生しないときは [■] を押して停止させてください。

準備：テレビのビデオ入力を、本機との接続に合わせて切り換える。（ビデオ 1 など）

1

押して
電源を入れる

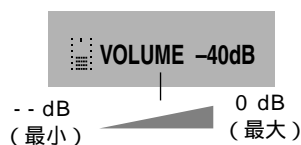
2

押して
トレイを開き、ディスクをのせる

3

押して
再生を始める

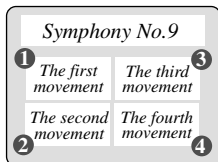
トレイは自動的に閉まります。
入れたディスクの種類合わせてソース表示が点灯します。

ご参考

- [▲ OPEN/CLOSE]を押してトレイを閉めると、ディスクの情報（曲数など）を読み込みます。ほとんどの DVD では、この後自動的に再生が始まります。
- 入力が他のソース（MD など）になっていても、[▶]を押すと自動的に DVD（ビデオ CD、音楽 CD も含む）に切り換わります。

4

回して
音量を調整する

メニュー画面になったときは

DVD やビデオ CD では、再生を始めたときや終了したときにメニュー画面になるものがあります。そのときは以下のように選んでください。

メニュー画面（例）

DVD の場合
リモコンのカーソルボタン（◄▲▼►）でメニューを選び、[ENTER]を押す
多くは、リモコンの数字ボタンでも選べます。

ビデオ CD の場合
リモコンの数字ボタンでメニューを選ぶ

10 以上の数字の選びかた
例 10：≥10→1→0
例 25：≥10→2→5

DVD オーディオのグループ再生について

DVD オーディオでは通常、グループ 1 のみを再生して停止します。別のグループの再生は、「グループ指定で再生する」（22 ページ）をご覧ください。

一時停止（静止）するには

[▮▮]を押す
解除するには[▶]を押す。

停止するには

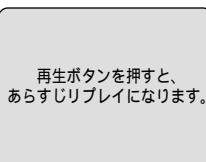
[■]を押す
[▶]ボタンが点滅しているときは、**続き再生メモリー機能**（⇒ 下記）が働いています。
（本体表示窓では“ RESUME ”が点灯。）

解除するには、再び[■]を押す。

停止した位置から再生するには

（続き再生メモリー機能）
点滅している[▶]を押す

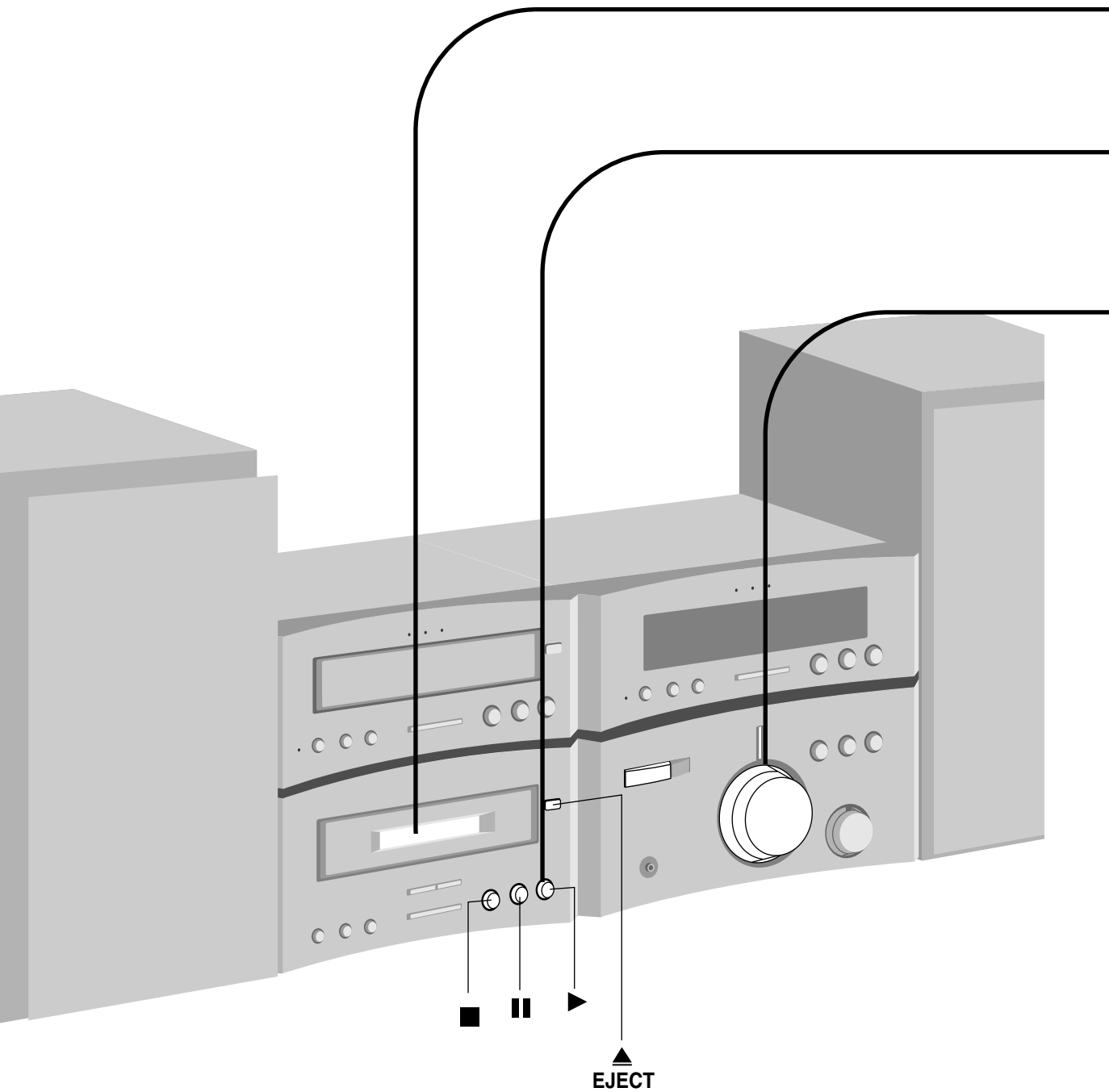
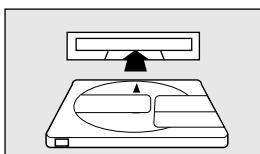
（DVD ビデオのみ）
テレビ画面に以下のメッセージが表示された場合は、表示中に再び[▶]を押すと、あらすじリプレイになります。
押さなければ、停止位置からの再生が始まります。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

あらすじリプレイ：
それまで見た位置までのチャプターの冒頭部分を順次再生する機能です。その後、停止した位置からの通常再生が始まります。

お知らせ

- 表示窓に時間経過が出ないディスクの場合は、続き再生メモリー機能は働きません。
- 電源を切ってもメモリーは保持されます。（オールグループ、プログラム、ランダム再生時以外）
- あらすじリプレイのできない DVD ビデオもあります。

MD を再生する

MD

1

録音済み MD を入れる

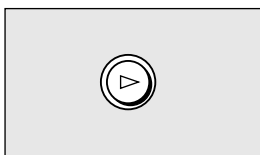
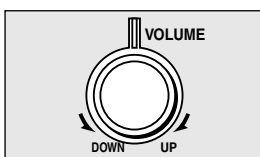
途中から自動的に引き込まれ、電源が入ります。

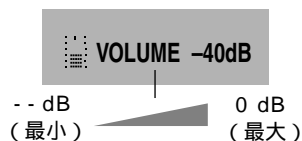
2

押して

再生を始める

ご参考

- あらかじめ本機の入力が MD になっている場合は、MD を入れると TOC 情報（⇒69 ページ）を読み込んで表示します。
- 入力が他のソース（DVD など）になっていても、[▶] を押すと自動的に MD に切り換わります。

3

回して

音量を調整する

一時停止するには

[❚❚] を押す
解除するには [▶] を押す。

停止するには

[■] を押す

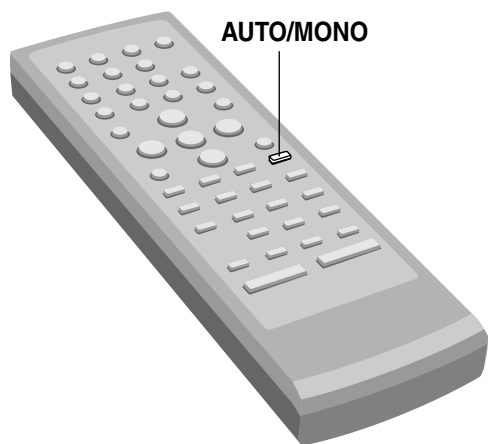
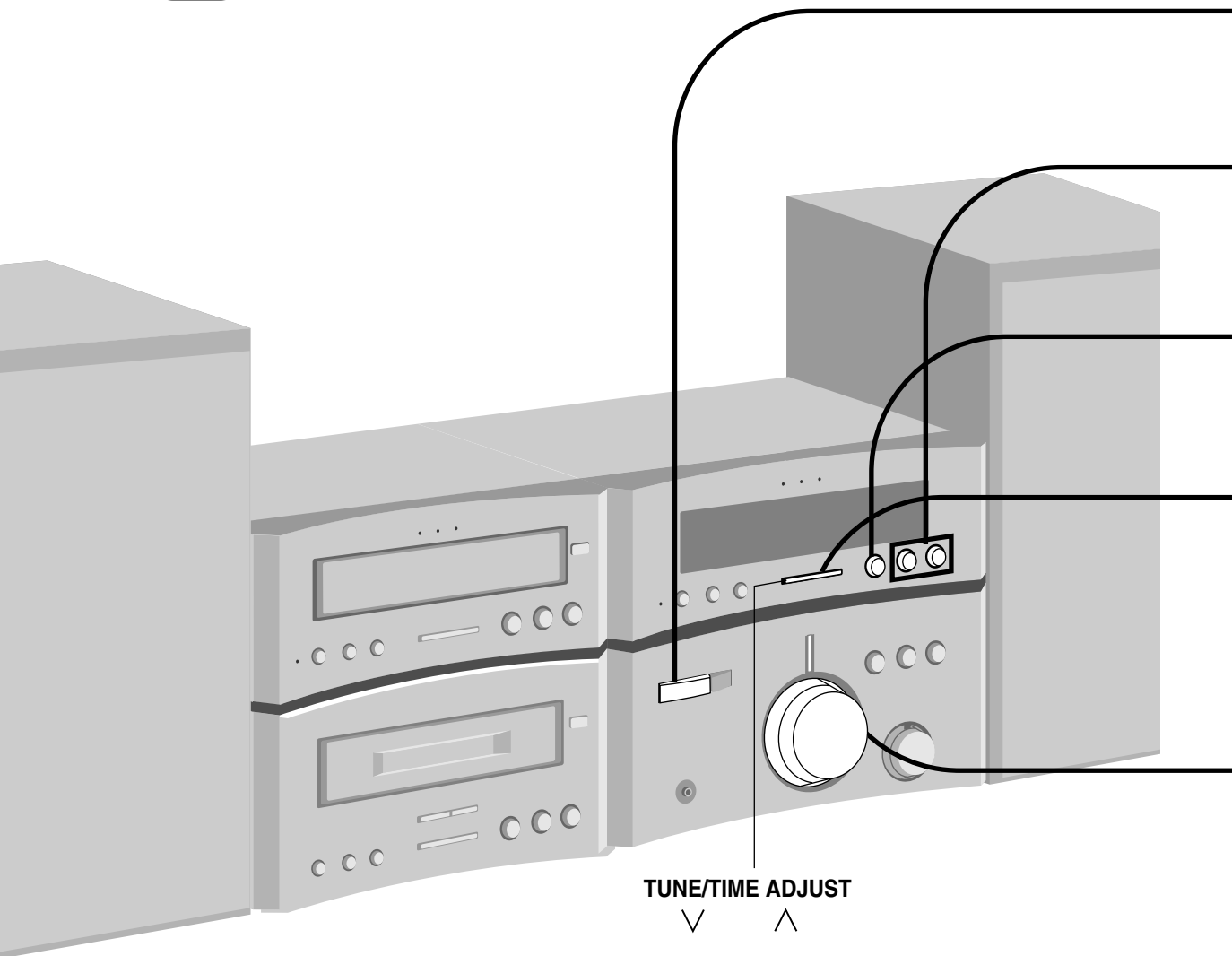
MD を取り出すには

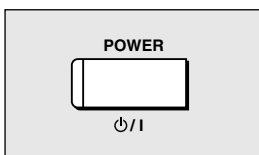
[▲ EJECT] を押す

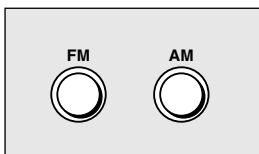
お知らせ

- 通常録音（SP）と長時間録音（LP）が混在した MD でもそのまま再生できます。
- MD 再生時は、テレビ画面には何も映りません。

ラジオを聞く

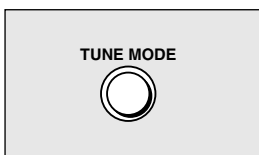
ラジオ

TUNE/TIME ADJUST
∨　∧

1

押して
電源を入れる

2

[FM]または[AM]を押す

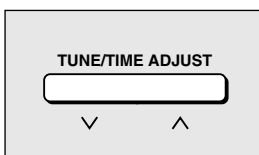
FM 76.0 MHz

FM を選ぶと、TV 1～3 ch を受信できます。

3

押して
“MANUAL”を選ぶ

MANUAL

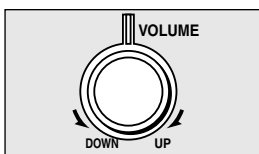
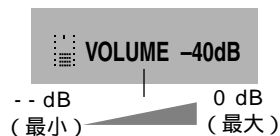
4

押して
放送局を選ぶ

FM 85.1 MHz
TUNED STEREO

押し続けると、自動選局ができます。（⇒ 下記）

テレビ（1～3 ch）は FM で受信します。
TV 1 ch：95.75 MHz
TV 2 ch：101.75 MHz
TV 3 ch：107.75 MHz

5

回して
音量を調整する

自動選局するには

[TUNE/TIME ADJUST（∨ または ∧）]を押し続ける

周波数が動き始めたら、指を離してください。最初に見つけた放送局で自動的に止まります。

お知らせ

周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。

FM ステレオで雑音が多いときは

リモコンの[AUTO/MONO]を押して、“MONO”を表示させる

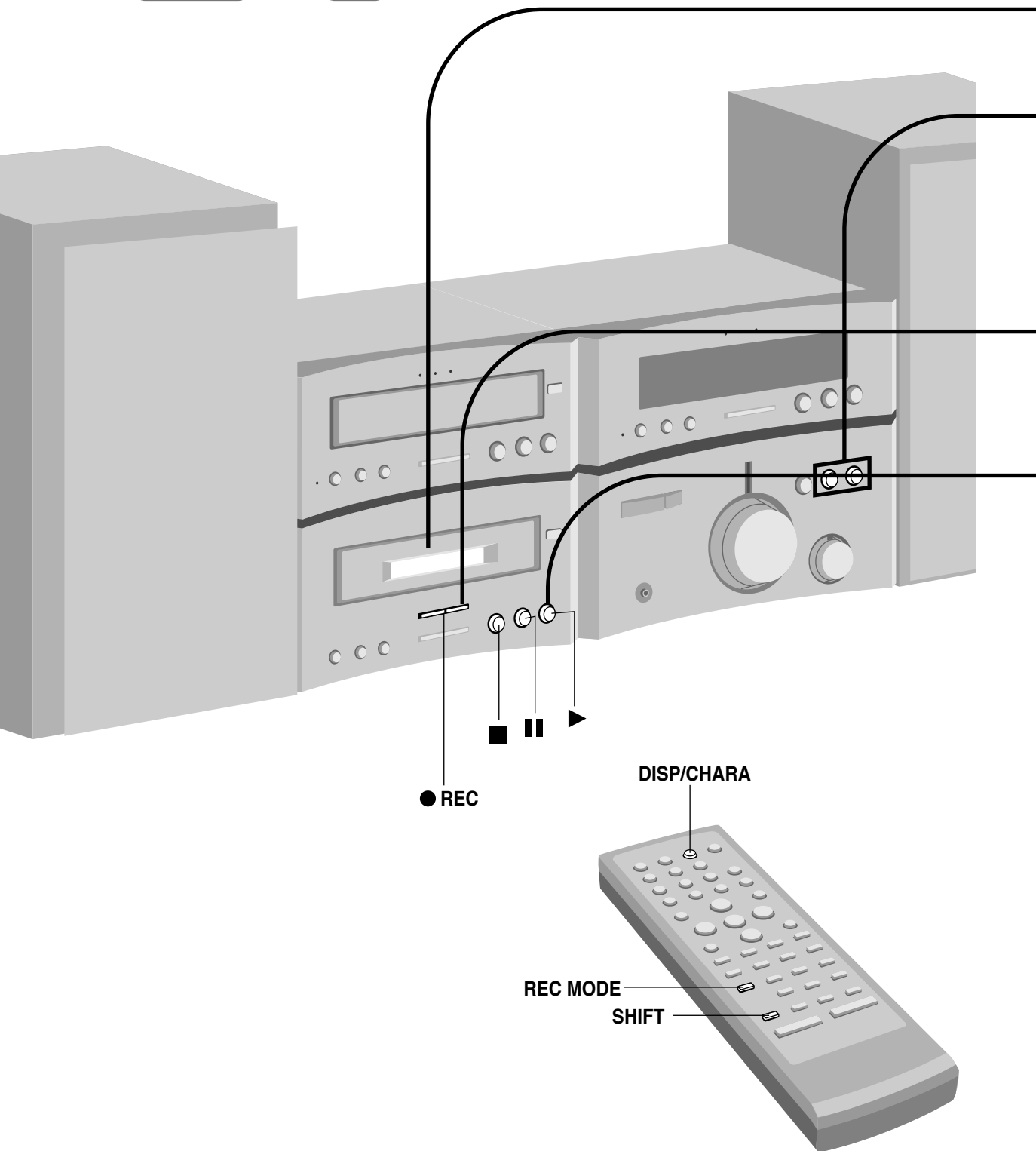
MONO

モノラル受信になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
通常は再び押して、“AUTO”（自動判別）に戻しておいてください。

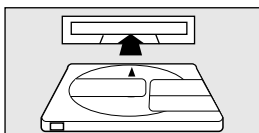
お知らせ

- 本機のテレビ受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 ch、3 ch に FM 放送が混信することがあります。
- 受信状態が悪いときは、屋外アンテナの利用をおすすめします。（⇒ 58 ページ）
- ラジオ受信時は、テレビ画面には何も映りません。

ＭＤ に録音する（基本の録音方法）

全ソース共通 ••▶ ＭＤ

EXT、AUX からの録音について
別売りの外部機器から録音するときに選びます。
くわしくは 57〜59 ページをご覧ください。

シンクロ録音機能について
本機のプレーヤーから録音するとき、プレーヤー側の［▶］や［❚❚］でMDデッキの動作をコントロールすることができます。（⇒ 42 ページ）

1

録音用 MD を入れる

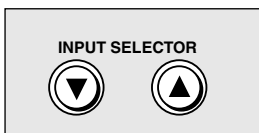
途中から自動的に引き込まれ、電源が入ります。

録音用 MD については 67～68 ページをご参照ください。

2

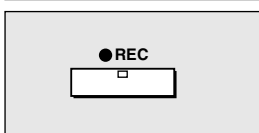
押して

録音するソースを選ぶ

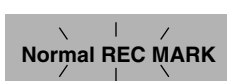
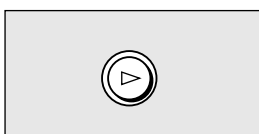
DVD SP

押すたびに
DVD（DVD/ビデオ CD/音楽 CD）↔ MD ↔ AUX ↔ EXT
TUNER（ラジオ）

この表示を“ LP ”に切り換えると、長時間（モノラル）録音することができます。（⇒ 43 ページ）

3

押して

録音待機状態にする

Normal REC MARK

［▶］ボタンが点滅します。
“ Normal REC MARK ”と MD の録音可能時間が点滅します。このとき、トラックマーク（曲番）の付けかた（⇒ 下記）を選択することができます。

4

押して

録音を始める

［▶］ボタンが点灯に変わります。

5

ソースの再生を始める

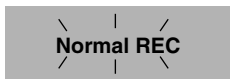
トラックマーク（曲番）の付けかた

以下の場合は、トラックマークが自動で記録されます。

- ソースに曲番が記録されているとき
- ソースに数秒以上の無音部があるとき

好みの位置にトラックマークをつけたり、トラックマークが自動で記録されないようにすることもできます。

好みの位置に記録するには
録音中に、好みの場所で［● REC］を押す

自動で記録されないようにするには
手順 3 の後
リモコンの［SHIFT］を押しながら、［REC MODE］を押して、“ Normal REC ”を選ぶ

Normal REC

押すたびに
Normal REC → Auto Space MARK → Auto Space → Turn Back MARK → Turn Back → Normal REC MARK（通常録音）
（⇒ 他のモードについては、43 ページをご覧ください。）

MD の録音可能時間を確認するには

リモコンの［DISP/CHARA］を押す
録音前は
1 回押すと録音可能時間を表示します。
録音中は
1 回押すと録音中のトラック番号を表示し、2 回押すと録音可能時間を表示します。

さらにポンポンと押すと、再生されている音声のチャンネル（ディスク再生時のみ）とレベルを順次表示していき、最後は元の表示に戻ります。

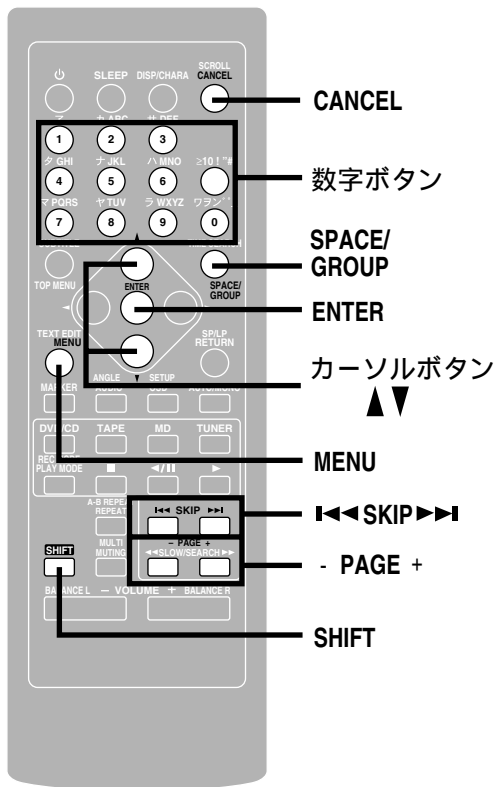
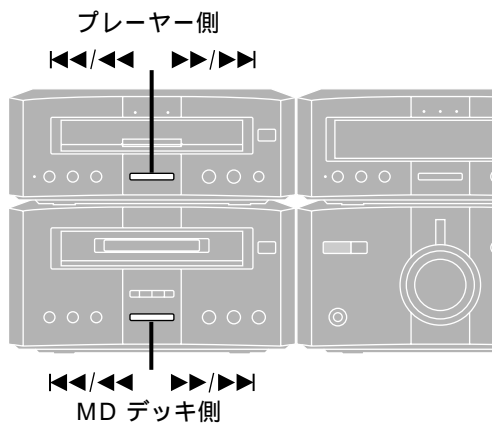
録音を一時停止するには

MD デッキの［❚❚］を押す
ソースの再生は継続します。MD デッキの［▶］を押すと再び録音を始めます。

録音を停止するには

MD デッキの［■］を押す
“ MD UTOC Writing ”の点滅後、録音が終了します。

グループや曲、場面を選ぶ

表示はテレビ画面を例に説明しています。

お知らせ

- 入力中に数字をまちがえた場合は［CANCEL］を押してください。
- メニュー画面で暗証番号を入力する場合もあります。そのときは画面の指示に従ってください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまでは何度も再生できます。

グループ指定で再生する

DVD-A

再生中または停止中に

1 [SPACE/GROUP]を押して、グループを選ぶ

押すたびに、グループ番号が切り換わります。

G1 T1

- カーソルボタンの（▲▼）や、数字ボタンでも選べます。

2 [ENTER]を押す

トラック選択画面になります。
カーソルボタンの（▲▼）でトラックを選び、**再び[ENTER]を押してください。**
再生が始まります。

お知らせ

動作状態（メニュー表示中など）によって選べないこともあります。

ボーナスグループを再生する

DVD-A

ボーナスグループが入った DVD オーディオでは、暗証番号を入れることでこれを再生できるようになります。

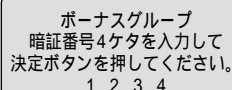
- 暗証番号については、ディスクのジャケットなどをご参照ください。
- プログラムやランダム再生でボーナスグループを指定した場合も、同じ操作を行ってください。

停止中に

1 [SPACE/GROUP]を押してボーナスグループを指定し、[ENTER] を押す

2 数字ボタンで暗証番号を入力する

（例：1234）

ボーナスグループ
暗証番号4ケタを入力して
決定ボタンを押してください。
1 2 3 4

3 [ENTER]を押す

トラック選択画面になります。
カーソルボタンの（▲▼）でトラックを選び、**再び[ENTER]を押してください。**
再生が始まります。

停止中にリモコンで操作する場合、再生する機器が選ばれていないときは、先に本体の[INPUT SELECTOR]か、リモコンの入力ボタン([DVD/CD]または[MD])で切り換えてください。

曲や場面を飛び越す(スキップ)

DVD-A DVD-V VCD CD MD

曲(トラック)や場面(チャプター)の頭へ飛びます。

[SKIP(⏮または⏭)]を押す

本体では[⏮/◀◀　▶▶/⏭]を押す。

⏭ :進む

⏮ :戻る

- 押した回数だけ飛び越します。
- 戻る方向へ 1 回押すと、再生中の曲/場面の頭に飛びます。

お知らせ

- DVD やビデオ CD のメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。
- ディスクにより、スキップができない場合もあります。

静止画を選ぶ(ページスキップ)

DVD-A

静止画付きの DVD オーディオでは、好みの画像を選ぶことができます。

再生中に

[SHIFT]を押しながら

[PAGE(−)または(+)]を押す

+:進む

−:戻る

お知らせ

スライドショー形式(自動的に静止画が送られるタイプ)の映像などでは選択できないことがあります。

曲や場面を番号指定で選ぶ

DVD-A DVD-V VCD CD MD

曲(トラック)や場面(チャプター)の番号を指定して再生します。

- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオ CD は、メニュー機能を解除することで行えます。(下記参照)

再生中または停止中に

数字ボタンを押して、曲(トラック)または場面(チャプター)を選ぶ

10 以上のときは

例 10:[≥10]→[1]→[0]

例 25:[≥10]→[2]→[5]

例 125(MD のみ):[≥10]→[≥10]→[1]→[2]→[5]

お知らせ

- DVD オーディオで別のグループの曲を選ぶ場合は、まずグループを選んでください。
- 動作状態(メニュー表示中など)によってできない場合があります。
- ディスクにより、曲番が指定できない場合もあります。

ビデオ CD のメニュー機能を解除するには(PBC 解除)

好みのトラックを番号指定で再生できるようになります。

番号指定を行った場合は、メニューを選ぶことなく、トラックが連続再生されます。

メニュー表示中に[■]を押す

(本体表示窓の" PBC "が消灯)

メニュー機能を使うには

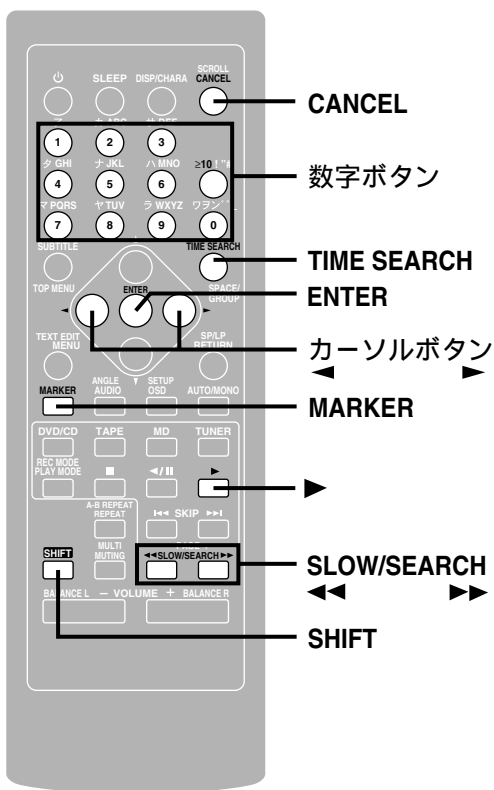
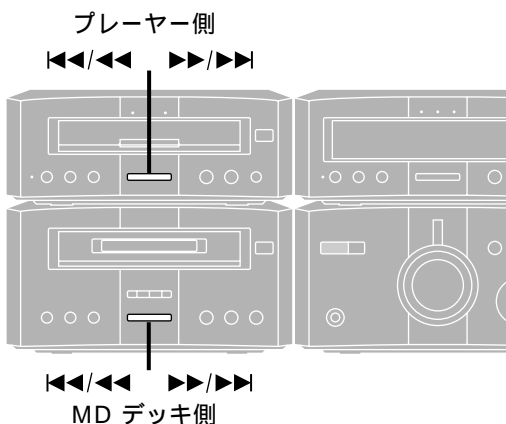
1. [■]を押して、再生を止める。
2. [MENU]を押す。
(本体表示窓に" PBC "が点灯)

好みの位置をさがす/記憶させる

表示はテレビ画面を例に説明しています。

プレーヤー側
⏮/◀◀　▶▶/⏭

⏮/◀◀　▶▶/⏭
MD デッキ側

CANCEL
数字ボタン
TIME SEARCH
ENTER
カーソルボタン
◀　▶
MARKER
▶
SLOW/SEARCH
◀◀　▶▶
SHIFT

時間指定した位置から再生する（タイムサーチ）

DVD-A DVD-V

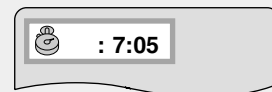
好みの位置までの再生時間が分かっている場合は、時間指定でそこから再生することができます。

● DVD オーディオはグループ内、DVD ビデオはタイトル内でのみ行えます。

再生中に

[SHIFT]を押しながら

1 [TIME SEARCH]を押す

2 数字ボタンで時間を指定する

例）
7分05秒：7→0→5
1時間02 分30 秒：1→0→2→3→0

3 [ENTER]を押す

指定した位置から再生が始まります。

お知らせ

● 入力中に数字をまちがえた場合は[CANCEL]を押してください。
● プログラム再生/ランダム再生中はタイムサーチはできません。
● DVD オーディオでは本体表示窓が、タイムサーチ後に再生を始めたトラックの経過時間表示になります。

早送り/早戻し再生をする（サーチ）

DVD-A DVD-V VCD CD MD

DVD、ビデオ CD、音楽 CD の場合

再生中に

[SLOW/SEARCH(◀◀)または(▶▶)]を押す

本体ではプレーヤー側の
[⏮/◀◀　▶▶/⏭]を押し続ける。

▶▶ ：進む
◀◀ ：戻る

- 押すたびに（本体では押し続けると）サーチの速度が早くなります。（5 段階）

通常の速度に戻すには
[▶] を押す。

お知らせ

- DVD やビデオ CD のメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。
- DVD ビデオとビデオ CD では、早送り時に音声を出さない設定ができます。（⇒ 61～62 ページ）

MD の場合

再生中に

[SLOW/SEARCH(◀◀)または(▶▶)]を押し続ける

本体では MD デッキ側の
[⏮/◀◀　▶▶/⏭]を押し続ける。

- 押している間だけ、早送りまたは早戻し再生になります。

好みの位置を記憶させる（マーカー）

DVD-A DVD-V VCD CD

再び見たい（聞きたい）位置にマークをつけておくと、後でそこから再生することができます。
マークは 5 つまでつけられます。

マークをつけるには

再生中に

1 [MARKER]を押す

マーカー画面が表示されます。

“ ＊ ”は未使用のマークを示しています。

好みの位置で

2 [ENTER]を押す

“ ＊ ”が数字に変わり、位置が記憶されます。

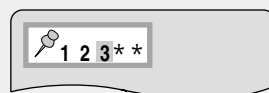
別の位置も記憶したい場合は、カーソルボタン（◀▶ ）で次の“ ＊ ”を選び、好みの位置で [ENTER] を押してください。

マークした位置から再生するには

再生中または停止中に

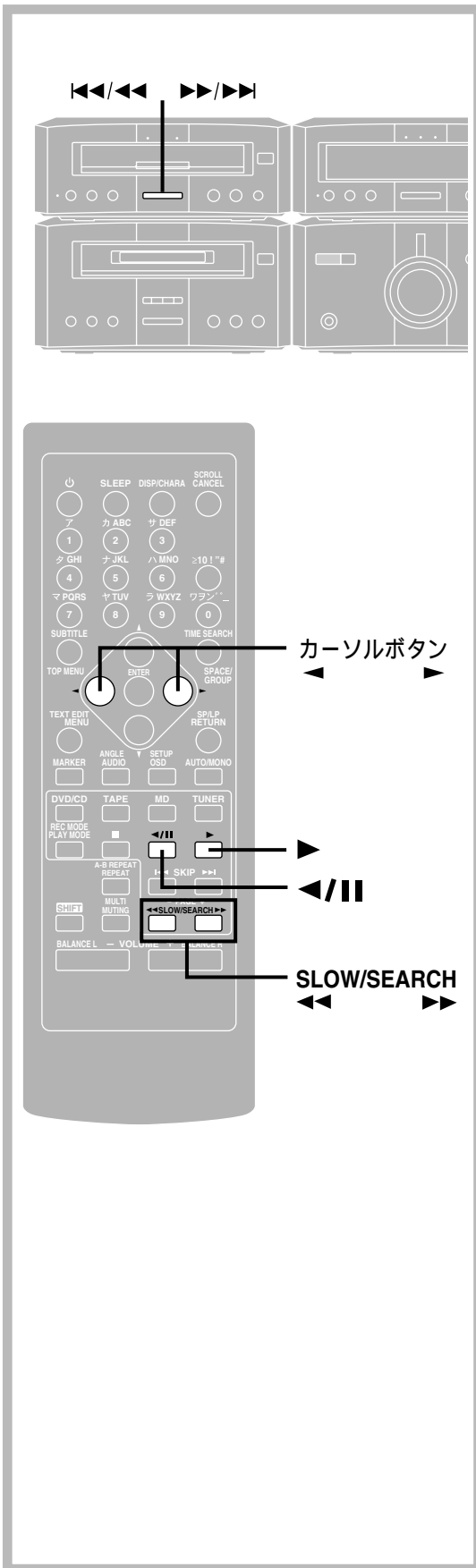
1 [MARKER]を押す

2 カーソルボタン（◀▶）でマークを選んで、[ENTER]を押す

マークした位置まで飛んで、そこから再生します。

マークを取り消すには
再生中または停止中に
1. [MARKER] を押す。
2. カーソルボタンで不要なマークを選び、[CANCEL] を押す。

お知らせ

- 一部の DVD や、プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中はマークをつけることができません。
- マークをつけた位置によっては、字幕や映像が表示されないことがあります。
- 電源を切る、ディスクを取り出す、もしくは入力を切り換えるとマークは消去されます。

再生速度を遅くする

スロー再生をする（スロー）

DVD-A　DVD-V　VCD

一時停止（静止）中に

[SLOW/SEARCH（◀◀ または ▶▶）] を押す

本体では [⏮◀◀/◀◀　▶▶/▶▶⏭]を押し続ける。

▶▶ ：進む

◀◀ ：戻る（DVD のみ）

● 押すたびに（本体では押し続けると）スローの速度が早くなります。（5 段階）

通常の速度に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

DVD オーディオでは、動画がある場合のみ行えます。

動画を 1 コマずつ送る（コマ送り）

DVD-A　DVD-V　VCD

一時停止（静止）中に

カーソルボタン（◄ ►）を押す

► ：進む

◄ ：戻る（DVD のみ）

● 押すたびに 1 コマずつ送ります。
● 押したままにしておくと、コマが連続して送られます。

通常の速度に戻すには

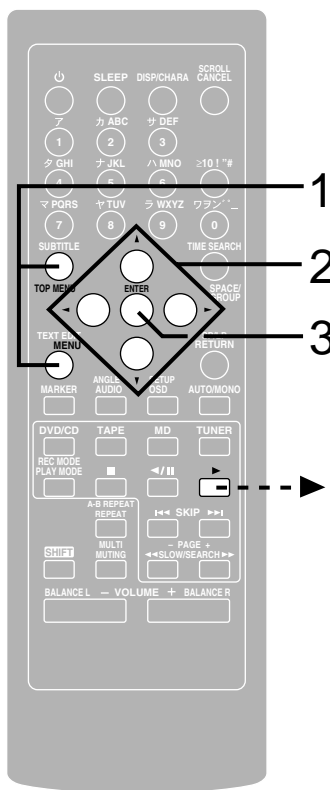
[▶] を押す。

お知らせ

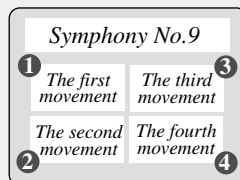
● DVD オーディオでは、動画がある場合のみ行えます。
● [◄/❚❚]をポンポンと押してもコマ送りできます。

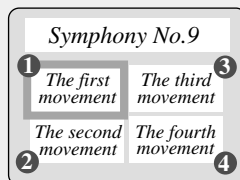
DVD のメニューを使う

DVD-A DVD-V

多くの DVD では、メニュー画面を設けていろいろな選択ができるようにしています。
メニュー画面の出しかたや選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

再生中または停止中に

1 [TOP MENU]または[MENU]を押す

テレビ画面（例）

TOP MENU：
DVD オーディオのグループや、DVD ビデオのタイトルなどを選ぶ場合。
MENU：
DVD ビデオの場面などを選ぶ場合。

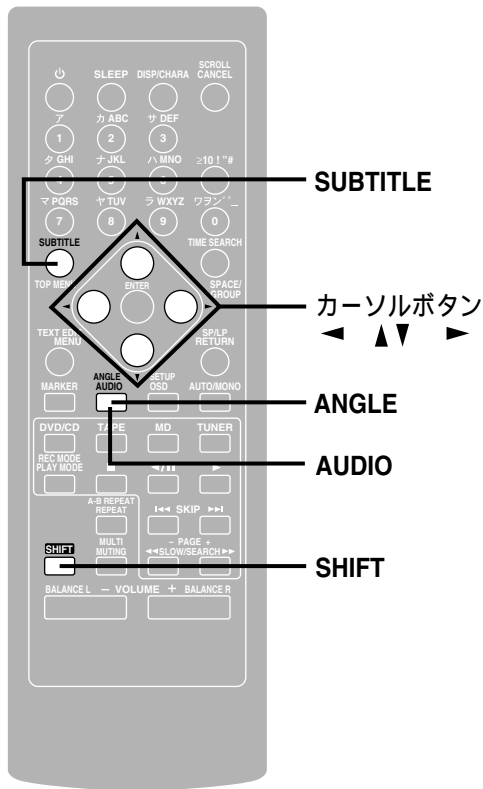
2 カーソルボタン（◄▲▼►）でメニューを選ぶ

3 [ENTER]（または ▶）を押す

選んだメニューの再生が始まります。

お知らせ

- 多くの場合、メニューは数字ボタンでも選べます。
- 複数のメニューを持たないディスクでは、[TOP MENU]と[MENU]のどちらを押しても同じ結果になることがあります。
- メニュー操作についてくわしくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

DVD の音声、字幕言語、アングルを選ぶ

表示はテレビ画面を例に説明しています。

音声を選ぶ

DVD-A DVD-V

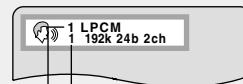
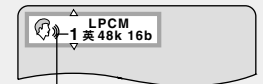
複数の音声が収録されている DVD では、再生中に好みの音声（言語や PCM などの音声方式）を選ぶことができます。

再生中に

[AUDIO] を押して好みの音声番号を選ぶ

押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例

（DVD オーディオ） （DVD ビデオ）

選んだ音声番号 選んだ音声番号

現在再生中の音声番号

- カーソルボタン（▲▼）でも選べます。

音声表示を消すには

[ENTER] を押す。

お知らせ

- DVD オーディオ（動画部分以外）では、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。
- DVD オーディオは通常、2 つ目の音声がない場合でも、[AUDIO] を押すと番号 2 まで表示します。（現在再生中の音声番号は 1 のままです。）
- “ – ”が表示されたディスクは音声が収録されていません。

音声や字幕言語の初期設定について

再生を始める前に好みの音声や字幕言語にしておきたい場合は、初期設定で指定することができます。（⇒ 61～62 ページ）

電源を入れたときやディスクを入れ替えた後に再生を始めると、その設定が優先されます。

- 設定した音声や字幕言語がディスクにない場合は、ディスクで決められた設定で再生されます。
- 一部の DVD では、本機よりもディスクの設定を優先させるものもあります。

字幕言語を選ぶ

DVD-A DVD-V

複数の字幕言語が収録されている DVD では、再生中に好みの言語を選ぶことができます。

再生中に

[SHIFT] を押しながら
[SUBTITLE] を押して好みの字幕番号を選ぶ

押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例

● カーソルボタン (▲▼) でも選べます。

字幕を入/切するには
カーソルボタン (◄►) で選ぶ。

字幕表示を消すには
[ENTER] を押す。

お知らせ

- 変更した後、その言語が表示されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- " -- " が表示されたディスクは字幕が収録されていません。

アングルを選ぶ

DVD-A DVD-V

マルチアングルが収録されている DVD では、1 つの場面を角度や視点を変えて見ることができます。

マルチアングルの場面を再生中に

[SHIFT] を押しながら
[ANGLE] を押して好みのアングル番号を選ぶ

押すたびに切り換わります。

マルチアングル表示

● カーソルボタン (▲▼) でも選べます。

アングル表示を消すには
[ENTER] を押す。

お知らせ

- マルチアングルの場面になると、本体表示窓では " " が表示されます。
- マルチアングルの場面にならなくても、あらかじめ設定できるディスクもあります。この場合、その場面になった時点で指定したアングルに切り換わります。(くわしくはディスクの説明書をご覧ください。)

カラオケディスクについて DVD-V VCD

DVD カラオケやビデオ CD のカラオケディスクでは、音声選択機能を使ってボーカルの入/切などが行えます。

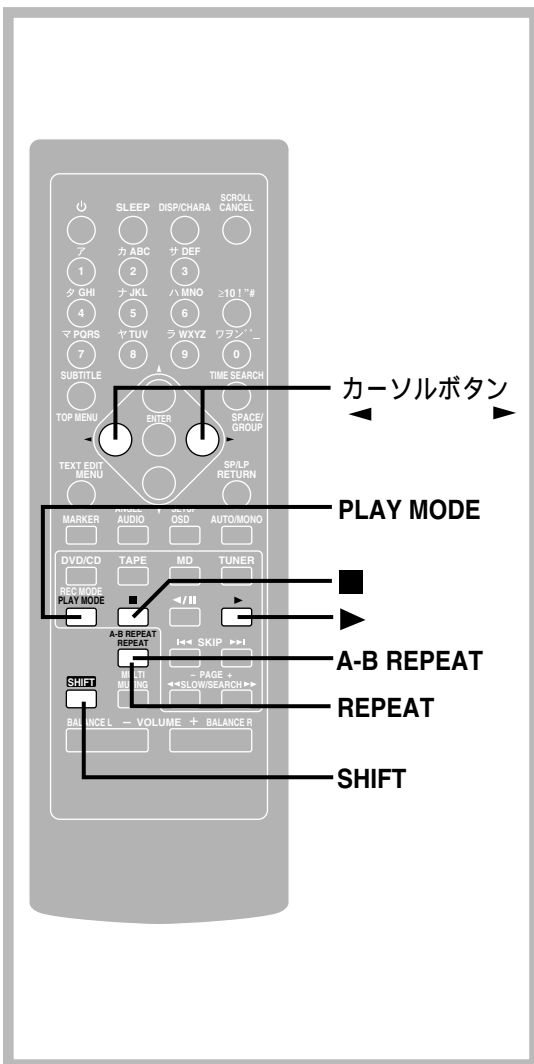
1. [AUDIO] を押して音声表示を出す。

DVD　ビデオ CD

2. 好みのモードを選ぶ。
   - **DVD カラオケ (ソロ) の場合**
     カーソルボタン (◄►) で、ボーカルの「-- (切)」「入」を切り換える。
   - **DVD カラオケ (デュエット) の場合**
     カーソルボタン (◄►) で、ボーカルの「-- (切)」「1+2 (入)」「V1 (入)」「V2 (入)」を切り換える。
   - **ビデオ CD の場合**
     カーソルボタン (▲▼) で、「LR」「L」「R」を切り換える。

お知らせ

- [AUDIO] を押すとボーカル入りに切り換わるディスクもあります。
- 本機にはマイクを接続できません。

再生方法を選ぶ

オールグループ再生をする

DVD-A

DVD オーディオの全グループを一度に再生する方法です。グループ 1 に全曲入っていないタイプのディスクの場合に便利です。

停止中に

1 [PLAY MODE]を押して、オールグループ再生を選ぶ

テレビ画面

オールグループ再生
プレイボタンでオールグループ再生スタート

本体表示窓

ALL GROUP

押すたびに
オールグループ → プログラム →
ランダム → 解除（通常再生）

2 [►]を押す

オールグループ再生が始まります。

お知らせ

再生の途中でメニューを選ぶ操作をすると、オールグループは解除されます。

繰り返し再生する（リピート/A-B リピート）

DVD-A DVD-V VCD CD MD

リピート

ディスクやタイトル、曲（トラック）や場面（チャプター）を繰り返します。
DVD オーディオでは、グループの再生モード（通常またはオールグループ）に従って繰り返します。

再生中に

[REPEAT]を押す。

- 押すたびに切り換わります。
- ディスクによって切り換わる内容が異なります。（⇒右図参照）

DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD、MD

トラック： ⟲ T
↓
オール： ⟲ A
（全体）
（DVD オーディオの通常再生時は “ G ” が表示され、グループを繰り返す）
↓
解除 ⟲ 切

DVD ビデオ

チャプター： ⟲ C
↓
タイトル： ⟲ T
↓
解除 ⟲ 切

順不同に再生する（ランダム）

DVD-A VCD CD MD

各曲（トラック）を一度ずつ、順不同に再生します。
DVD オーディオでは指定したグループの中でランダム再生を行います。

停止中に

1 [PLAY MODE] を押して、ランダム再生を選ぶ

表示例（DVD オーディオ時）

テレビ画面（MD 以外）

ランダム再生
グループ番号を選んでください
グループ： オール 1 2 3
プレイボタンでランダム再生スタート

本体表示窓

RANDOM
ALL ＊＊＊

押すたびに
DVD オーディオの場合
オールグループ → プログラム → ランダム → 解除（通常再生）
その他のディスクの場合
プログラム → ランダム → 解除（通常再生）

2 （DVD オーディオのみ）カーソルボタン（◄►）でグループを選び、[ENTER] を押す

- グループは複数選べます。
- 取り消すには、上記の操作を再び行います。

ランダム再生
グループ番号を選んでください
＊＊＊
グループ： オール 1 2 3
プレイボタンでランダム再生スタート

RANDOM
ALL 1 2 3

3 [▶] を押す

ランダム再生が始まります。

ランダム再生が終了すると
停止して、ランダム再生画面に戻ります。

ランダム再生を解除するには
1. [■] を押して再生を停止する。
2. [PLAY MODE] を 1 回押して、解除（通常再生）にする。

A-B リピート

指定した 2 点間を繰り返します。

再生中に

[SHIFT] を押しながら開始位置で [A-B REPEAT] を押し、

A・

[SHIFT] を押しながら終了位置で再び [A-B REPEAT] を押す

A B

解除するには
[SHIFT] を押しながら [A-B REPEAT] を押して " ＊＊ " を表示させる。

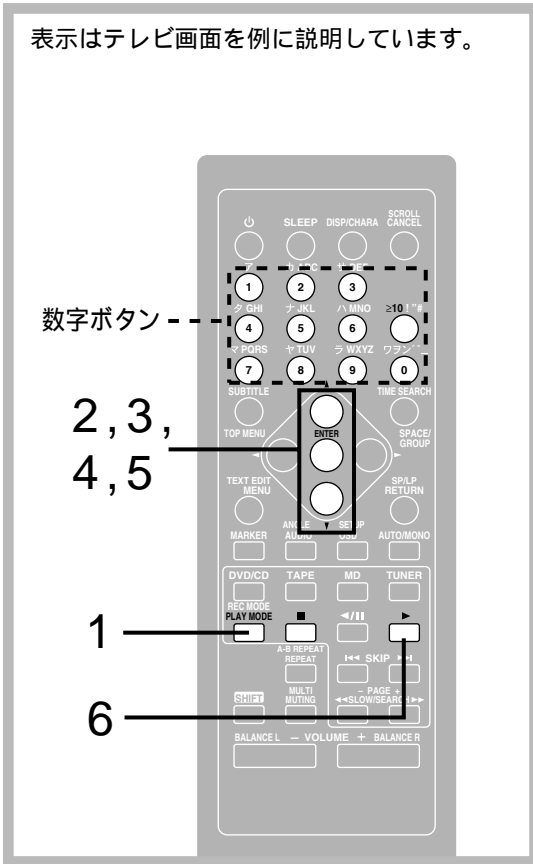
お知らせ

- リピートや A-B リピートができないディスクもあります。
- タイトルが 2 つ以上ある DVD ビデオでは、ディスク全体のリピートはできません。
- トラックやチャプターリピート中にスキップを行うと、リピートは解除されます。
- リピートと A-B リピートは同時には行えません。
- MD のプログラム、ランダム再生中は A-B リピートはできません。
- MD 以外のディスクでは、A-B リピートは同一トラック/タイトル間でのみ行えます。もし終了位置（B）を指定する前にトラック/タイトルが終わった場合は、そこが終了位置（B）になります。
- 字幕が出るディスクの場合、A-B リピート前後の字幕は表示されないことがあります。

好みの順に再生する（プログラム）

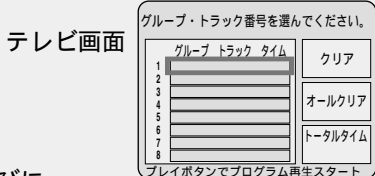
DVD-A　VCD　CD　MD

最大 24 曲（トラック）まで好みの順に再生します。DVD オーディオでは、複数のグループにまたがってプログラム再生することができます。

DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD の場合

停止中に

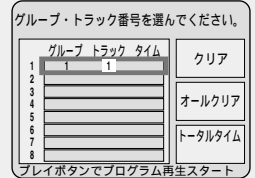
1 [PLAY MODE]を押して、プログラム再生を選ぶ

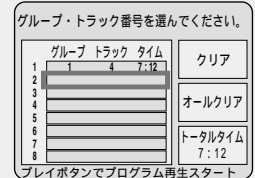
表示例（DVD オーディオ時）

テレビ画面

押すたびに
オールグループ（DVD オーディオのみ）
→プログラム→ランダム→解除（通常再生）

2 [ENTER]を押す

3 （DVD オーディオのみ）グループを選ぶ

1. カーソルボタン（▲▼）で番号を選び、
2. [ENTER]を押す。

4 曲（トラック）を選ぶ

1. カーソルボタン（▲▼）で番号または“オール”を選び、
2. [ENTER]を押す。

- 「オール」を選ぶとグループ内の全曲が予約されます。またその時点で予約曲数が 24 を越えた場合は、越えた曲が自動的に除外されます。
- DVD オーディオでは、トータルタイムが表示されるまでに少し時間がかかります。

5 さらに予約する

DVD オーディオでは

手順 2、3、4 を繰り返す。

その他のディスクでは

手順 2、4 を繰り返す。

- 予約数が 8 を越えると、画面が自動的に切り換わります。

6 [▶]を押す

プログラム再生が始まります。

お知らせ

グループやトラックは、リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます。

MD の場合

停止中に

1 [PLAY MODE]を押して、“PROGRAM”を選ぶ

本体表示窓

PROGRAM

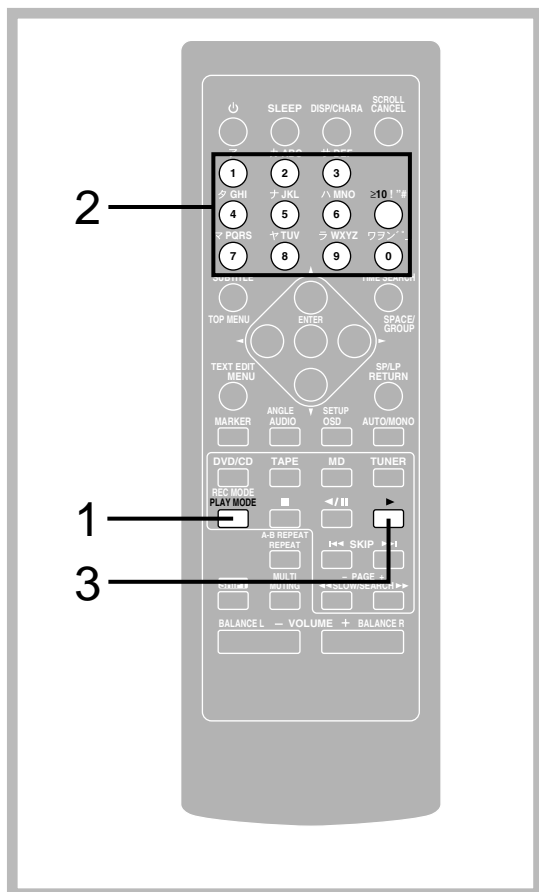
押すたびに
PROGRAM → RANDOM → 解除(通常再生)

2 数字ボタンを押して、曲(トラック)を選ぶ

PROGRAM
MD T2 P:01

この操作を繰り返し、さらに予約する

3 [▶]を押す

プログラム再生が始まります。

DVD、ビデオ CD、音楽 CD、MD 共通

プログラム再生を解除するには

1. [■]を押す。
2. [PLAY MODE]を 2 回押して、解除(通常再生)にする。(予約内容は取り消されます。)

予約画面に戻るには

(DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD のみ)
[■]を再生中は 2 回、停止中(RESUME 点灯時)は 1 回押す。

予約を変更するには

(DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD のみ)
1. カーソルボタンで変更したいトラック(またはグループ)を選び、[ENTER] を押す。
   - 予約数が 8 を越えている場合は、[◀◀]または[▶▶]を押すと、一度に画面が切り換わり、変更したい予約番号を早く表示させることができます。
2. 手順 3、4 (または 4)を行う。

予約を 1 つずつ取り消すには

DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD のとき
カーソルボタンで変更したい予約を選び、続いて“クリア”を選んでから [ENTER] を押す。
MDのとき
[⏮] または[⏭]でトラックを選び、[CANCEL]を押す。

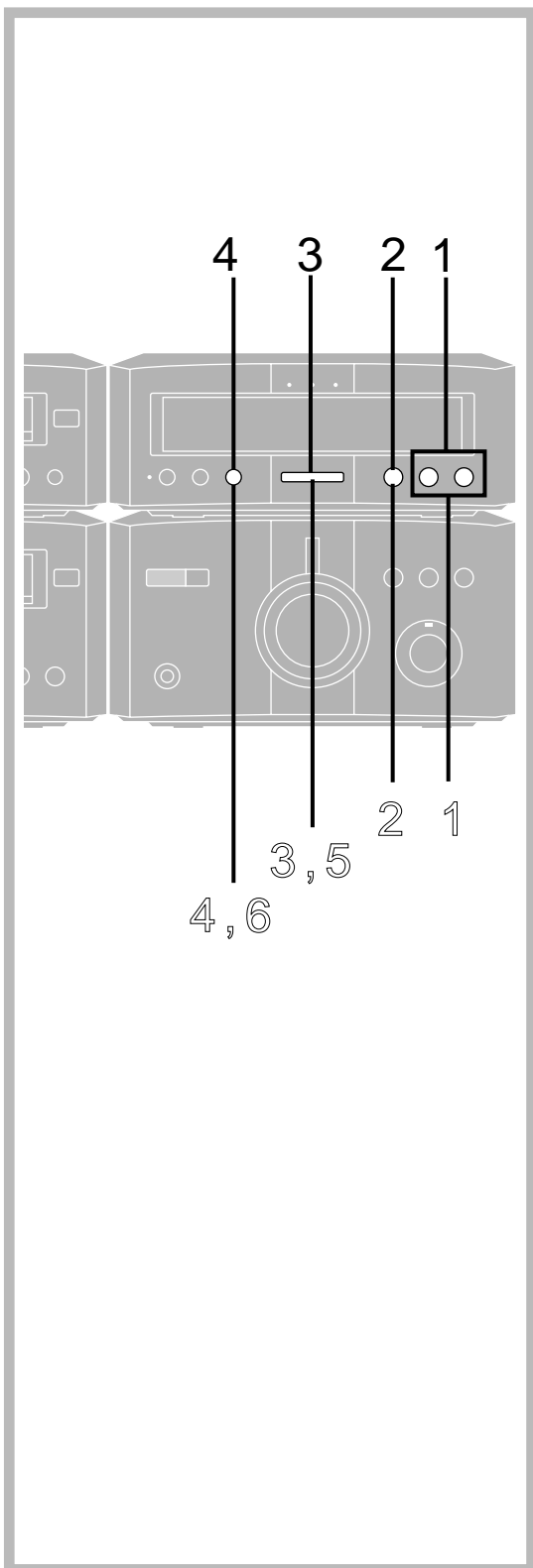
予約をすべて取り消すには

DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD のとき
カーソルボタンで“オールクリア”を選んでから[ENTER] を押す。
MDのとき
停止状態で[■]を押す。
MD のときは、プログラム再生のモードも解除されます。

- ディスクを取り出しても取り消されます。

放送局を記憶させて聞く（プリセット受信）

ラジオ

本機のチャンネルに放送局を記憶させておくと、次から簡単な操作で選局できます。
（FM、AM とも 12 局まで）

放送局を記憶させる

自動で記憶させるには

受信できる放送局を自動で記憶させます。
FM、AM それぞれで行います。

1 [FM] または [AM] を押す

例）FM の場合

本体表示窓

FM 80.2 MHz

2 [TUNE MODE] を押して、“MANUAL” を選ぶ

MANUAL

3 [TUNE/TIME ADJUST (∨) または (∧)] を押して、一番低い周波数に合わせる

FM 76.0 MHz

FM：76.0 MHz
AM：522 KHz

4 [SET] を、“AUTO MEMORY”が表示されるまで押し続ける

AUTO MEMORY

受信した放送局を順に記憶していきます。
終了すると“SET OK”と表示した後、最後に記憶した放送局を受信します。

“ERROR”と表示したら

電波が弱いなどの原因で、記憶できませんでした。この場合は手動で記憶させてください。（⇒ 右ページ）

手動で記憶させるには

好みの放送局を好みのチャンネルに記憶させます。

1 [FM]または[AM]を押す

例）FM の場合

FM 76.0 MHz

2 [TUNE MODE]を押して、“ MANUAL ”を選ぶ

MANUAL

3 [TUNE/TIME ADJUST (∨)または(∧)] を押して、好みの放送局を受信する

FM 88.1 MHz

4 [SET]を押す

MEMORY CH

5 [TUNE/TIME ADJUST (∨)または(∧)] を押して、好みのチャンネルを選ぶ

MEMORY CH 2

6 [SET]を押す

放送局が記憶されます。

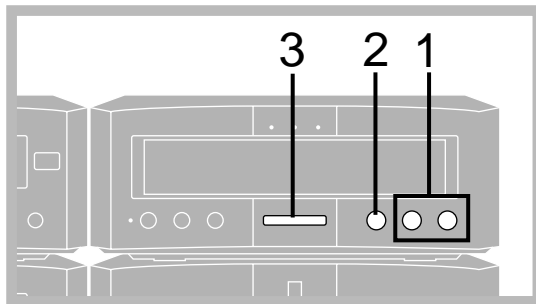
続けて記憶させるには

上記手順 1（バンドを切り換える場合のみ）および 3 〜 6 を行う。

お知らせ

FM のステレオ放送で雑音が多い場合は、手順 3 の後にリモコンの［AUTO／MONO］を押してモノラル受信にしておけば、その状態で記憶されます。

記憶させた放送局を聞く

本体で行うには

1 [FM]または[AM]を押す

例） FM の場合

FM 76.0 MHz

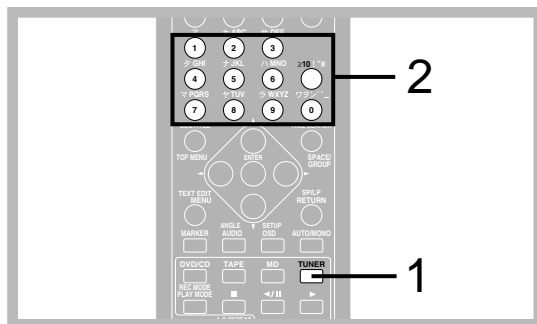
2 [TUNE MODE]を押して、“ PRESET ”を選ぶ

プリセット受信であることを示しています。

PROGRAM
PRESET

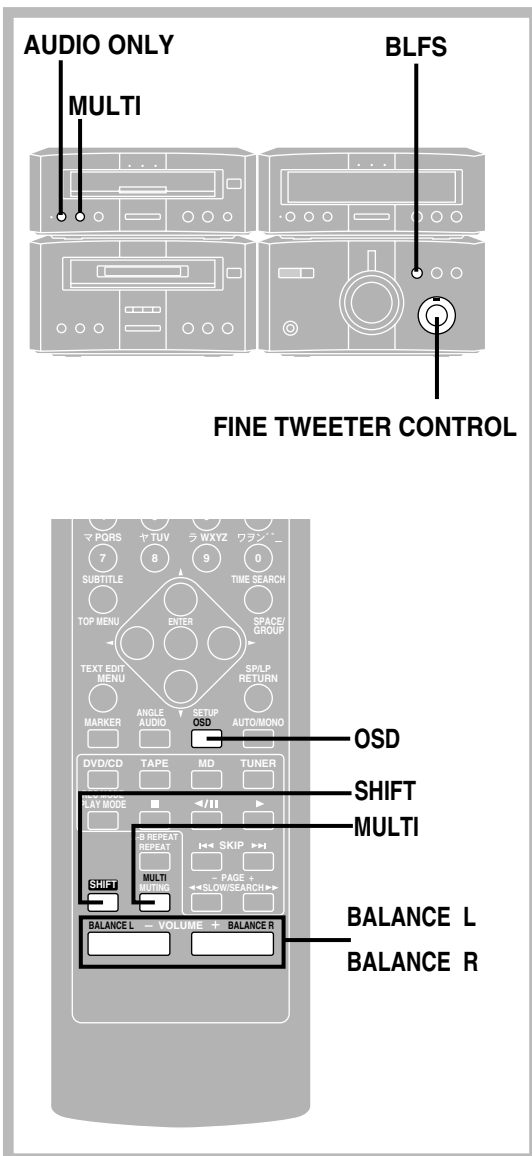
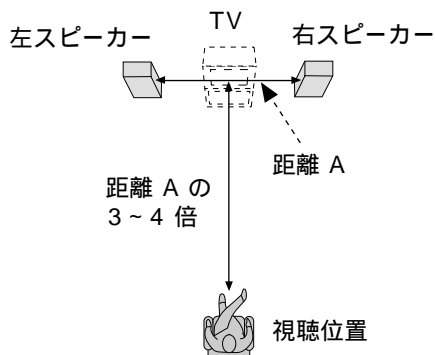
3 [TUNE/TIME ADJUST (∨)または(∧)] を押して、好みのチャンネルを選ぶ

PROGRAM
FM 1 76.5 MHz

リモコンで行うには

1 [TUNER]を押して、FM または AM を選ぶ

2 数字ボタンを押して、好みのチャンネルを選ぶ

例） チャンネル 10：[≥10]→[1]→[0]

音場/音質効果を使う

V.S.S. の効果的な視聴位置

左右フロントスピーカー間の 3〜4 倍の距離を、テレビから離れて視聴すると効果的です。

V.S.S. を楽しむ

DVD-A DVD-V

(ドルビーデジタル 2 ch 以上のディスクのみ)

V.S.S=(Virtual Surround Sound)(バーチャル サラウンド サウンド)

フロントスピーカーやヘッドホンだけで、サラウンドサウンドを楽しむことができます。

再生中に

[MULTI] を押して、V.S.S. のレベルを選ぶ

リモコンでは、[SHIFT] を押しながら [MULTI] を押す。

本体表示窓 **V.S.S. 1**

押すたびに
FRONT 2 CH → **V.S.S. 1**(レベル 1)→ **V.S.S. 2**(レベル 2)→ **V.S.S. OFF**(解除)

お知らせ

- カラオケディスクでは効果がありません。
- ソースによっては効果が少ない場合もあります。

お願い

- フロント以外のスピーカーも使うときは、V.S.S. を必ず解除してください。V.S.S. が働いているときは、フロントスピーカーからしか音が出ません。
- ソースによっては、V.S.S. を使うことで音が歪むことがあります。この場合は、V.S.S. を解除してください。
- 録音中は切り換えないでください。音が途切れます。

V.S.S. をヘッドホンで楽しむには

1. [OSD] を押して GUI 画面を出し、V.S.S. アイコンを選ぶ。
2. ヘッドホン V.S.S. を選ぶ。

(⇒ ヘッドホンの使いかたは 38 ページ、GUI の操作は 39、41 ページをご覧ください。)

お願い

スピーカーからの音質が変わりますので、ヘッドホンを使わないときは、通常の V.S.S. に戻してください。(電源を切ってもモードは保持されています。)

V.S.S. のレベルやモードによる効果の違い

モード	V.S.S.（スピーカー）	ヘッドホン V.S.S.
レベル 1	フロントスピーカーの音が、実際の位置より左右に広がって聞こえます。ディスクにサラウンド信号が記録されている場合は、サラウンドスピーカーがないにも関わらず、横方向から音が出ているように感じます。	左右にスピーカーが存在しているように聞こえます。
レベル 2	レベル 1 よりさらに広がって聞こえます。	

より高音質で楽しむ（オーディオオンリー）

DVD-A DVD-V VCD CD

映像信号の出力を遮断することで、より高音質で聞くことができます。

[AUDIO ONLY]を押す

ボタン左のランプが点灯します。

解除するには

[AUDIO ONLY] を押す。
電源を切っても解除されます。

お知らせ

- 再生していないときは、停止時の映像信号が送られます。また、操作（早送りなど）を行うと、そのときだけ映像信号が送られ操作表示が出ます。それ以外は映像信号が送られないため、テレビ画面は少し乱れた状態になります。
- テレビの電源を切るとより効果的です。

重低音を調節する（BLFS）

全ソース共通

BLFS=（Brisk Low Frequency Sound）（ブリスク ロー フリーケンシー サウンド）

[BLFS] を押す

BLFS HIGH
BLFS

押すたびに
BLFS HIGH ：強める
↓
BLFS LOW ：やや強める
↓
BLFS LIGHT：弱める
↓
FLAT ：元の状態

高音域を調節する

全ソース共通

[FINE TWEETER CONTROL]を回す

右（MAX）方向 ：強める
左（MIN）方向 ：弱める

左右音量バランスを調節する

全ソース共通

[SHIFT] を押しながら[BALANCE（L）または（R）]を押して調節する

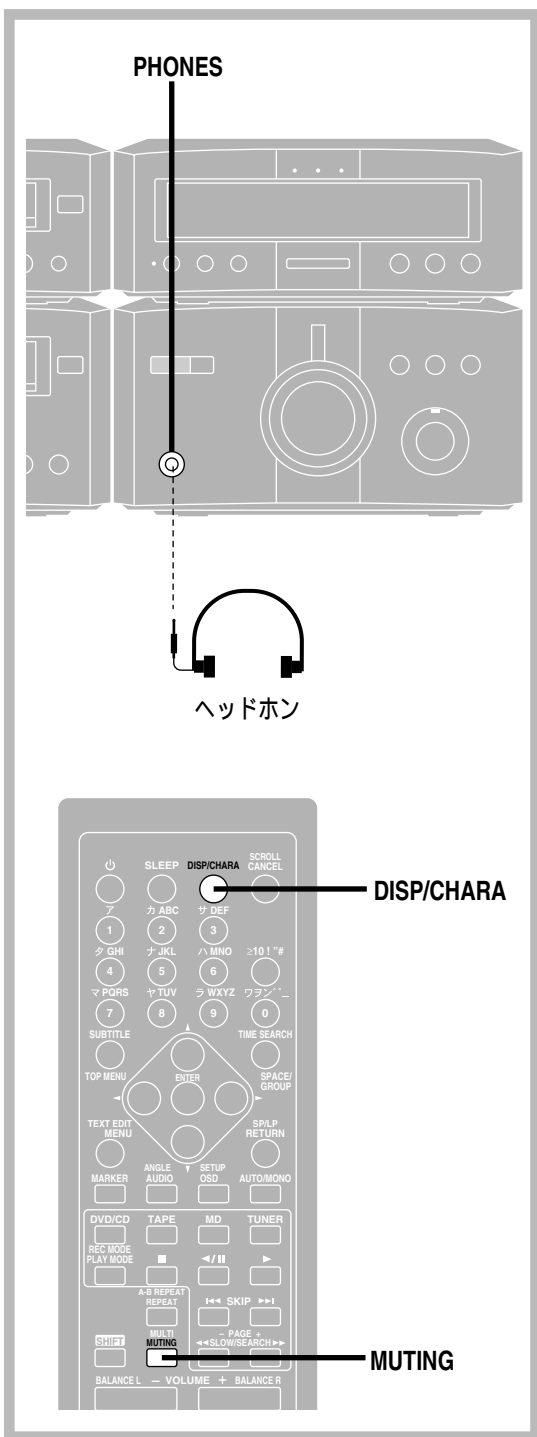
BALANCE

L ：左の音量を大きくするとき
R ：右の音量を大きくするとき

ちょっと便利な機能

お知らせ

専用のアンプ・スピーカーシステム SC-HDX3（別売り）を接続して DVD の多チャンネルサウンドを楽しむとき、ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出る場合があります。

- MULTI（音声切換）表示の 2 ch が点灯している場合（⇒ 60 ページ）
- ダウンミックス禁止の DVD オーディオを再生している場合（⇒ 73 ページ）

一時的に音量を下げる（ミューティング）

全ソース共通

[MUTING]を押す

MUTING ON

解除するには
[MUTING]を押す。
本体で解除するには
[VOLUME]つまみで音量を下げ、“ -- dB ”を表示させる。（電源を切っても解除されます。）

表示モードを切り換える

全ソース共通

本体表示窓に出す情報を切り換えることができます。

[DISP/CHARA]を押す

- 押すたびに切り換わります。
- 切り換わる内容はソースや動作状態によって異なります。

例：DVD ビデオを再生しているとき

時間表示
↓
MD の有無（MD が入っているときは録音残り時間）
↓
再生中の音声チャンネル（グラフィック表示）
↓
再生中の音声レベル（グラフィック表示）

お知らせ

音声チャンネルの表示は、ディスクに記録された内容を示しています。

ヘッドホンで聞く

全ソース共通

1 **[VOLUME]を回して、音量を最小（-- dB）にする**

2 **ヘッドホンを接続し、[VOLUME]で音量を調整する**

プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品：RP-HT400、RP-HT242
（ともに別売り）

お願い

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

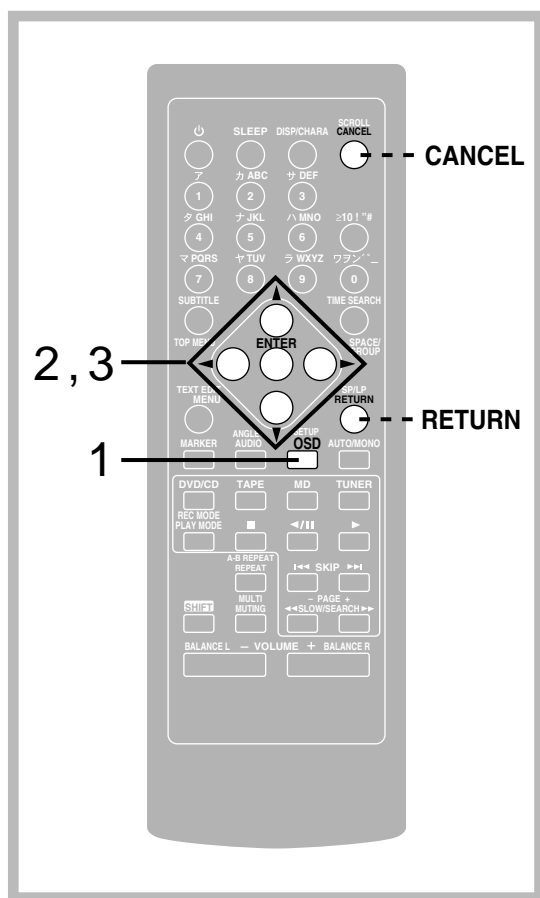
絵表示を使って操作する(GUI)

DVD-A DVD-V VCD CD

GUI(Graphical User Interface)とは、絵表示などを見ながら操作できることを言います。本機の場合は、ディスクや本機の情報を表示する細長い画面を「GUI 画面」と呼びます。

GUI 画面では、これまでのページで説明したような機能の他、GUI だけで行える機能もあります。

GUI 専用の機能

- **セリフのみ音量を上げる(シネマボイス)**
- **V.S.S. モードを選ぶ**

GUI 画面を消すには

[CANCEL] または [RETURN] を押す。

お知らせ

- **本機の動作状態(再生中、停止中など)によって選べない項目があります。また、ソフトの作りかたや再生状態(メニュー表示中など)によって操作できない項目もあります。**
- GUI 画面の一部が欠けたり表示されなかったりするときは、オンスクリーンの変更をしてください。(⇒ 61～62 ページ)

GUI の基本操作

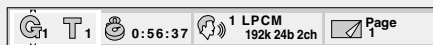
再生中または停止中に

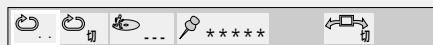
1 [OSD] を押して GUI 画面を選ぶ

- 押すたびに切り換わります。

ディスク情報画面
トラック/チャプターの選択や音声切り換えなど

(例：DVD オーディオの場合)

↓

本機情報画面
繰り返し再生や、好みの場所をマークするなど

↓

シャトル画面
早送り/早戻しや、スロー再生など

-100 +100

↓

GUI 画面なし

2 カーソルボタン(◄►)を押して、操作項目を選ぶ

3 内容を選択または実行する

- 各項目ごとの操作は、40～41 ページをご覧ください。
- 選択数字が表示される項目は、数字ボタンを押しても選べます。

ディスク情報画面

（例：DVD オーディオの場合）

表示（操作項目）	選択または実行内容	操作方法
G 1	**グループ番号**(DVDオーディオ)	[▲] [▼] → [ENTER]
T 1	**トラック番号**(DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CD) **タイトル番号**(DVDビデオ)	[▲] [▼] → [ENTER]
C 1	**チャプター番号**(DVDビデオ)	[▲] [▼] → [ENTER]
1:56:37	**時間**（再生位置を時間で指定する）(DVD)	数字ボタン 例：1時間06分37秒 1→0→6→3→7 ↓ [ENTER]
	再生時間の表示モード(DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CD) (例：トラック経過時間→トラック残り時間→ディスク残り時間)	[▲] [▼]
ⓐ ⓑ 1 LPCM 1 192k 24b 2ch ⓒ ⓐ ⓑ LPCM 1 英 48k 16b ⓓ ⓒ	**音声番号**(DVD) ⓐ 音声番号 ⓑ 信号タイプ LPCM（リニアPCM）/PPCM（パックドPCM）/ DD（ドルビーデジタル）/DTS/MEPG/Vocal ⓒ 信号データ K（サンプリング周波数）/b（ビット数）/ ch（チャンネル数） ⓓ 音声言語記号 日 日本語　伊 イタリア語　露 ロシア語 英 英語　西 スペイン語　韓 韓国語 仏 フランス語　蘭 オランダ語　＊ その他 独 ドイツ語　中 中国語	[▲] [▼] **カラオケ DVD（Vocal表示）のとき** ボーカル音声が次のように切り換わります。 ソロカラオケのとき --（切）→入 デュエットカラオケのとき --（切）→V1+V2（デュエット）→V1（ボーカル1）→V2（ボーカル2）
L R	**音声モード**(ビデオCD) LR（左右チャンネル）→ L（左のみ）→ R（右のみ）	[▲] [▼]
Page 1	**静止画のページ番号**（DVDオーディオ）	[▲] [▼] ディスクによっては “ Return ” を選ぶと メニュー画面に戻ります。
ⓐ ⓑ 1 入 英	**字幕**(DVD) ⓐ **字幕言語番号** ⓑ **字幕の入/切** (「英」などの言語記号については上記参照)	[◄] [►] (ⓐまたはⓑを選ぶ) ↓ [▲] [▼]
1	**アングル番号**(DVD)	[▲] [▼]
PBC 切	**メニュー再生**(ビデオCD)	ここでは変更できません。

本機情報画面

（例：DVD オーディオの場合）

表示（操作項目）	選択または実行内容		操作方法
	A-B リピート再生の始点（A）と終点（B）		[ENTER] を始点と終点で押す。 解除するには再度押す。
切	**リピート再生モード** DVDオーディオ/ビデオCD/音楽CD のとき T（トラック）→ A（オール）/G（グループ）→ 切 DVDビデオのとき C（チャプター） → T（タイトル） → 切		[▲] [▼]
---	**再生モード** （DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CD） --（通常）/ALL（オールグループ）/PRG（プログラム）/RND（ランダム）		ここでは変更できません。
∗∗∗∗∗	**マーカー** マークを付ける（5 箇所まで） 1 2∗∗∗ マーク番号		マークを付けたい位置で [ENTER] を 2 回押す。 2 つ目からは [◄] [►] で∗を選んで押す。
	マークを付けた位置から再生する	マーカー表示を選択した後、[ENTER] を1回押してから行ってください。	[◄] [►]（番号を選ぶ）→ [ENTER]
	マークを消す		[◄] [►]（番号を選ぶ）→ [CANCEL]
切	**シネマボイスモード*** （センターチャンネルにセリフが収録された DVD） 入（セリフのみ音量を上げる）→ 切		[▲] [▼]
切	**V.S.S. モード** （ドルビーデジタル 2 ch 以上の DVD） （通常）→ （ヘッドホン V.S.S.）		[▲] [▼]
	V.S.S. の強さ 1（標準）→ 2（強）→ 切		[▲] [▼]

* シネマボイスモードは、センターチャンネル以外のセリフには効果がありません。

シャトル画面

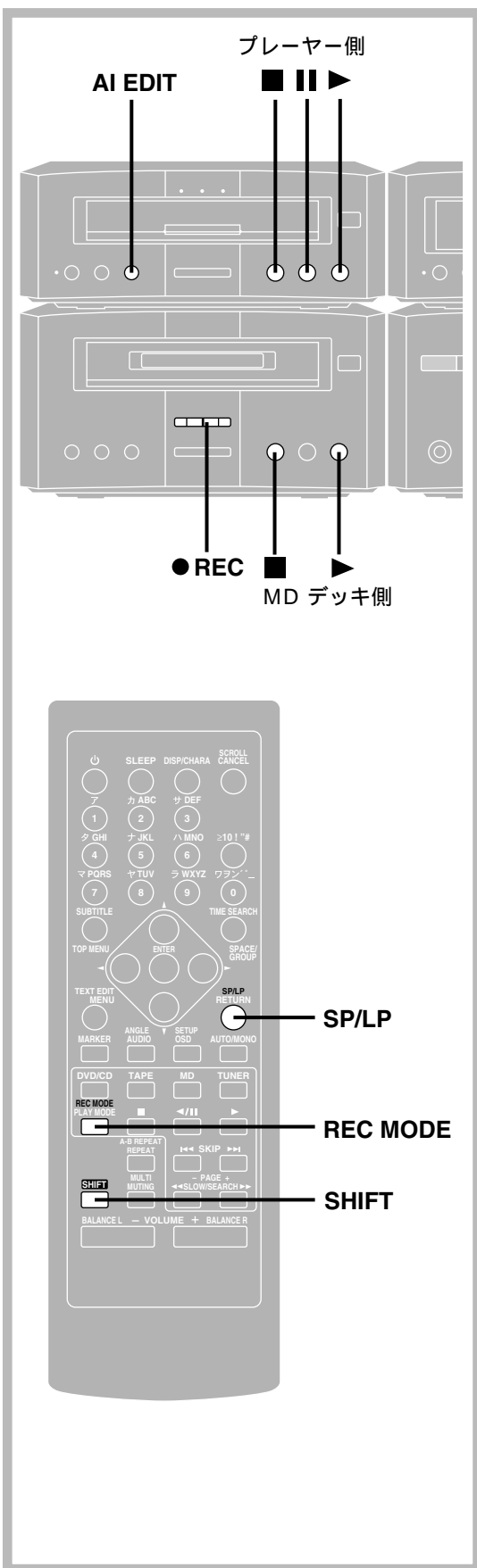
スロー再生（戻る）（DVD ビデオのみ）　一時停止（静止）　スロー再生（進む）（DVD ビデオ、ビデオ CD のみ）

最大* 速度　–100　+100　最大 速度

早戻し　再生　早送り

操作方法
[◄] [▲] [▼] [►] 操作項目を選ぶ ↓ （スロー再生、早送り/早戻しのみ） [◄] [►] 速度（5 段階）を選ぶ

* 最大速度はディスクの種類（DVD オーディオなど ）によって異なります。（表示は最大速度のみを示しており、速度を変えても表示は一定です。）

いろいろな録音

音楽 CD から 1 ボタンで録音する（AI 編集録音）

CD ••▶ MD

録音は CD の 1 曲（トラック）目から順に行われます。MD の残り時間が少ない場合は、切れずに入る曲数を自動的に計算して録音します。（最大 24 曲まで。）

準備

- 音楽 CD を入れ、[INPUT SELECTOR] で“ DVD ”を選ぶ。
- 録音用 MD を入れる。

[AI EDIT] を押す。

本体表示窓 AI EDIT MD

別売りの専用カセットデッキ RS-HDA710 を接続している場合は、再び押して“ CD▶MD ”を表示させてください。

録音時間と曲数を計算した後、AI 編集録音が始まります。
録音が終わると、自動停止します。

途中で停止するには

プレーヤー側の [■] を押す。
“ MD UTOC Writing ”の点滅後、録音が終了します。

お知らせ

- MD の残り時間計算が、まれに実際とは異なり、終端で曲が途切れることがあります。

シンクロ録音機能を使う

DVD-A VCD CD ••▶ MD

プレーヤー側のボタンで MD デッキ（または別売りの専用カセットデッキ RS-HDA710）の動作もコントロールする機能です。

録音するときは

MD デッキの [● REC] を押して録音待機状態にした後、プレーヤーの [▶] を押すと、再生と録音が同時に始まります。

録音中にプレーヤーの [II] を押すと

MD デッキも同時に一時停止します。プレーヤーの [▶] を押すと、録音に戻ります。

録音中にプレーヤーの [■] を押すと

MD デッキは一時停止状態になります。この間に CD などを入れ替えることができます。
プレーヤーの [▶] を押すと、録音に戻ります。
録音を停止するには、MD デッキの [■] を押してください。

曲間を揃えて録音する（オートスペース録音）

ラジオ 外部機器 ••➤ MD

3 秒以上の無音状態が続いた後、再び音声が入力された場合に、曲間の空きを 3 秒に揃える機能です。

準備

- [INPUT SELECTOR] でソースを選ぶ。
- 録音用 MD を入れる。

1 [● REC] を押して、録音待機状態にする

2 リモコンの [SHIFT] を押しながら [REC MODE] を押して、“ Auto Space MARK ” または“ Auto Space ”を選ぶ

Auto Space MARK

押すたびに
Normal REC → Auto Space MARK → Auto Space → Turn Back MARK → Turn Back → Normal REC MARK

“ MARK ”付きを選ぶと、MD にトラックマークを自動で記録することができます。

3 MD デッキの [▶] を押す

ソースの再生を始めてください。

数秒前の音から録音する（ターンバック録音）

ラジオ 外部機器 ••➤ MD

本機に数秒間の音声データを蓄えることで、録音開始より数秒前の音声から録音できます。ラジオ放送を録音する場合などに便利です。

準備

- ソースを再生状態にする。
- 録音用 MD を入れる。

1 [● REC] を押して、録音待機状態にする

2 リモコンの [SHIFT] を押しながら [REC MODE] を押して、“ Turn Back MARK ” または“ Turn Back ”を選ぶ

Turn Back MARK

押すたびに
Normal REC → Auto Space MARK → Auto Space → Turn Back MARK → Turn Back → Normal REC MARK

“ MARK ” 付きを選ぶと、MD にトラックマークを自動で記録することができます。

3 MD デッキの [▶] を押す

好みの曲を選んで録音する

DVD-A VCD CD ••➤ MD

1. **好みの曲をプログラムする。**(⇒ 32 ページ)
2. **MD デッキの [● REC] を押す。**
3. **プレーヤーの [▶] を押す。**

シンクロ録音機能 (⇒左ページ) により、再生と録音が同時に始まります。

お知らせ

音楽 CD の場合は、手順 2 で [AI EDIT] を押して録音を始めると、終了後に自動停止させることができます。

長時間（モノラル）録音をする

全ソース共通 ••➤ MD

音声はモノラルになりますが、通常の約 2 倍録音することができます。

録音を始める前に
リモコンの [SHIFT] を押しながら、[SP/LP] を押して“ LP ”を選ぶ
この状態で録音してください。

LP MONO LP

“ SP ”(通常) に戻すには
再び同じ操作を行う。

放送局や MD に名前をつける

文字入力のしかた

文字入力モードのとき
(45、46 ページの手順 4)

1 [DISP/CHARA]を押して、文字の種類を選ぶ

本体表示窓(例)

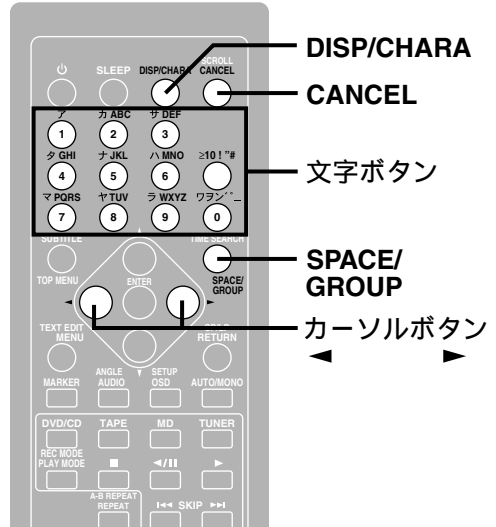
MD T 2 3:24
<ア>

押すたびに
<ア>(カタカナ)→<A>(アルファベット大文字)→ <a>(アルファベット小文字)→ <1>(数字)

2 文字ボタンで文字を入力する

(下記「文字一覧表」参照)
例“ ウミ ”
1. [ア]ボタンを 3 回押す。
2. [マ]ボタンを 2 回押す。

MD T 2 3:24
ウミ <ア>

- この例のように次の文字を別のボタンで入力する場合は、別のボタンを押すことでカーソル(入力位置)も自動的に移動します。
- 同じボタンの文字を続けて入力する場合(“ アイ ”など)は、カーソルボタン(►)でいったんカーソルを移動させてから、文字ボタンを押してください。
- 空白を入れる場合は、カーソルボタン(►)または[SPACE/GROUP]を押してください。
- 文字の種類を変える場合は、手順 1 を行ってください。

文字を修正するには

カーソルを移動させるには
カーソルボタン(◄►)を押す。

文字を消すには
消したい文字にカーソルを合わせ、[CANCEL]を押す。
消した文字の前後は自動的に詰まります。

文字や空白を挿入するには
挿入したい位置の右の文字にカーソルを合わせ、文字を入力する。
空白を入れる場合は、その位置で[SPACE/GROUP]を押す。

文字を変更するには
1. 変更したい文字を消す。
2. 新しい文字を入力する。

文字一覧表

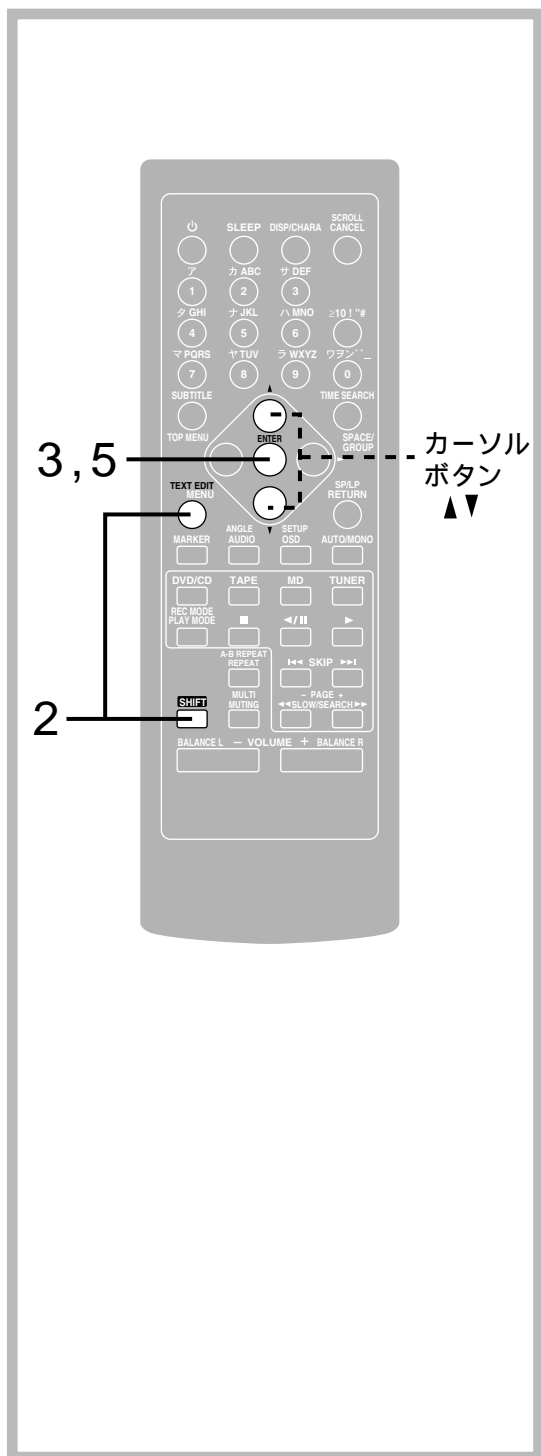
ボタン	文字の種類			
	カタカナ	アルファベット(大)	アルファベット(小)	数 字
1 ア	アイウエオァィゥェォ			1
2 カ ABC	カキクケコ	A B C	a b c	2
3 サ DEF	サシスセソ	D E F	d e f	3
4 タ GHI	タチツテトッ	G H I	g h i	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	J K L	j k l	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	M N O	m n o	6
7 マ PQRS	マミムメモ	P Q R S	p q r s	7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ	T U V	t u v	8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	W X Y Z	w x y z	9
0 ワヲン゛゜ー	ワヲン゛゜ー			0
≧10 ! ” #	! ″ # $ % & ´ ( ) ∗ + , − . ／ : ; < = > ? @ _ `			

゛と゜は、つけられる文字の後にだけ表示されます。

ラジオ放送局に名前をつける

プリセット受信のたびに表示させることができます。

お知らせ

記憶させずに受信した放送局には、名前をつけられません。必ず記憶させてから行ってください。
(⇒ 34〜35 ページ)

1 **本機に記憶させた放送局を受信する**

(⇒ 35 ページ)

2 **[SHIFT] を押しながら [TEXT EDIT] を押す**

FM 88.1 MHz
NHK-FM

本機に登録している放送局名を点滅表示します。

表示された名前でよい場合は

手順 3 に進む。

別の名前にする場合は

カーソルボタン (▲▼) を押す。
複数の放送局名が登録されている場合は、押すたびに別の候補に切り換わります。
押したときそれ以外に候補がない場合は、カーソルを点滅表示します。

FM 88.1 MHz

3 **[ENTER] を押す**

表示された名前でよい場合は

これで名前が記録されます。

別の名前にする場合は

文字入力モードになります。

(放送局名を変えるときのみ)

4 **文字を入力する**

(左ページ参照)

1 つのチャンネルに 15 文字まで入力できます。

5 **[ENTER] を押す**

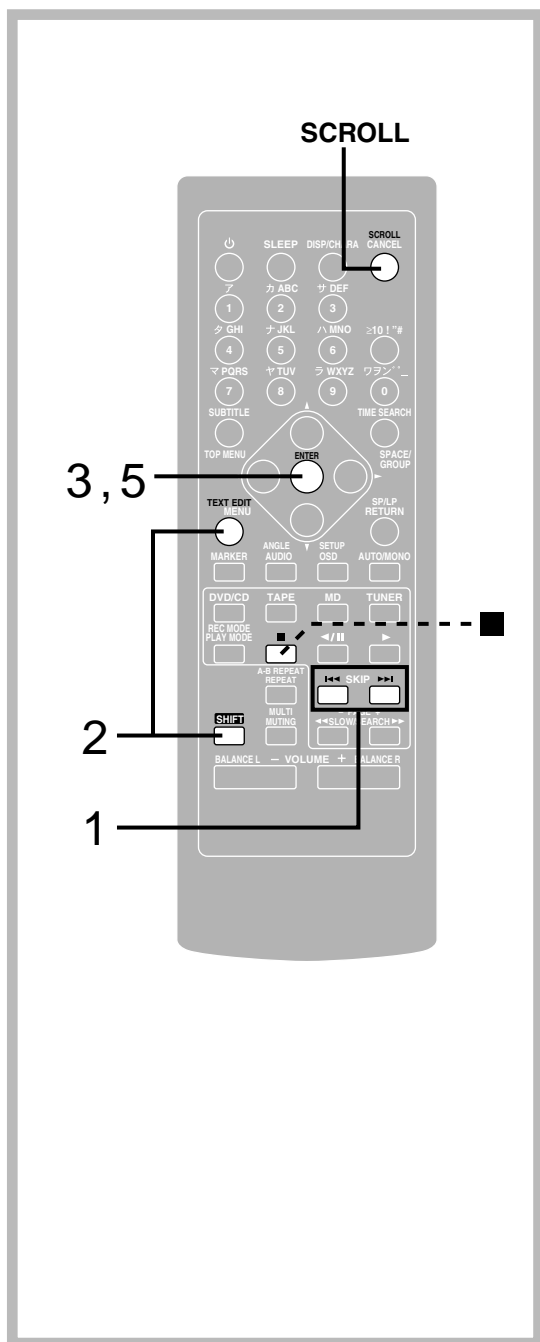
名前が記録されます。

文字入力を途中で中止するには
[SHIFT] を押しながら [TEXT EDIT] を押す。

名前を変更するには
上記操作を再び行う。

MD の曲やディスクに名前をつける

MD 1 枚に約 1700 文字、1 つの名前につき 100 文字まで入力することができます。

準備
[INPUT SELECTOR] で“ MD ”を選んでおく。
- MD は必ず、録音可能な (誤消去防止つまみが閉じた) 状態にしておいてください。
- 1 曲も録音していないディスクに名前をつけることはできません。
- 再生専用 MD では行えません。

停止中に

1 (曲に名前をつける場合のみ)
[⏮] または [⏭] を押して、曲を選ぶ

本体表示窓 MD T 2

2 **[SHIFT] を押しながら [TEXT EDIT] を押す。**

MD T 2
TRACK TITLE?

- 手順 1 を行わなかった場合は、“ DISC TITLE ? ”が表示され、ディスクに名前をつけるモードになります。

3 **[ENTER] を押す**
文字入力モードになります。

MD T 2
<ア>

4 **文字を入力する**
(⇒ 44 ページ)

5 **[ENTER] を押す**
“ MD UTOC Writing ”が点滅し、名前が記録されます。

途中で中止するには
[■] を押す。
名前を変更するには
上記操作を再び行う。

お知らせ
MD が停止していても、本体表示窓で曲が選ばれている状態になっているときは“ DISC TITLE ? ”が表示されません。
[■] を押して、曲が選ばれていない状態にしてください。

再生中または録音中に、曲に名前をつけるには

名前をつける曲の再生中または録音中に

1. 左ページの手順 2〜4 を行う。
   再生中は
   名前をつけている間、再生中の曲を繰り返します。
   録音中は
   名前をつけている間に曲が変わっても、そのまま続けられます。
2. [ENTER] を押す。
   再生中は
   “ MD UTOC Writing ”が点滅し、名前が記録されます。再生は停止します。
   録音中は
   引き続き録音を続けます。録音を停止させたとき、“ MD UTOC Writing ”の点滅し、名前が記録されます。

名前をスクロールする

本体表示窓に一度に表示できるのは 15 文字までです。
名前が 15 文字を超えた場合は、以下のような動作になります。

入力中は
1 字入力するたびに、全体が 1字左へ移動（スクロール）します。

入力後は
その曲を選んだとき、1 度だけスクロールして名前全体を表示します

連続してスクロールするには

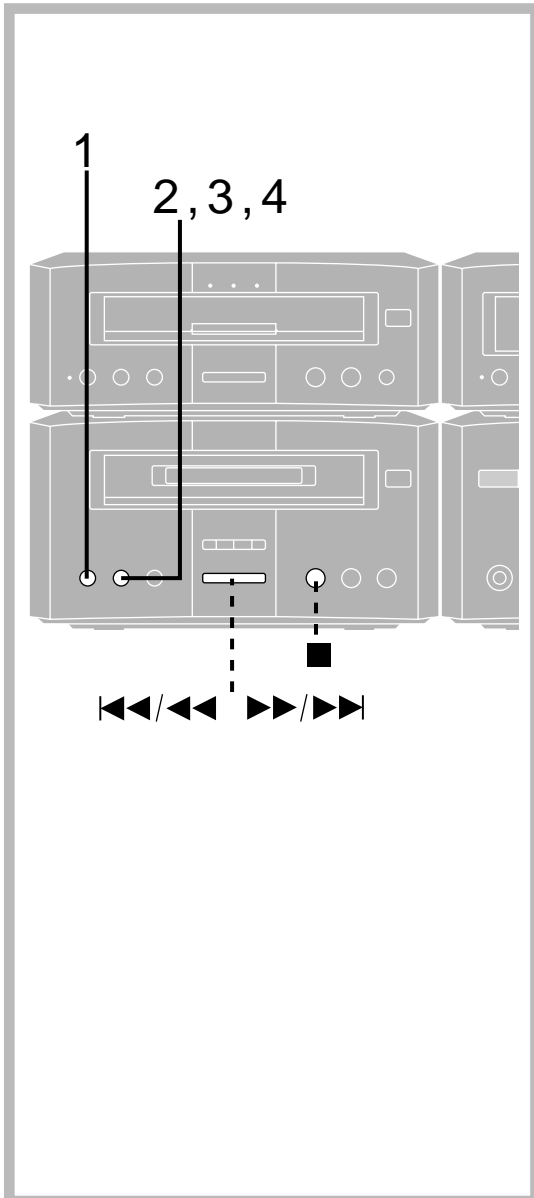
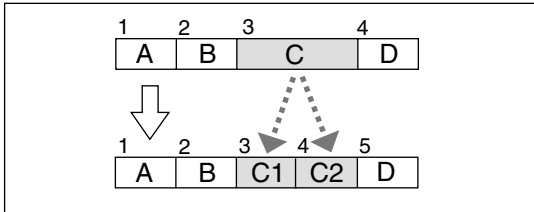
[SHIFT] を押しながら
[SCROLL] を押す

スクロールを停止するには
再び [SHIFT] を押しながら [SCROLL] を押す。

MD を編集する

1 曲を 2 曲に分ける（ディバイド）

録音後、好みの位置にトラックマークを記録することができます。
たとえば、ラジオで交響曲を録音した後に、楽章を分けるときなどに使います。

- MD は必ず、録音可能な（誤消去防止つまみが閉じた）状態にしておいてください。

分けたい曲を再生中に

1 [EDIT] を押して“ DIVIDE ? ”を選ぶ

MD T 3 3 : 40
DIVIDE?

押すたびに
DIVIDE ? → MOVE ? → COMBINE ? → TRACK ERASE ? → 解除

- 1 曲目の場合、“ COMBINE ? ” は出ません。

2 分けたい位置で [ENTER] を押す

MD T 3 3 : 45
POSITION 0

- 分ける位置からの数秒間を繰り返し再生します。
- [|◀◀/◀◀] または [▶▶/▶▶|] を押すことで、分ける位置を前後に調整できます。（−128〜+127 の範囲）

3 [ENTER] を押す

MD T 3 3 : 45
DIVIDE OK?

4 [ENTER] を押す

“ MD UTOC Writing ”の点滅後、編集が終了します。
再生は停止します。

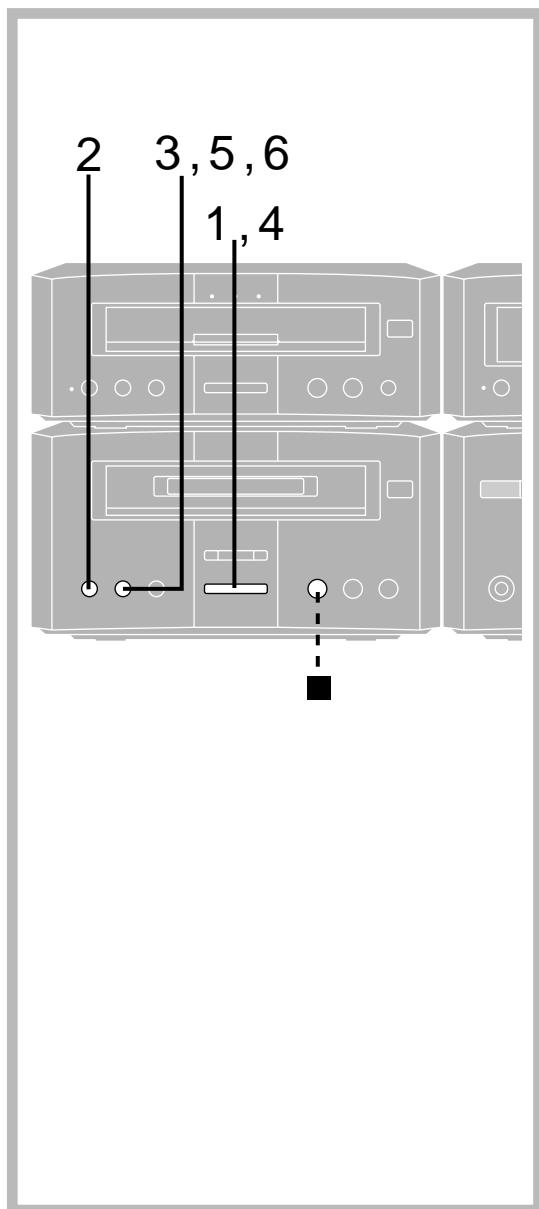
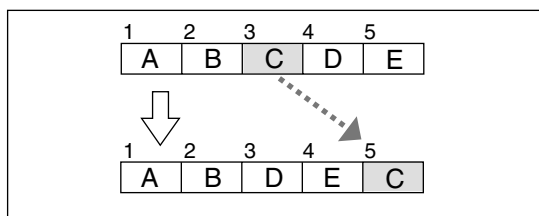
途中で中止するには
[■] を押す。
再び 1 曲にするには
「コンバイン」を行う（⇒ 50 ページ）

お知らせ

- 名前のついた曲を分けた場合は、後の曲が名前なしになります。
- 曲の途中で分けても、音声が途切れることはありません。

曲を移動する（ムーブ）

曲を好みの位置に移動して、順番を変えることができます。

準備
[INPUT SELECTOR] で“ MD ”を選んでおく。
● MD は必ず、録音可能な（誤消去防止つまみが閉じた）状態にしておいてください。

停止中または再生中に

1 [⏮/◀◀] または [▶▶/⏭] を押して、曲を選ぶ

MD T 3

2 [EDIT] を押して“ MOVE ? ”を選ぶ

MD T 3
MOVE?

押すたびに
DIVIDE ?（再生中のみ）→ **MOVE ?** →
COMBINE ? → TRACK ERASE ? →
解除
● 1 曲目の場合、“ COMBINE ? ” は出ません。

3 [ENTER] を押す

MD T 3
TRACK 3 > 1

4 [⏮/◀◀] または [▶▶/⏭] を押して、移動先の曲番を選ぶ

MD T 3
TRACK 3 > 5

（例：5 曲目に入れる場合）

5 [ENTER] を押す

MD T 3
3 > 5 OK?

6 [ENTER] を押す

“ MD UTOC Writing ”の点滅後、編集が終了します。
再生中の場合は停止します。

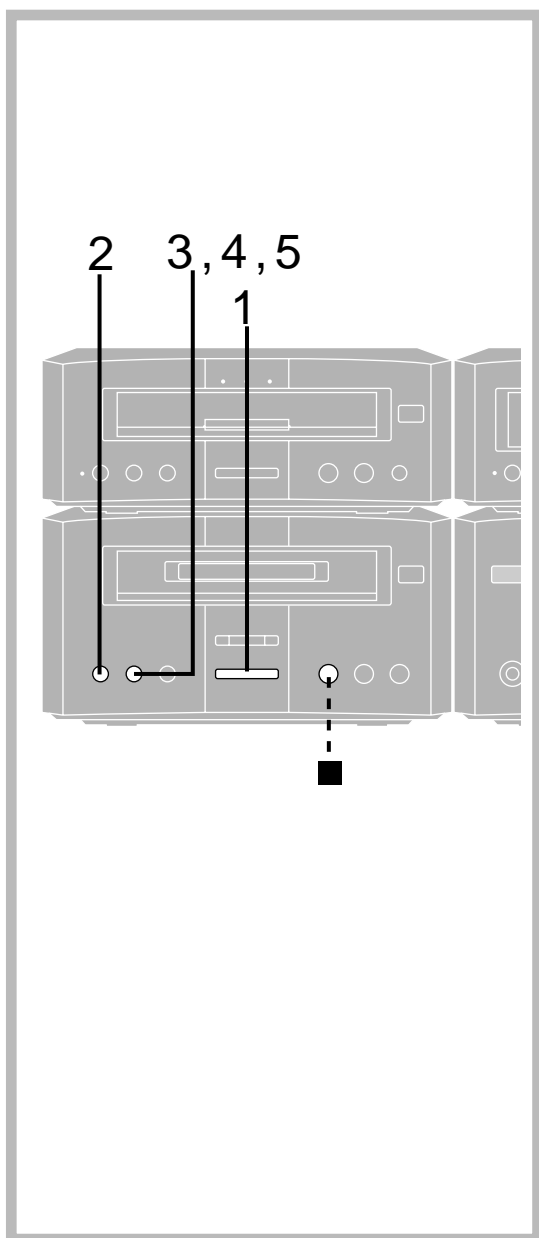
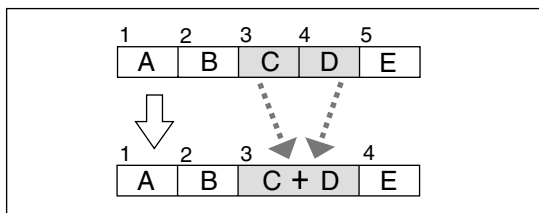
途中で中止するには
[■] を押す。
移動した曲を元の位置に戻すには
再び上記操作を行い、手順 4 で元の曲番を選ぶ。

2 曲を 1 曲にする(コンバイン)

トラックマークを取ることで連続した 2 曲を1 曲にすることができます。

準備

[INPUT SELECTOR]で"MD"を選んでおく。

- MD は必ず、録音可能な(誤消去防止つまみが閉じた)状態にしておいてください。

停止中または再生中に

1 [⏮/◀◀]または[▶▶/⏭]を押して、曲を選ぶ

MD T 4

2 曲のうち、後の曲を選んでください。

- 曲番 1 は選んでも、コンバインはできません。

2 [EDIT]を押して"COMBINE ?"を選ぶ

MD T 4
COMBINE?

押すたびに
DIVIDE ?(再生中のみ)→ MOVE ? → **COMBINE ?** → TRACK ERASE ? → 解除

3 [ENTER]を押す

MD T 4
TRACK 3 + 4

- 2 曲の組み合わせを変える場合は、[⏮/◀◀]または[▶▶/⏭]を押して選んでください。

4 [ENTER]を押す

MD T 4
3 + 4 OK?

5 [ENTER]を押す

"MD UTOC Writing"の点滅後、編集が終了します。
再生中の場合は停止します。

途中で中止するには

[■]を押す。

再び 2 曲にするには

「ディバイド」を行う(⇒ 48 ページ)

お知らせ

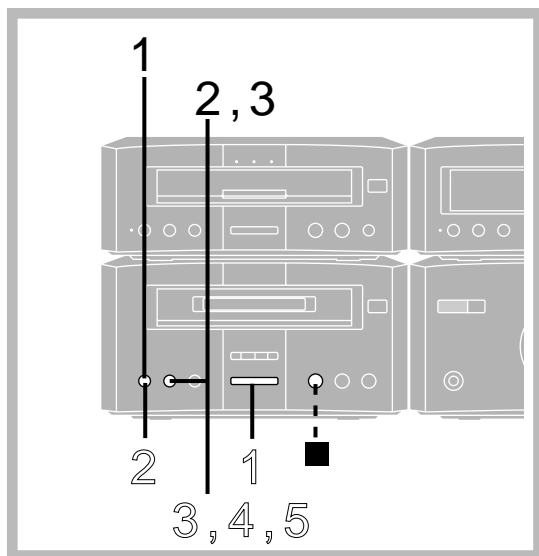
- 通常録音(SP)した曲と長時間録音(LP)した曲を 1 つにすることはできません。
- 名前のついた 2 曲を 1 つにした場合は、前の曲の名前のみになります。

曲を消す（イレース/オールイレース）

不要な曲や、ディスク全体の内容を消すことができます。

準備

[INPUT SELECTOR]で“ MD ”を選んでおく。

- MD は必ず、録音可能な（誤消去防止つまみが閉じた）状態にしておいてください。

全曲を消すには（オールイレース）

停止中に

1 [EDIT]を押しで“ ALL ERASE ? ”を表示させる

MD T 9 42 : 15
ALL ERASE?

2 [ENTER]を押す

MD T 9 42 : 15
ERASE OK?

3 [ENTER]を押す

“ MD UTOC Writing ”の点滅後、編集が終了します。

途中で中止するには

[■] を押す。

不要な曲を消すには（イレース）

停止中または再生中に

1 [⏮/◀◀] または [▶▶/⏭] を押して、曲を選ぶ

MD T 3

2 [EDIT]を押して“ TRACK ERASE ? ”を選ぶ

MD T 3
TRACK ERASE?

押すたびに
DIVIDE ?（再生中のみ） → MOVE ? → COMBINE ? → **TRACK ERASE ?** → 解除

3 [ENTER] を押す

MD T 3
ERASE

消す曲を変える場合は、[⏮/◀◀] または [▶▶/⏭] を押して選んでください。

4 [ENTER]を押す

MD T 3
ERASE OK?

5 [ENTER]を押す

“ MD UTOC Writing ”の点滅後、編集が終了します。
再生中の場合は停止します。

途中で中止するには

[■] を押す。

お知らせ

- 曲を消すと、その後の曲は番号が一つずつ少なくなります。
- オールイレースを行うと、ディスクにつけた名前も消えます。
- MD が停止していても、本体表示窓で曲が選ばれている状態になっているきば“ ALL ERASE ” が表示されません。
[■] を押して、曲が選ばれていない状態にしてください。

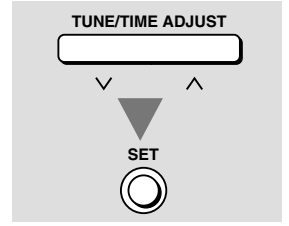
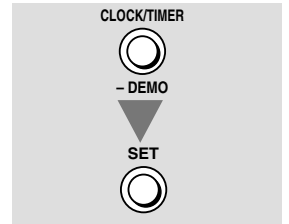
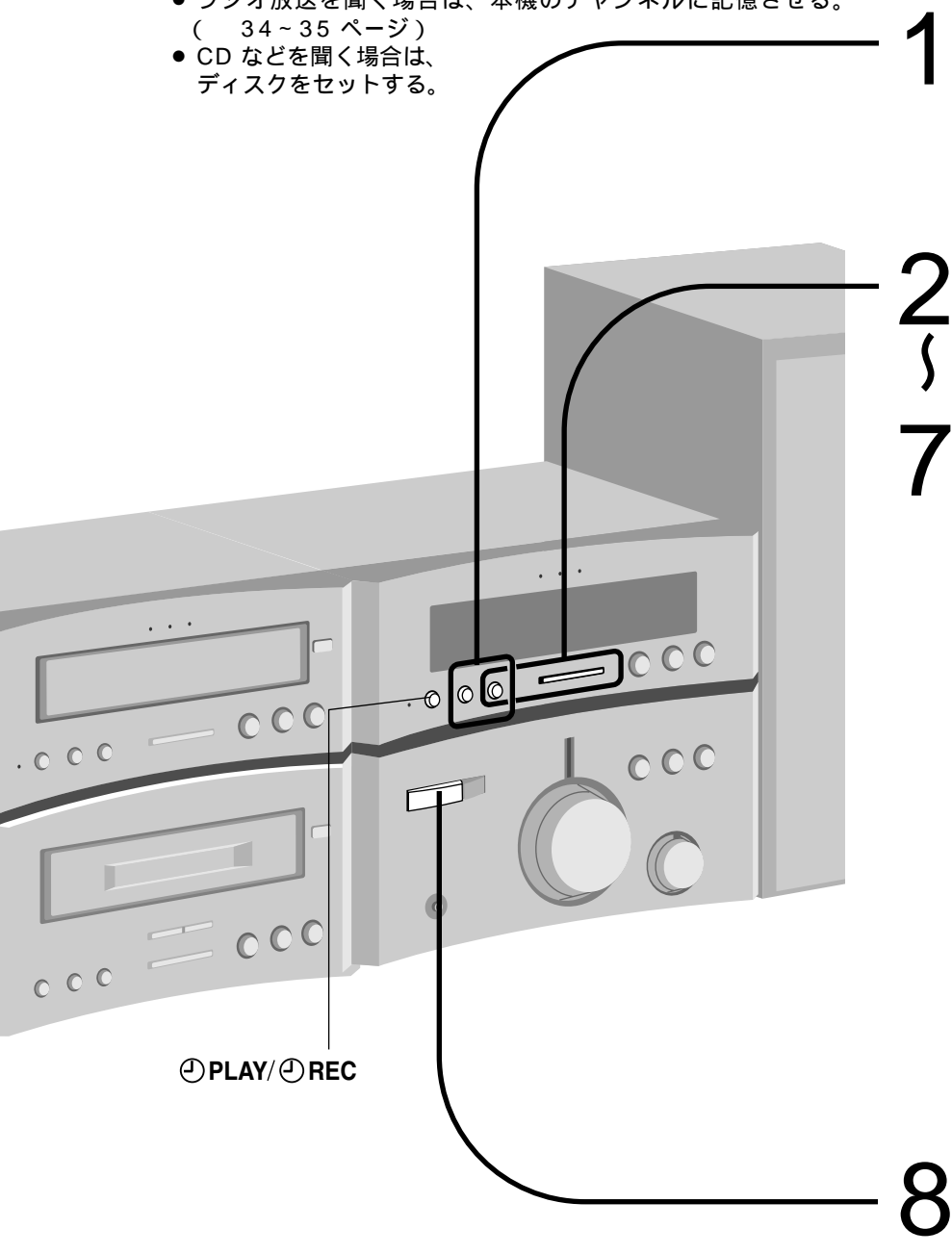
使いかた

タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

好みの時間に好みのソースを再生します。

準備

- 本機の電源を入れ、時計を合わせる。(⇒ 12 ページ)
- ラジオ放送を聞く場合は、本機のチャンネルに記憶させる。(⇒ 34〜35 ページ)
- CD などを聞く場合は、ディスクをセットする。

1

2〜7

時刻などを選ぶとき

[TUNE/TIME ADJUST (∨ ∧)] を押し続けると、表示が早く変わります。

曜日について

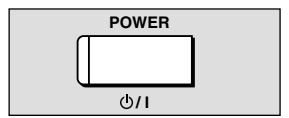
次の順で切り換わります。

SUN (日) → MON (月) → TUE (火) → WED (水) → THU (木) → FRI (金) → SAT (土) → SUN ... SAT すべて(毎日) → MON ... SAT (月〜土) → MON ... FRI (月〜金) → SUN、SAT (日、土)

◴PLAY/◴REC

8

POWER

⏻/I

おめざめタイマーが動作しないようにするには

電源「入」時に [◴ PLAY/◴ REC] をポンポンと押して“ ◴ PLAY ”を消灯させる。(再び点灯させると、タイマーが「入」になります。)

節電機能を使っていないとき(“ NORMAL ”時)は、電源を切った後でも行えます。

おめざめタイマーの設定を確認するには

[CLOCK/TIMER] をポンポンと押して“ ◴ PLAY ”を表示させる。

設定内容が数秒ずつ表示された後、元の表示に戻ります。

電源を切った後でも行えます。

例：FM 8 チャンネルに記憶させたラジオ放送を、金曜日の 6:30〜7:40 に、音量 − 30 dB で聞く。

押して

“ PLAY ”を選び

PLAY

約 5 秒以内に

押す

押すたびに

CLOCK → PLAY → REC

元の表示

以下は各手順ごとに ① [TUNE/TIME ADJUST（∨ ∧）] で内容を選び、② [SET] を押して確定してください。

2 曜日を選ぶ

点滅している曜日が選ばれます。

PLAY
SUN MON TUE WED
THU FRI SAT

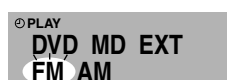
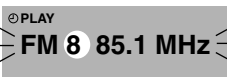
3 開始時刻を選ぶ

PLAY
ON 6:30

4 終了時刻を選ぶ

PLAY
OFF 7:40

5 ソースを選ぶ

PLAY
DVD MD EXT
FM AM

6 （“ FM ”または“ AM ”を選んだときのみ）
チャンネルを選ぶ

PLAY
FM 8 85.1 MHz

7 音量を選ぶ

設定した内容が順次表示され、元の表示に戻ります。
“ PLAY ” が点灯していることを確認してください。（[PLAY/ REC] ボタン左のランプも点灯）

押して

電源を切る

設定した時刻になると電源が入り、演奏が始まります。このとき音量は最小から設定値まで徐々に大きくなります。

おやすみタイマーを使う

設定した時間後に電源が切れます。

ソースの再生中に

[SLEEP] を押して、時間（分）を選ぶ

SLEEP
SLEEP 30

押すたびに
SLEEP 30 → SLEEP 60 →
SLEEP 90 → SLEEP 120 →
SLEEP OFF（解除）

おやすみタイマーが動作している間、“ SLEEP ”が点灯します。

おやすみタイマーを解除するには
[SLEEP] を押して、“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

残り時間を確かめるには
[SLEEP] を 1 回押す。
残り時間が約 5 秒表示されます。

設定を変更するには
1. [SLEEP] を押す。
残り時間が表示されている間に
2. [SLEEP] を押して、時間を選ぶ。

お知らせ

AI 編集録音を始めると、おやすみタイマーは解除されます。

おめざめタイマーの設定を変更するには
上記手順を再び行う。

お知らせ

設定した内容を消去することはできません。

おめざめタイマーで“ EXT ”を選んだ場合は
設定した時刻に演奏が始まるよう、外部機器を設定してください。

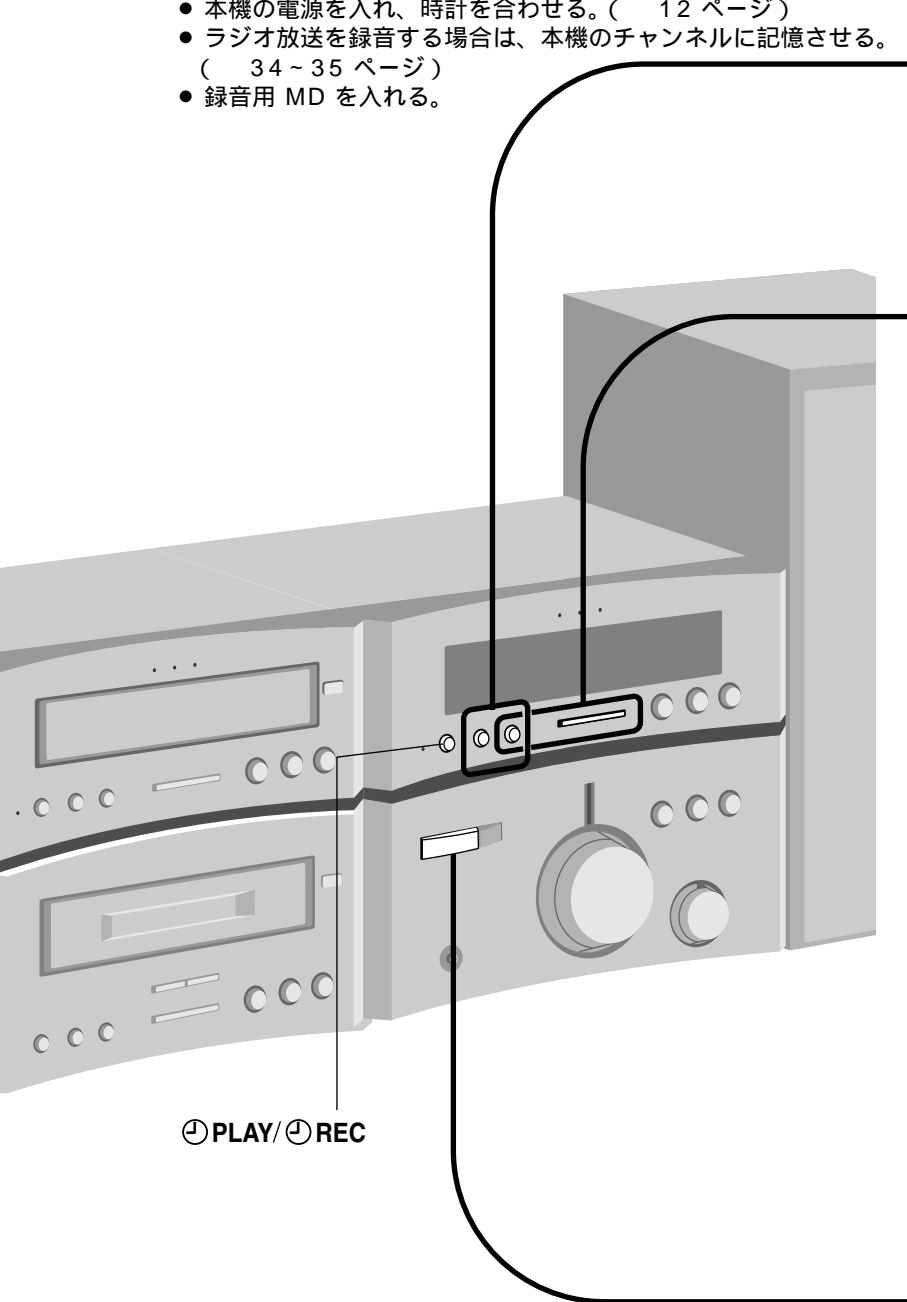
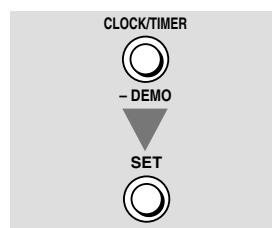
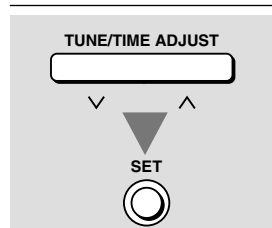
おめざめタイマー設定後でも再生や録音はできます
操作後に電源を切ると、再びタイマーが働きます。

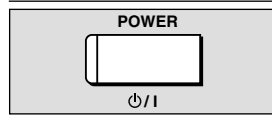
使いかた

留守録タイマーを使う

好みの時間にラジオ放送などを録音します。

準備

- 本機の電源を入れ、時計を合わせる。(⇒ 12 ページ)
- ラジオ放送を録音する場合は、本機のチャンネルに記憶させる。(⇒ 34〜35 ページ)
- 録音用 MD を入れる。

時刻などを選ぶとき
[TUNE/TIME ADJUST (∨ ∧)] を押し続けると、表示が早く変わります。

曜日について
次の順で切り換わります。
SUN (日) → MON (月) → TUE (火) → WED (水) → THU (木) → FRI (金) → SAT (土) → SUN ... SAT すべて(毎日)

留守録タイマーを動作させないようにするには
電源「入」時に［⏲ PLAY/⏲ REC］をポンポンと押して“⏲ REC”を消灯させる。(再び点灯させると、タイマーが「入」になります。)
節電機能を使っていないとき(“NORMAL”時)は、電源を切った後でも行えます。

留守録タイマーの設定を確認するには
[CLOCK/TIMER)] をポンポンと押して“⏲ REC”を表示させる。
設定内容が数秒ずつ表示された後、元の表示に戻ります。
電源を切った後でも行えます。

例：FM 8 チャンネルに記憶させたラジオ放送を、土曜日の 18:30〜19:30 に録音する。

押して

“ ◴REC ”を選び

約 5 秒以内に

押す

押すたびに

◴CLOCK →◴PLAY →◴REC

元の表示

以下は各手順ごとに ①［TUNE/TIME ADJUST（∨ ∧）］で内容を選び、②［SET］ を押して確定してください。

2 曜日を選ぶ

点滅している曜日が選ばれます。

◴REC
SUN MON TUE WED
THU FRI SAT

3 開始時刻を選ぶ

◴REC
ON 18:30

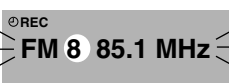
4 終了時刻を選ぶ

◴REC
OFF 19:30

5 “ FM ”、“ AM ”または “ EXT ”を選ぶ

◴REC
EXT FM AM

6 （“ FM ”または“ AM ” を選んだときのみ）**チャンネルを選ぶ**

◴REC
FM 8 85.1 MHz

7 “ AUTO ”または “ MANUAL ”を選ぶ

◴REC
MARK
AUTO MANUAL

トラックマークを自動で記録させないときは、“ MANUAL ”を選んでください。

設定した内容が順次表示され、元の表示に戻ります。
“ ◴ REC ”が点灯していることを確認してください。
（［◴ PLAY/ ◴ REC］ボタン左のランプも点灯）

押して

電源を切る

設定した時刻になると電源が入り、録音が始まります。このとき音量は最小になります。

タイマーを組み合わせて使う

おめざめ、おやすみ、留守録の各タイマーを組み合わせて使うことができます。
このとき、各タイマーの動作する時刻が重ならないようにご注意ください。

例：
ラジオを聞きながら眠りにつき、翌朝 MD で目覚める

1. MD を入れる。
2. おめざめタイマーを設定する。
3. ラジオ放送を受信する。
4. おやすみタイマーを設定する。

専用カセットデッキ RS-HDA710（別売り）を接続した場合の留守録について

左記手順 7 の前に、“ TAPE ”または“ MD ”を選ぶ画面になります。
カセットデッキで録音するときは
“ TAPE ”を選ぶ
MD デッキで録音するときは
“ MD ”を選ぶ
両方で録音するときは
“ TAPE MD ” を選ぶ

［SET］を押すと、手順 7 に進みます。

留守録タイマーの設定を変更するには
上記手順を再び行う。

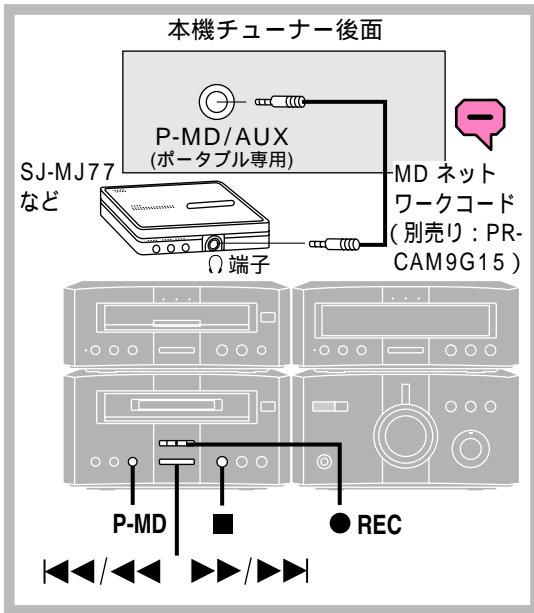
お知らせ
設定した内容を消去することはできません。

“ EXT ”を選んだ場合は
設定した時刻に演奏が始まるよう、外部機器を設定してください。

留守録タイマー設定後でも再生や録音はできます
操作後に電源を切ると、再びタイマーが働きます。

MD ネットワーク機能を使う

別売り品の品番は、2000 年 7 月現在のものです。

MD ネットワーク対応のポータブル MD（別売り）や、ビジュアル/タイトルプリンター（別売り）と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーを接続する

- 本機からポータブル MD をコントロールして、録音/タイトルコピーが簡単に行えます。
- 電源を切った状態で接続してください。

対応品

カタログにこのマークが付いているポータブル MD プレーヤーです。（SJ-MJ77 など）

左図のように接続します。
コードのプラグは奥までしっかり差し込んでください。

お願い

ポータブル MD プレーヤーは、本機の上に置かないでください。雑音が発生する恐れがあります。

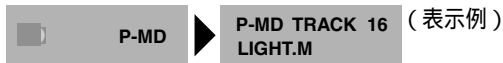
ネットワーク機能でポータブル MD から本機の MD に録音する

- 録音元の MD に曲名やディスク名が記録されているときは、自動的にコピーされます。
- 録音は、デジタル信号 → アナログ信号→デジタル信号と変換されて行われます。

準備

ポータブル MD に録音元 MD を、本機に録音用 MD を入れる。

1. [P-MD] を押す。
   ネットワーク機能が働き、本機表示窓にポータブル MD 側の総曲数が表示されます。

（表示例）

ポータブルMD では、適切な音量と、フラットな音質に設定されます。

<u>全曲録音するとき</u>

2. [● REC] を押す。
   録音が始まり、終わると自動停止します。

<u>1 曲ずつ録音するとき</u>

2. [⏮/◀◀ または ▶▶/⏭] で曲を選ぶ。
   確認のため、曲の再生が行われます。
3. [● REC] を押す。
   曲の頭に戻って録音が始まり、その曲が終わると自動停止します。

途中で停止するには

[■] を押す。
“ MD UTOC Writing ”の点滅後、録音が終了します。

録音用 MD には少し余裕のあるものを

録音元の MD にトラックマークが付いている場合は、同じ位置に約 1 秒間の無音部が記録されるため、実際に録音される時間は少し長めになります。

“ P-MD ”が点滅したら

ボタン操作がない状態で約 4 分以上放置したため、MD ネットワークが休止状態になっています。
再度 [P-MD] を押してください。

“ P-MD ERROR ”と表示されたら

MD ネットワークに異常があります。
ポータブル MD の電池残量やコードの接続を確認して、再度 [P-MD] を押してください。

お知らせ

- MD ネットワーク対応のパーソナル MD システムや他の MD ステレオシステムをつないでも、この機能は働きません。
- 市販の演奏用 MD から録音するときは、曲名やディスク名はコピーされません。
- すでにディスク名が付いている MD に録音した場合は、ディスク名はコピーされません。
- ネットワーク機能とタイマーを組み合わせて使うことはできません。

ビジュアル/タイトルプリンター（対応品：SH-CP30）を使うには

MD についている名前を元に、MD のラベルを印刷することができます。くわしくはプリンターの説明書をご覧ください。

外部機器を接続して楽しむ

別売り品の品番は、2000 年7 月現在のものです。

再生/録音用の機器を接続する

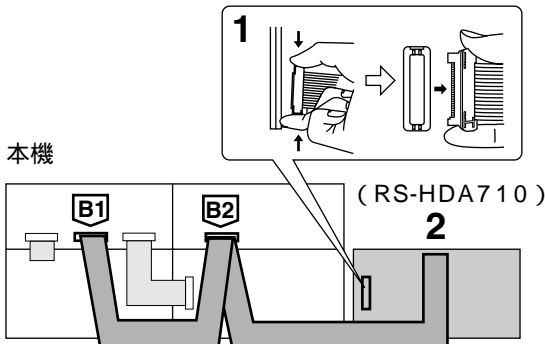
くわしくは、接続する機器の説明書をご覧ください。

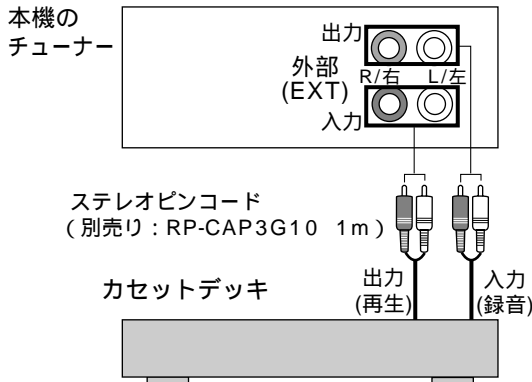
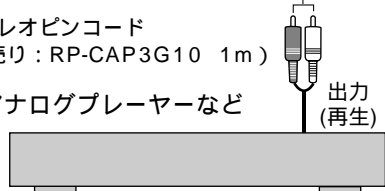
カセットデッキ

本機の再生をカセットで録音したり、カセットの再生を本機で聞くことができます。

RS-HDA710（別売り専用品）を接続する場合

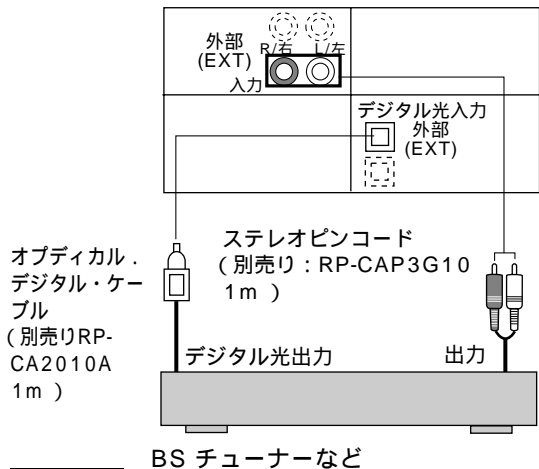
1 カセットデッキ後面のケーブル留めからフラットケーブルのコネクターを抜く。

2 カセットデッキのフラットケーブルを、本機の B2 および B1 端子に接続する。

- 本機に付属しているフラットケーブルの短い方は使用しません。
- 本機をタテに重ねている場合の接続は、RS-HDA710 の説明書をご覧ください。

その他のカセットデッキを接続する場合

アナログプレーヤー、有線放送など

アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
推奨品：パナソニック SL-J8（フォノイコライザー内蔵）
内蔵されていない場合は、フォノイコライザーが必要になります。
推奨品：フォノイコライザー RFKZ0088KIT（サービスルート扱い）

BS（CS）チューナー、MD レコーダーなど

デジタル録音できます。

お知らせ

ステレオピンコードは必ず接続してください。接続しないと、本機から音がでません。

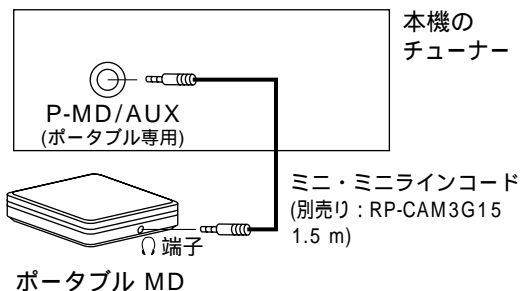
MDネットワーク機能を使う

使いかた

外部機器を接続して楽しむ

（次ページに続く）

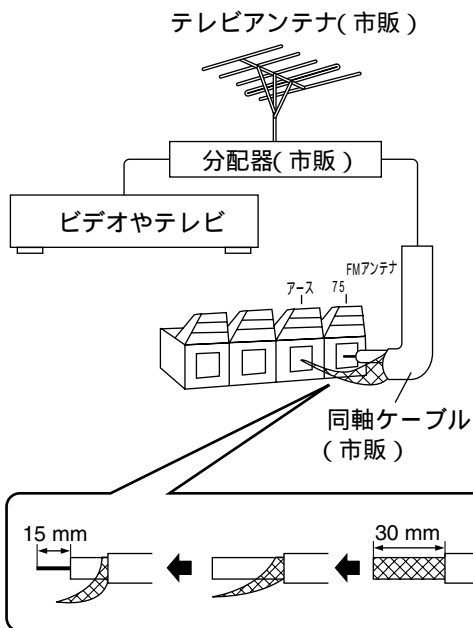
外部機器を接続して楽しむ

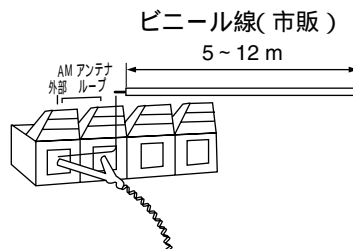
ポータブル MD（P-MD／AUX）

ポータブル MD プレーヤーのヘッドホン端子に接続してください。
ポータブル MD プレーヤーの音量を調節し、音質機能をすべて「切」にしてください。
MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーの場合は、56 ページの方法で接続すると、録音が簡単に行えます。

外部アンテナを接続する

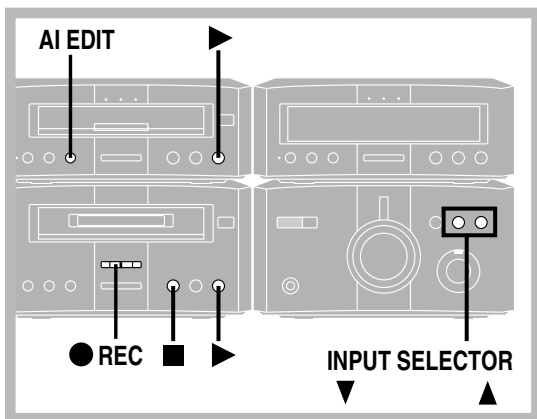
山間部や鉄筋ビルの中など電波の弱いところでは、外部アンテナをつけるとラジオの受信状態が良くなります。

FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナをはずします。

AM（市販のビニール線）

窓際などに水平に設置してください。

AM ループアンテナ（付属）
はずさず、いっしょに接続してください。

外部機器のソースを再生/録音する

くわしくは、再生/録音する機器の説明書をご覧ください。

再生するには

1 [INPUT SELECTOR(▼ または ▲)] を押し、“ TAPE ”、“ AUX ”または“ EXT ”を選ぶ

押すたびに
DVD ↔ **TAPE**(RS-HDA710 接続時のみ) ↔ MD ↔ **AUX** ↔ **EXT** ↔ TUNER
AUX:AUX 端子に接続した機器
EXT:EXT 端子に接続した機器

2 機器を再生する

本機(MD)で録音するには

1. [INPUT SELECTOR(▼ または ▲)] を押して、“ TAPE ”、“ AUX ”または“ EXT ”を選ぶ。
2. [● REC] を押す。
3. MD デッキの [▶] を押して、録音を始める。
4. 外部機器の再生を始める。

録音を停止するには
MD デッキの [■] を押す。
“ UTOC Writing ”が点滅した後、録音が完了します。

録音モードを選ぶには
左記手順 2 の後に、リモコンの [SHIFT] を押しながら [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。(⇒ Normal Rec については 21 ページ、Auto Space と Turn Back については 43 ページをご参照ください。)

お知らせ
- EXT からの録音を選んだとき、デジタル光入力端子に接続している場合は、自動的にデジタル入力になります。
- 本機にはサンプリングレートコンバーター機能がありますので、BS/CS チューナーの音声(32 kHz または 48 kHz)もデジタル録音できます。
- BS(CS)チューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。

カセットデッキで録音するには

本機や外部機器の再生を、接続したカセットデッキで録音することができます。

普通に録音するには
1. カセットデッキにカセットテープを入れ、ドルビーやリバースモードの設定をする。
2. [INPUT SELECTOR(▼ または ▲)] を押して、再生するソースを選ぶ。
3. カセットデッキで録音を始める。
4. ソースの再生を始める。

CD から自動で録音するには(AI 編集録音)
(RS-HDA710 接続時のみ)
テープ終端で曲が途切れないよう、本機が自動的に計算して録音します。(くわしくは、RS-HDA710 の説明書をご覧ください。)

1. CD と カセットテープを入れ、カセットデッキでドルビーやリバースモードの設定をする。
2. [INPUT SELECTOR(▼ または ▲)] を押して、“ DVD ”を選ぶ。
3. [AI EDIT] を押して、“ CD ▸ TAPE ”を選ぶ。

AI EDIT
CD TAPE

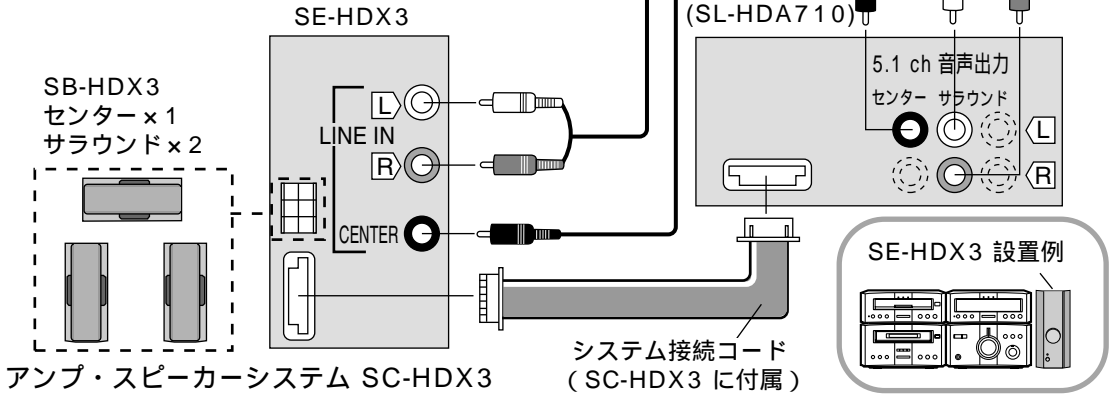
押すたびに
CD ▸ TAPE → CD ▸ MD → EDIT OUT(解除)
計測が行われた後、録音が始まります。

CD が終了したとき、本体表示窓に“ LINK ”が点滅している場合は、続けて別の CD を録音することができます。CD を入れ替えた後、プレーヤーの [▶] を押してください。
終わる場合は、MD デッキの [■] を押してください。

DVD の 5.1 ch サウンドを楽しむ

専用のアンプ・スピーカーシステム（別売り：SC-HDX3）と組み合わせる場合

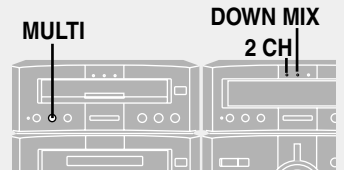
- 本機のスピーカーはフロント（L/R）およびサブウーハーとして使用します。
- 本機側から、SC-HDX3 の電源と音量を操作できます。

（くわしくは、SC-HDX3 の説明書をご覧ください。）

SC-HDX3 と組み合わせたときは、以下の設定・操作を行ってください

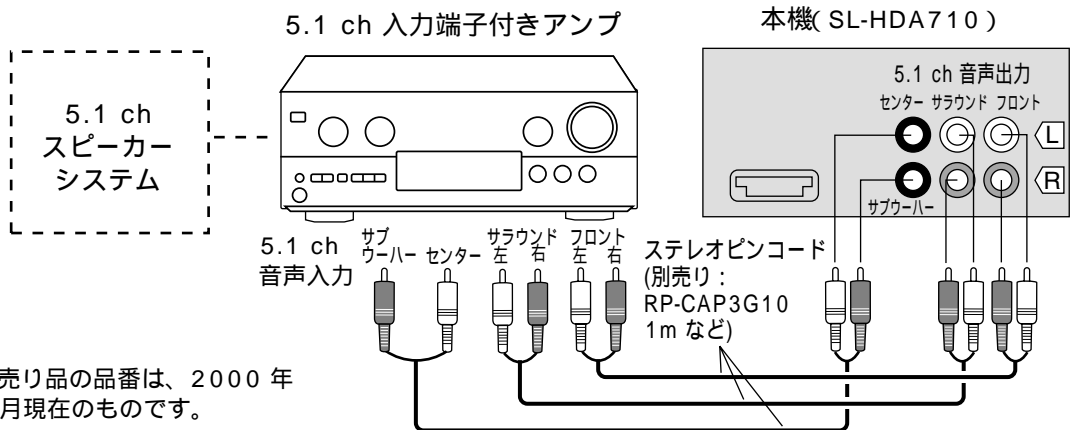
■ ディスク（MD 以外）再生時の設定で、「スピーカー設定」を行う。（⇒ 61および 64、65 ページ）
（「スピーカーモード」は工場出荷時の状態でけっこうです。⇒ 62 ページ参照）

■ 3 ch 以上のソースを再生するときは、ディスクを入れた後、本機の [MULTI] を押して “ 2 ch ” ランプを点灯させる。（2 ch ソースのときは “ DOWN MIX ” を点灯させる。）

- “ DOWN MIX ”や“ V.S.S. ”が点灯していると、SC-HDX3 の スピーカーから音が出ません。
- 再生を始めたときに“ V.S.S. ”に切り換わった場合は、[MULTI] をポンポンと押して、“ 2 ch ”にしてください。

MULTI　DOWN MIX　2 CH

お願い

3 ch 以上のソースをヘッドホンで聞く場合は、“ DOWN MIX ” または “ V.S.S. ” にしてください。“ 2 ch ” になっていると、SC-HDX3 システムのスピーカーから音が出てしまいます。

5.1 ch アンプ、スピーカー（別売り）と組み合わせる場合

別売り品の品番は、2000 年 7 月現在のものです。

5.1 ch アンプ、スピーカー と組み合わせたときは、以下の設定・操作を行ってください

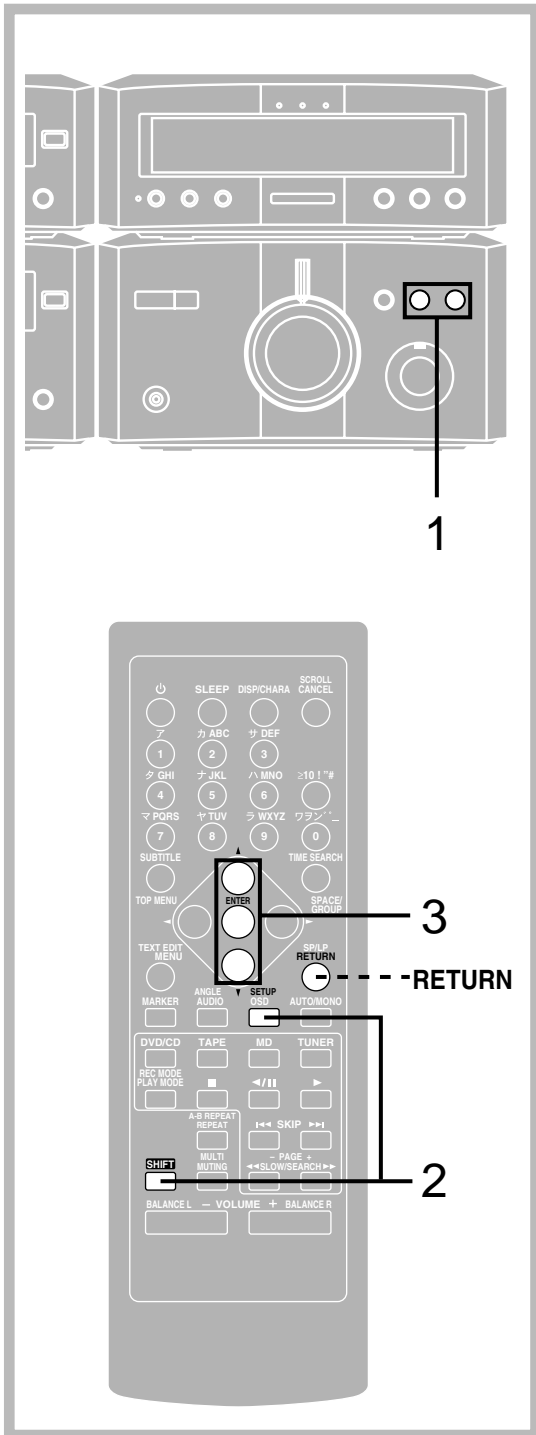
■ディスク（MD 以外）再生時の設定で、「スピーカー設定」を行う。（⇒ 61および 64、65 ページ）

■V.S.S. が選ばれている場合は、解除する。（⇒ 36 ページ）

本機のスピーカーをフロント（L/R）として接続した場合は、“ 2 ch ”を選んでください。（上記参照）
なお、この場合の音量調整は、本機と 5.1 ch アンプのそれぞれで行ってください。

ディスク（MD 以外）再生時の初期設定を変える

DVD や、ビデオ CD、音楽 CD 再生についての各種設定を、初期状態から変更することができます。
次ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。

準備
テレビのビデオ入力を、本機との接続に合わせて切り換える。（ビデオ 1 など）

基本操作

停止中に

1 **[INPUT SELECTOR（▼ または ▲ ）] を押して、“ DVD ”を選ぶ**

本体表示窓 DVD　NO DISC

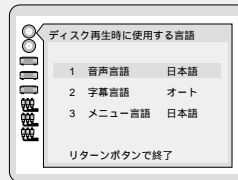
2 **[SHIFT] を押しながら [SETUP] を押す**

初期設定画面を表示します。

テレビ画面

3 **カーソルボタン（ ▲▼ ）で設定メニューを選び、[ENTER] を押す**

設定項目や変更内容を表示します。
画面を見ながら必要なだけこの操作を繰り返してください。

例：ディスク言語設定画面

1 つ手前の画面に戻るには
[RETURN] を押す。

初期設定画面を消すには
[RETURN] を何度か押す。

設定一覧表

下線の入った内容は、工場出荷時の設定です。

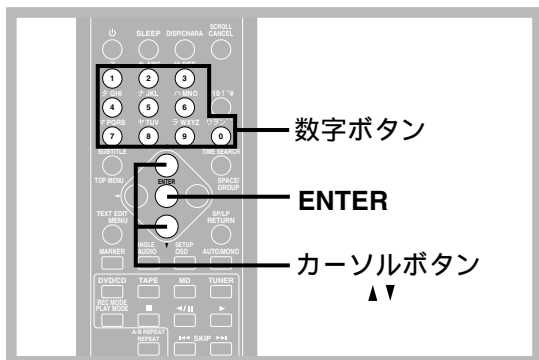
設定メニュー		項目と内容
1 ディスク言語（DVD ビデオのみ）	1 音声言語	1 日本語　2 英語 3 オリジナル　4 その他 ＊＊＊＊
	2 字幕言語	1 オート　2 日本語 3 英語　4 その他 ＊＊＊＊
	3 メニュー言語	1 日本語　2 英語 3 その他 ＊＊＊＊
2 視聴制限（DVD ビデオのみ）		8（すべて可）/7/6/5/4/3/2/1/ 0（すべて不可）
3 画面メニュー言語		1 日本語　2 English
4 オンスクリーン	1 画面メッセージ	1 入　2 切
	2 色と位置	1 青色（上）　2 紫色（上）　3 緑色（上） 4 青色（やや下）　5 紫色（やや下） 6 緑色（やや下）
5 接続する TV		1 4:3　2 16:9
6 スピーカー設定	スピーカーモード	フロントスピーカー ：あり（大）/あり（小） センタースピーカー：あり（大）/あり（小）/なし サブウーハー：あり/なし サラウンドスピーカー：あり（大）/あり（小）/なし
	ディレイタイム	センター ：0/1.3/2.6/3.9/5.3 ms サラウンド：0/5.3/10.6/15.9 ms
	音量バランス	0/±6 dB
9 エキスパート設定	1 スチルモード	1 オート　2 フィールド 3 フレーム
	2 早送り時の音声	1 あり　2 なし
	3 TV モード （4:3）	1 パン&スキャン　2 レターボックス
	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	1 切　2 入
	5 I/P/B インジケーター	1 しない　2 する
	6 DVD ビデオモード	1 しない　2 する

7 と 8 の項目はありません。

設定の変更は電源を切っても保持されます。

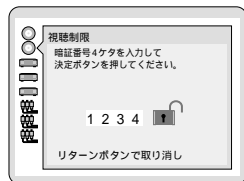
説明
DVD ビデオ再生時に最初に選ばれる音声言語（映画の会話など）を設定します。 ディスクにその言語が含まれていない場合や、ディスク側の設定が優先される場合はディスクの設定言語になります。（⇒ “ その他 ”については 66 ページ「言語番号一覧表」参照）
DVD ビデオ再生時に最初に選ばれる字幕言語（映画など）を設定します。 ディスクにその言語が含まれていない場合や、ディスク側の設定が優先される場合はディスクの設定言語になります。（⇒ “ その他 ”については 66 ページ「言語番号一覧表」参照）
DVD ビデオのタイトルメニューなど、テレビ画面に表示される言語の種類を設定します。 （⇒ “ その他 ”については 66 ページ「言語番号一覧表」参照）
DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定します。**（⇒ くわしくは 64 ページ）** レベル 8：すべての DVD ビデオを再生 レベル 7〜1：制限レベルが記録された DVD ビデオのみ、そのレベルに応じて禁止 レベル 0：すべての DVD ビデオを禁止
初期設定画面の言語や、テレビ画面に表示される“ 再生 ”などの言語を設定します。
“ 再生 ”などの表示を、テレビ画面に出すか出さないかを設定します。
テレビ画面に出る“ 再生 ”などの表示、および GUI 画面の色と表示位置を設定します。 （上位置の場合）　（やや下位置の場合）
接続するテレビに合わせて、画面サイズ（4:3 または 16:9）を設定します。
5.1 ch サラウンドシステムを組んだときに、各スピーカーのあり/なしと大/小を設定します。**（⇒ くわしくは 64〜65 ページ）**
センタースピーカーとサラウンドスピーカーのディレイタイムを設定します。 **（⇒ くわしくは 64〜65 ページ）**
フロントスピーカー以外の音量バランスを調整します。**（⇒ くわしくは 64〜65 ページ）**
静止中に発生する画面のブレや、小さな文字や画像の見えかたを設定します。 （「フィールド」「フレーム」⇒　69 ページ参照）
早送り時の音声のあり/なしを設定します。（DVD ビデオ、ビデオ CD のみ。）
4:3 サイズのテレビを接続しているとき、ワイドサイズで記録されたソフトを再生した場合の映りかたを設定します。（⇒　66 ページ「テレビ画面一覧表」参照）
ダイナミックレンジ （音量の大小の差）圧縮の入／切を設定します。（ドルビーデジタルのみ） “ 入 ” に設定すると、音量を小さくしても小声のセリフなどが聞きやすくなります。
静止時に、画像の種類（I/P/B）を表示するかしないかを設定します。 （「I/P/B」⇒ 69 ページ参照）
DVD オーディオに DVD ビデオ内容が入っている場合に、必要に応じて設定します。 “ する ”に設定すると、 DVD ビデオのメニューがすべて使えるようになります。

DVD ビデオモードは、ディスクトレイを開いたり電源を切ると “ 1 しない ” に戻ります。

「視聴制限」について

視聴制限を設定するには

「2 視聴制限」でレベル 7～0 を選び［ENTER］を押すと、暗証番号を入力する画面になります。

1. 数字ボタンで好みの暗証番号（4 桁）を入力する。

視聴制限
暗証番号4ケタを入力して
決定ボタンを押してください。
1 2 3 4
リターンボタンで取り消し

2. ［ENTER］を 2 回押す。
初期設定画面に戻ります。

お願い

暗証番号は忘れないようにしてください。

設定を変更するには

「視聴制限」をレベル 7～0 に設定した後、変更するには以下のように行ってください。

1. 初期設定画面で「視聴制限」を選び、［ENTER］を押す。
2. 数字ボタンで暗証番号（4 桁）を入力し、［ENTER］を押す。
3. 変更項目を選び［ENTER］を押す。
   1 ロック解除（レベルを 8 に戻します。）
   2 暗証番号変更
   3 レベル変更
   4 一時解除
   画面の指示に従って変更してください。

設定レベルで制限したディスクを入れると

以下の画面になります。この状態から電源を切るか、ディスクを取り出すまで視聴制限を一時的に解除することができます。

このタイトルはプレーヤーの視聴制限レベルを
こえています。
視聴制限のレベルを一時的に変更しますか？
する
しない

一時的に解除するには

1, カーソルボタン（▲▼）で“する”を選び、［ENTER］を押す。
2. 数字ボタンで暗証番号を入力する。
3. ［ENTER］を 2 回押す。
（［INPUT SELECTOR］で入力を切り換えると、一時解除は取り消されます。）

「スピーカー設定」について

5.1 ch のサラウンドサウンドを楽しむため別売りのアンプ・スピーカーを組み合わせた場合は、以下の設定が必要です。
まず、初期設定画面で「スピーカー設定」を選んでください。

スピーカーモード
接続したスピーカーに合わせて、あり/なしと大/小を設定します。
- あり/なしを正しく設定しないと、そのスピーカーチャンネルの音が出なくなります。
- 大/小を正しく設定しないと、スピーカーの特性を十分に生かせません。

ディレイタイム
スピーカーから音が出力されるタイミングを調整することで、視聴位置と各スピーカーとの距離のバラツキを補正します。

音量バランス
各スピーカーの音量バランスを調整します。

スピーカー設定画面

スピーカーモード

1. カーソルボタン（ ◄▲▼► ）でスピーカーを選び［ENTER］を押す。
2. カーソルボタン（ ▲▼ ）で、内容を変更する。　**例：サラウンド LS の場合**

あり（小）　**あり（大）**　**なし**

- 大/小は、そのスピーカーが100 Hz 以下が再生できる（大）か、再生できない（小）かで選んでください。

3. ［ENTER］を押す。

音量バランス

1. カーソルボタン（ ◄▲▼► ）で“ テスト ”を選び ［ENTER］ を押す。
   フロントスピーカー（L）から時計回りに、ザーというテスト信号が出ます。
   フロント（L） → センター → フロント（R）
   ↑　　　　　　　　　　↓
   サラウンド（LS） ← サラウンド（RS）
2. 調整したいスピーカーから信号が出ているときに、カーソルボタン（ ▲▼ ）で音量を調整する。
   フロントスピーカーの音量に合わせ、他のスピーカーを同じ音量にしてください。
   - フロントスピーカーは調整できません。
   - サブウーハーからはテスト信号は出ません。（実際の音を聞いた後、スピーカー設定画面を出して音量を変更してください。）
3. 各スピーカーの調整が終わったら［ENTER］を押す。
   テスト信号の出力が止まります。

ディレイタイム

1. カーソルボタン（ ◄▲▼► ）で変更するスピーカーのディレイタイムを選び［ENTER］を押す。
2. カーソルボタン（ ▲▼ ）で、数値を変更する。
   （下記「ディレイタイムの算出方法」参照）
3. ［ENTER］を押す。

ディレイタイムの算出方法

● センタースピーカー
左図の距離 D_F が D_C より短いか、もしくは等しい場合は、0 ms にします。

距離 $D_F－D_C$	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

● サラウンドスピーカー
左図の距離 D_F と D_S が等しい場合は、0 ms にします。

距離 $D_F－D_S$	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

設定が終了したら
カーソルボタンで絵表示の“ 終了 ”を選び［ENTER］を押す。

お知らせ

DVD オーディオの場合は、ソフト側の設定が優先され、スピーカーモードの設定通りに音が出ないことがあります。

言語番号一覧表

6565：アファル
6566：アブハジア
6570：アフリカーンス
6577：アムハラ
6582：アラビア
6583：アッサム
6588：アイマラ
6590：アゼルバイジャン
6665：バシキール
6669：ベロルシア（白ロシア）
6671：ブルガリア
6672：ビハール
6678：ベンガル（バングラ）
6679：チベット
6682：ブルターニュ
6765：カタロニア
6779：コルシカ
6783：チェコ
6789：ウェールズ
6865：デンマーク
6869：ドイツ
6890：ブータン
6976：ギリシャ
6978：英語
6979：エスペラント
6983：スペイン
6984：エストニア
6985：バスク
7065：ペルシャ
7073：フィンランド
7074：フィジー
7079：フェロー
7082：フランス
7089：フリジア
7165：アイルランド
7168：（スコットランド）ゲール
7176：ガリチア
7178：グアラニー
7185：グジャラト
7265：ハウサ
7273：ヒンディー
7282：クロアチア
7285：ハンガリー
7289：アルメニア
7365：インターリングア
7378：インドネシア
7383：アイスランド
7384：イタリア
7387：ヘブライ
7465：日本語
7473：イディッシュ
7487：ジャワ
7565：グルジア
7575：カザフ
7576：グリーンランド
7577：カンボジア
7578：カンナダ
7579：韓国（朝鮮）語
7583：カシミール
7585：クルド
7589：キルギス
7665：ラテン
7678：リンガラ
7679：ラオ
7684：リトアニア
7686：ラトビア（レット）
7771：マダガスカル
7773：マオリ
7775：マケドニア
7776：マラヤーラム
7778：モンゴル
7779：モルダビア
7782：マラッタ
7783：マライ（マレー）
7784：マルタ
7789：ビルマ
7865：ナウル
7869：ネパール
7876：オランダ
7879：ノルウェー
7982：オーリヤ
8065：パンジャブ
8076：ポーランド
8083：パシュト
8084：ポルトガル
8185：ケチュア
8277：レトロマンス
8279：ルーマニア
8285：ロシア
8365：サンスクリット
8368：シンド
8372：セルボクロアチア
8373：シンハラ
8375：スロバキア
8376：スロベニア
8377：サモア
8378：ショナ
8379：ソマリ
8381：アルバニア
8382：セルビア
8385：スンダ
8386：スウェーデン
8387：スワヒリ
8465：タミル
8469：テルグ
8471：タジク
8472：タイ
8473：ティグリニア
8475：トルクメン
8476：タガログ
8479：トンガ
8482：トルコ
8484：タタール
8487：トウイ
8575：ウクライナ
8582：ウルドゥー
8590：ウズベク
8673：ベトナム
8679：ヴォラピュック
8779：ウォロフ
8872：コーサ
8979：ヨルバ
9072：中国語
9085：ズールー

テレビ画面一覧表

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ（画質モード）との関係で以下の画面になります。

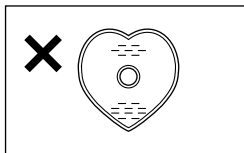
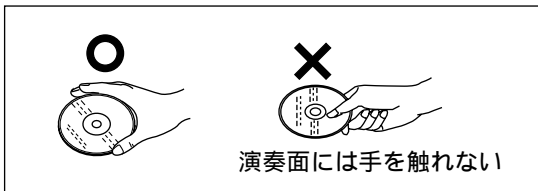
ソフト ＼ TV（画質）モード	4:3	16:9（フルモード）	16:9（ズームモード）	16:9（オートモード）
ワイドソフト（パン＆スキャン指定あり）	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
ワイドソフト（パン＆スキャン指定なし）	レターボックス（上下に黒い帯）	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
4:3 ソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面（左右に黒い帯）
4:3 ソフト（レターボックス）	レターボックス（上下に黒い帯）	左右にのびた画面（上下に黒い帯）	フル画面	左右両端がのびた画面（上下に黒い帯）

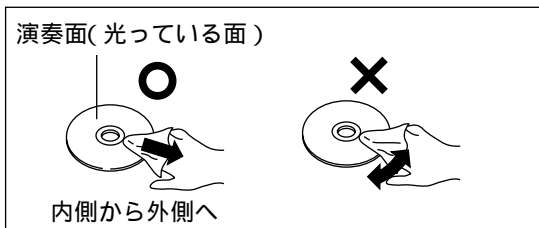
- ソフトや画質モードの呼びかたは、メーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側（または片側）をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。

DVD、CD、MD について

DVD、CD について

上記のマークが入ったものをご使用ください。

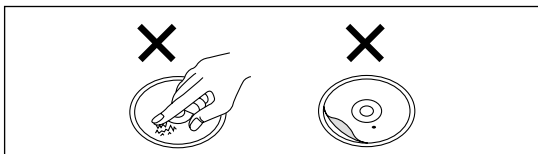
ただし、ハート型など、特殊形状のディスクは使わないでください。(機器の故障の原因になります)

持ちかた

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、後は空ぶきしてください。

露がついたら

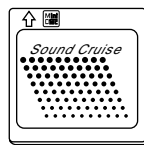
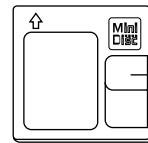
急に暖かい場所に持ち込んだときなどに露がつくことがあります。その場合は乾いた柔らかい布でふいてください。

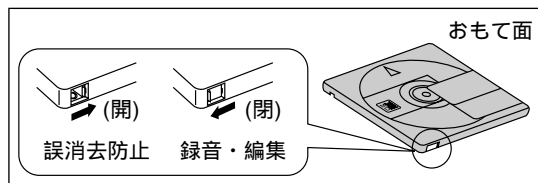
取扱上のお願い

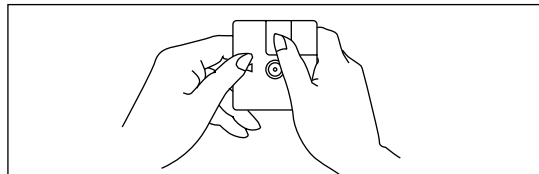
ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジンなどでふかない
- 紙やシールを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社以外の市販品は使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

MD について

MD の種類

演奏専用 MD
録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

録音用 MD
磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  (また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。)
- シャッターは開かない
  (万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。)

良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで、MD を定期的に清掃されることをおすすめします。
推奨品:
MD レンズクリーナー(品番 RP-CL310)
MD 録音ヘッドクリーナー(品番 RP-CL320)

(次ページに続く)

MD の録音・編集について

テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース(消去機能)で、いらない曲を消してから録音します。(上書き録音はできません)

MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです。
ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

MD の録音方式
- **音楽 CD や、別売りのデジタル機器(BS チューナーなど)をデジタル接続したときの録音**
  デジタル信号をそのままデジタルで録音します。ただし、この録音には SCMS という制限があります。(下記参照)
  なお、 DTS CD そのままデジタル録音しますが、トラックマークは記録されません。
- **DVD、ビデオ CD や、別売りのデジタル機器をアナログ接続したときの録音**
  デジタル信号 → アナログ信号 → デジタル信号の順に変換して録音します。
- **ラジオや、別売りのアナログ機器(アナログプレーヤーなど)の録音**
  アナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。(" コピーのコピー "の禁止。)
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

録音、編集時のお願い
録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。
" MD UTOC Writing "の点滅前に電源が切れると、録音、編集が記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先： (社)私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽及び映像作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店の BGM など)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	(03)3502-6551	中部支部	(052)583-7590
北海道支部	(011)221-5088	北陸支部	(0762)21-3602
盛岡支部	(0196)52-3201	京都支部	(075)251-0134
仙台支部	(022)264-2266	大阪支部	(06)6244-0351
大宮支部	(048)643-5461	大阪北支部	(06)6244-7077
東京支部	(03)3562-4455	神戸支部	(078)322-0561
西東京支部	(03)3232-8301	中国支部	(082)249-6362
東京イベントコンサート支部	(03)5286-1671	四国支部	(0878)21-9191
立川支部	(0425)29-1500	九州支部	(092)441-2285
横浜支部	(045)662-6551	鹿児島支部	(0992)24-6211
静岡支部	(054)254-2621	那覇支部	(098)863-1228

DVD、CD、MDの保管について

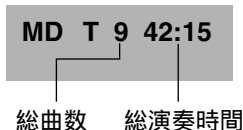
次のような場所に置かないでください
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

用語解説

共通

TOC（Table of Contents）(トック)
CD や MD ディスクには、音声信号とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた情報を TOC 情報といいます。
TOC 情報は、ディスクを入れたり、そのディスクの入力を選ぶと読み込まれます。（“TOC Reading”が点滅）またディスクを停止状態にすると、本体表示窓に TOC 情報が表示されます。

例：MD の場合

総曲数　総演奏時間

トラック
DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD、MD の小さな区切り。

チャプター
DVD ビデオの小さな区切り。

グループ
DVD オーディオで、トラックをいくつかのグループに分けたもの。

タイトル
DVD ビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール
バージョン 2.0 のビデオ CD で使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

MD

トラックマーク
録音部分に記録される区切り。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲番まで記録することができます。

UTOC（User Table of Contents）(ユートック)
利用者が自由に書き換えられる TOC。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“MD UTOC Writing”と表示され注意を促します。

MARKING (マーキング)
録音中にトラックマークを記録すること。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングする他、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

DVD の映像・音声

フレーム
動画の 1 コマ 1 コマのこと。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ（静止画像）を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド
1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。

フレームスチル/フィールドスチル
動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、2 つのフィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質はよくなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B
DVD で採用されている映像方式 MPEG2 では、1 画面（フレーム）を、以下の 3 つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。

I：I-Picture（フレーム内符号化）
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。

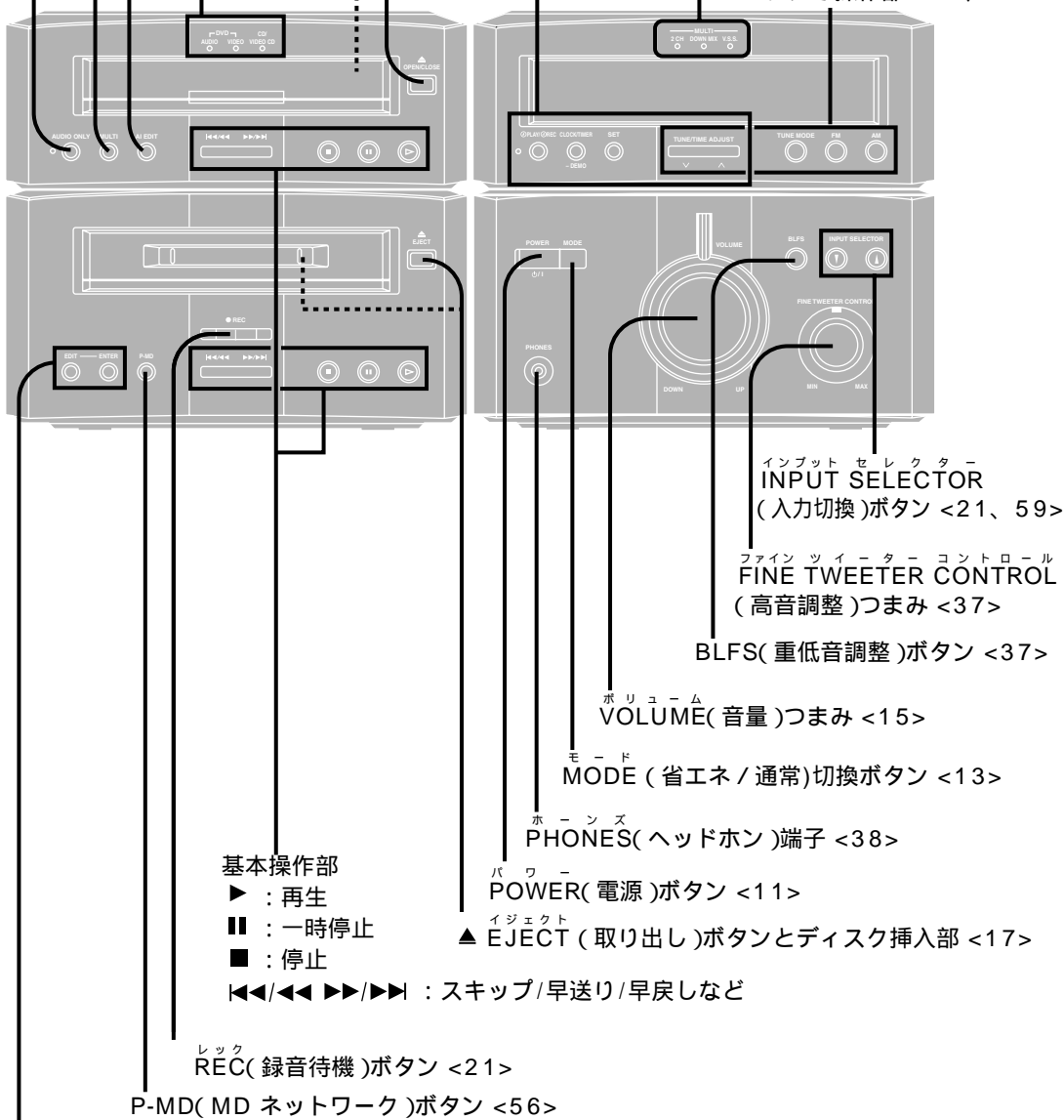
P：P-Picture（前方向予測符号化）
過去の Picture（I または P）から算出される画面。

B：B-Picture（両方向予測符号化）
前後の Picture（I または P）の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

Dolby Digital (ドルビー デジタル)
ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを収録できます。

DTS Digital Surround (ディーティーエス デジタル サラウンド)
DTS 社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

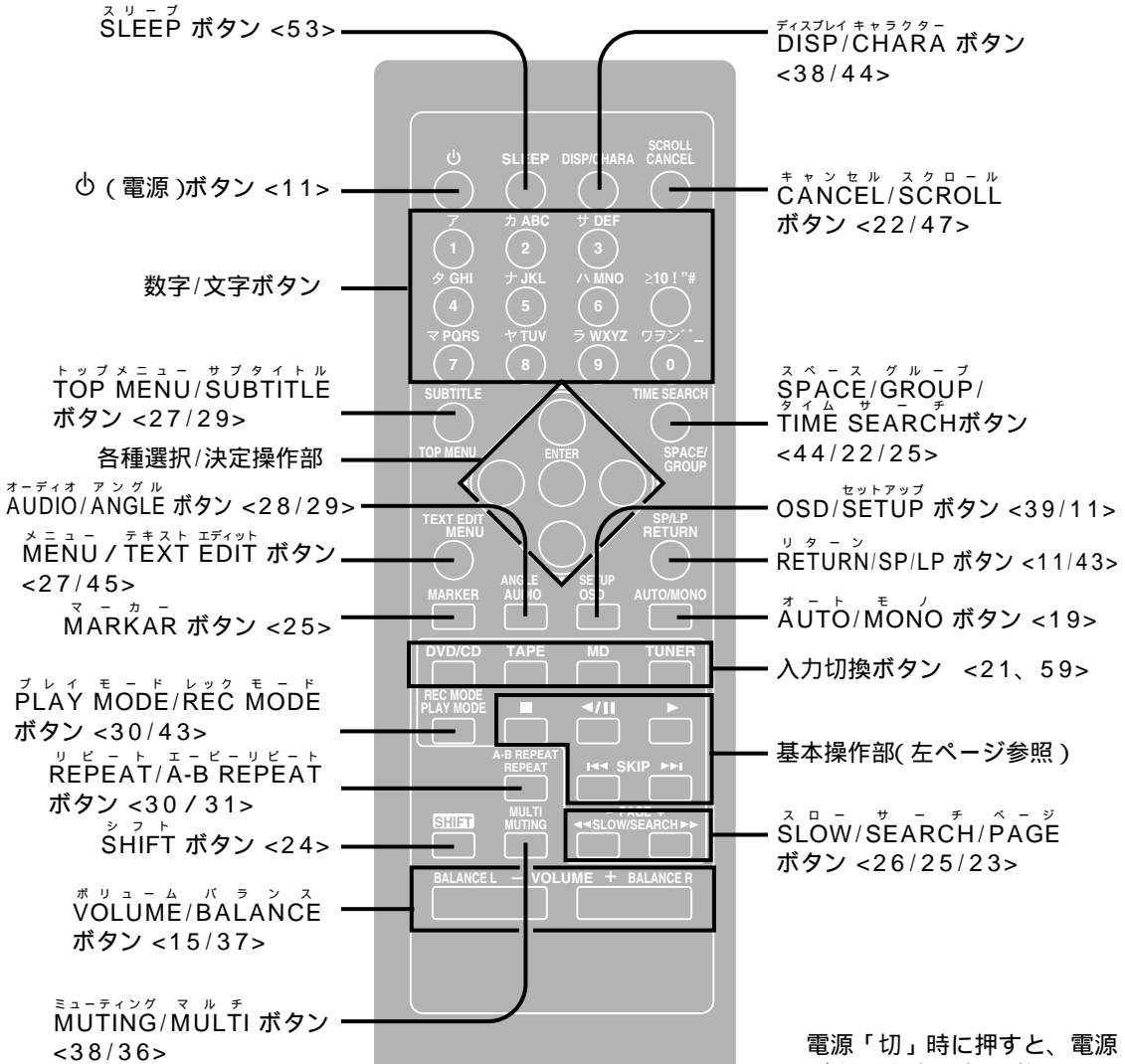
各部のなまえ

本体

< > 内の数字は参照ページを示しています。

MD 編集操作部 <48>

リモコン

< > 内の数字は参照ページを示しています。

※ 電源「切」時に押すと、電源が入り入力も切り換わります。
このとき音量は、設定してあったレベルまで徐々に上がります。

専用カセットデッキ RS-HDA710 (別売り) を接続している場合は

入力切換ボタンで“ TAPE ”を選ぶと、本機の入力がカセットデッキに切り換わるとともに、以下のボタンで操作することができます。

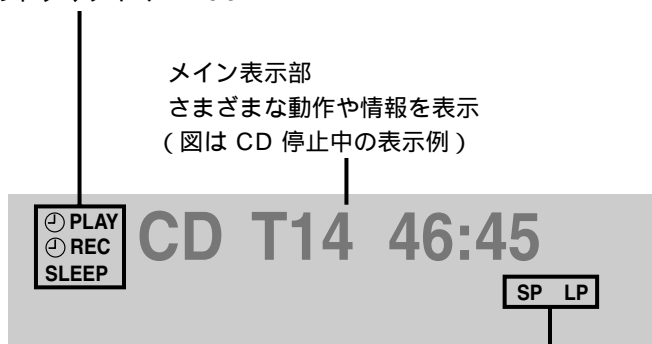
◄/II ►：再生

II ：一時停止

■ ：停止

◄◄ ►► ：早送り/巻戻し (再生中に押すと、頭出し)

表示部

< > 内の数字は参照ページを示しています。

こんな表示が出たら

< > 内の数字は参照ページを示しています。

共通

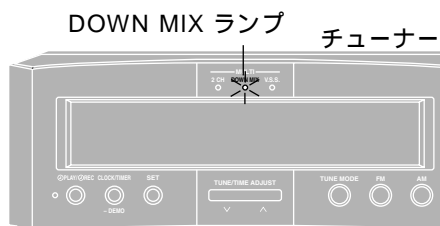
表示	意味	処理
‒‒：‒‒	電源コードを接続した直後か、停電があったため、時計が初期状態になっています。	時計を合わせてください。
ERROR	適切でない操作をしたか、または操作を間違えました。	本書をよくお読みの上、正しく操作してください。
ERROR TRACK	DVD オーディオで規格違反のトラックを再生しています。	規格違反のトラックは音声がでません。
F □□ （□は数字を表わしています。）	本機内に異常が発生しています。	一度電源を入れ直してみてください。表示が消えない場合は、販売店にご相談ください。
NO DISC	ディスクが入っていません。	ディスクを入れてください。
NO PLAY	再生できないディスクが入っています。	リージョン番号が違うDVD ビデオや、PAL 方式の DVD ビデオ、ビデオ CD は再生できません。<2>
	視聴制限した DVD ビデオが入っています。	視聴制限を解除（または一時解除）してください。<64>
U 70	フラットケーブルがはずれかけている可能性があります。	フラットケーブルを接続し直してください。<8> それでも表示が消えない場合は故障です。販売店にご相談ください。

ＭＤ 操作時

表示	意味	処理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	聞くときは録音済み MD を入れてください。録音はそのまま行えます。
CANNOT COMBINE	コンバインできない曲をつなごうとしました。	MD のシステム上の制約により、できません。
CANNOT DIVIDE	ディバイドできない曲を分けようとしました。	MD のシステム上の制約により、できません。
CANNOT EDIT	プログラム/ランダム再生中に MD 編集をしようとしました。	プログラム/ランダム再生を解除してください。
CANNOT REC	入力を MD にして、MD に録音しようとしました。	録音するソースに切り換えてください。
DISC ERROR	MD が壊れている可能性があります。	別の MD を入れてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、再度操作してください。
LOAD ERROR/ Press EJECT!	MD を出し入れしたとき、異常が発生しました。	MD を取り出し、[▲ EJECT] ボタンを押してください。 挿入方向と、シャッターが閉じていることを確認して、もう一度入れてください。それでも表示が消えないときは故障です。販売店にご相談ください。
MD DIGITAL IN UNLOCK	デジタル（光）端子につながずに録音しようとしました。	オプティカル・デジタル・ケーブルの接続を確認してください。<9>
MD DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取りかえてください。
MD DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。<67>
MD PLAYBACK DISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に入れ替えてください。
SCMS CANNOT COPY	デジタルコピーしたソースを録音しようとしました。	ソースをアナログ端子に接続して録音してください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	本機では、その曲だけの消去は行えません。（オールイレースを使った全曲消去はできます。） 可能であれば、プロテクトを行ったデッキで消去してください。
MD UTOC FULL	254 曲記録した状態で録音しようとしました。	MD のシステム上の制約により、できません。
	文字を書き込めるだけの空きがありません。	不要な名前を削除するか、他の名前を短くしてください。

DOWN MIX ランプが点滅している場合は

DVD オーディオのソースが、多チャンネル音声のダウンミックス (2 ch に集約) を禁止していることを示しています。(本体表示窓では “ CANNOT DOWN MIX ” が表示される。)

この場合は、ソース側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。（ヘッドホンでも正常に聞けません。）ディスクに同じ曲が 2 ch で収録してある場合は、リモコンの [AUDIO] ボタンで切り換えるなどしてお聞きください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認・処置ください	参照ページ
電源/タイマー	**電源が入らない。**	● 電源コードやフラットケーブルは正しく接続されていますか。	8、9
	電源を切っているのに、いろいろな表示が出る。	● デモ機能が働いています。不要な場合は「切」にしてください。	12
	電源を切った後、時計が表示されない。	●「ECO」モードのときは、自動的には表示されません。	12
	タイマーが動作しない。	● おめざめタイマーと留守録タイマーを設定したときは、電源を切らないと動作しません。 ● 動作させたいタイマーの表示を点灯させてください。	52 54
音声/映像	**再生しても音が出ない。 または音がおかしい。**	● 接続は正しくされていますか。5.1 ch のシステムを組んでいる場合は、スピーカーの設定も確認してください。 ● MULTI 表示は正しく点灯していますか。外部機器 (5.1 ch 用) との組み合わせかたやソースに合わせて切り換えてください。 ● DOWN MIX ランプが点滅している場合は、DVD オーディオのディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。 ● V.S.S. をスピーカーで楽しむ場合は、ヘッドホン V.S.S. から通常の V.S.S. に切り換えてください。それでも音がおかしい場合は、V.S.S. を解除してください。 ● 本体表示窓に“ ERROR TRACK ”が表示されている場合は、規格違反の DVD オーディオトラックを再生しています。 ● オーディオオンリー機能をオンしたとき、テレビによっては映像だけでなく、音声も出なくなる場合があります。	8, 60 64 14 60 73 36 41
	ラジオ放送で、雑音やひずみが多い。	● 付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。 AMループアンテナを本機から離してください。 送信所が遠い、または近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを使うのも一つの方法です。 ● テレビやパソコンと同時に使用したり、ビデオデッキや BS チューナーの電源が入っていませんか。また、携帯電話などの充電器が近くにあると、雑音が発生する場合があります。	58
	映像が映らない。 または画面サイズがおかしい。	● テレビは正しく接続されていますか。 ● 接続したテレビに合わせて正しく設定してください。 ● テレビの入力を、本機との接続に合わせて切り換えてください。 ● オーディオオンリーをオンにしているときは、映像は映りません。	10 11 37
	テレビ画面が乱れる。	● 本機の操作によって一時的に乱れることもありますが、故障ではありません。	
	ラジオ電波による雑音や、テレビ画面に障害が出る。	● 本機とテレビの距離を離したり、使っていない機器の電源を切ってみてください。本機やテレビで室内の簡易型アンテナを使用している場合は、屋外アンテナを使用するのも一つの方法です。	58
表示	**テレビに画面メッセージが出ない。**	● オンスクリーン設定の「画面メッセージ」を、“ 入 ”にしてください。	62
	GUI 画面の表示が切れる。	● オンスクリーン設定の「色と位置」で、GUI 画面の位置を変更してください。	62

	こんなときは	ここをご確認・処置ください	参照ページ
操作(DVD・CD)	**ボタン操作ができない。**	● DVD の場合、ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	
	再生ボタンを押しても、再生が始まらない。 またはすぐに止まる。	● 本機で再生できないディスクを入れていませんか。 ● DVD や CD が汚れている場合は、きれいにふいてください。 ● DVD や CD はラベル面を上にして入れてください。 ● 寒いところから暖かい部屋に持って入った場合などは、本機に露付きが発生していることがあります。 1 時間ほど放置してください。	2 67 14
	字幕が出ない。	● 字幕の設定で“ 入 ”にしてください。	29
	音声言語や字幕言語が切り換えられない。	● DVD に複数の言語が入っていません。 ● リモコンの [AUDIO] [SUBTITLE] ボタンではなく、メニューでのみ切り換えられるタイプの DVD もあります。	28 29
	あらかじめ設定した音声言語や字幕言語にならない。	● DVD にその言語が記録されていません。また、ディスクの設定を優先する DVD もあります。	28 29
	アングルを切り換えられない。	● マルチアングルの DVD でも、それが記録された場面以外では切り換わりません。	29
	カラオケディスクで連続再生されてしまう。	● カラオケディスクには、1 曲ごとにメニューに戻らないタイプのものもあります。	
	視聴制限をしたときの暗証番号を忘れた。 初期設定を工場出荷時の状態に戻したい。	● 以下の操作を行うと、初期設定が工場出荷時の状態に戻り、視聴制限なども解除することができます。 停止状態で、DVD オーディオ/ビデオプレーヤーの [■] を押しながら、リモコンの [≥10] を押す。(テレビ画面に“ オールクリア ”表示が出て、初期状態に戻ると消えます。)	
操作(MD)	**MD を入れても、自動的に引き込まれない。**	● 排出動作中の MD に無理な力を加えませんでしたか。 電源を一度入れ直してみてください。	
	再生できない。	● 寒いところから暖かい部屋に持って入った場合などは、本機に露付きが発生していることがあります。 1 時間ほど放置してください。	
	録音や編集ができない。	● MD の誤消去防止つまみが開いている場合は、閉じてください。 ● MD の記録容量がいっぱいになっている場合は、いらない曲を消すか、別の MD を用意してください。	67 51
	曲数が最大でないのに“ UTOC FULL ”が表示される。	● 部分録音や部分消去を繰り返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されるため、このようなことが起こる場合があります。	
	コンバイン/ディバイドができないことがある。		
	曲を消しても残り時間が増えない。		
	早送り/早戻しすると音が途切れることがある。		
	録音時間と残り時間を足しても、MD の最大録音時間にならない。	● MD は、2 秒以下の音声を録音する場合でも約 2 秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が短くなります。	
リモコン	**リモコンが働かない。**	● 乾電池の (+) (−) を正しく入れてください。 ● 乾電池が消耗している場合は、新しい乾電池と交換してください。 ● 受信部や送信部にほこりがついている場合は、取り除いてください。	10

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい。**	現在、アナログプレーヤーをアンプの「フォノ」や「プレーヤー」などに接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。そのまま接続すると音が小さくなります。	57
	有線放送をつなぎたい。	後面の「EXT」端子に接続します。	57
	他のスピーカーをつなぎたい。	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーを組み合わせることにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になる他、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。 なお、他のアンプを介してサラウンドスピーカーやセンタースピーカーを接続し、DVD の 5.1 ch サウンドを楽しむことはできます。	60
	マイクをつなぎたい。	本機にマイク端子はありません。	
再生/録音	**DVD がサラウンドで聞こえないが。**	DVD に入っている音声が 2 ch 以下の場合もあります。	
	DVD 再生時、他のソースに比べて音が小さい。	5.1 ch の音声信号はダイナミックレンジ（音量大小の差）が広いため、小さく聞こえる場合があります。	
	BS（CS）チューナーをつないだが、音が小さい。	BS（CS）チューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。	59
	外国で買ってきた映像ソフトは再生できるか。	映像方式やリージョン番号（DVD ビデオのみ）が本機の仕様と一致していれば再生できます。	2
	録音中に、音量や音質を変えたらどうなるか。	音量や音質を変えても録音には影響しません。ただし、[MULTI] ボタンで音場を切り換えると音が途切れます。	36
	DVD をビデオテープなどにで録画できるか。	ほとんどの DVD ディスクは、コピーの禁止処理がされており、録画できません。	
	外部機器からの留守録を行うには。	外部機器のタイマーも希望時刻に合わせてください。本機のタイマーは外部機器には働きません。	54
その他	**電源プラグを差し込む向きは。**	どちらでもけっこうでが、向きを変えることによって音質が少し良くなる場合もあります。	
	引っ越しても本機を使えるか。	東日本、西日本に関係なく使えます。（電源の周波数は自動的に切り換わります。）	
	海外でも本機を使えるか。	本機は国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	77

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機のお手入れについて

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

主な仕様

アンプ SE-HDA710

■ 低域側
実用最大出力
THD 10 %、100 Hz、4 Ω、両チャンネル駆動 2 × 15 W
負荷インピーダンス 4 Ω

■ 中域側
実用最大出力
THD 10 %、1 kHz、8 Ω、両チャンネル駆動 2 × 10 W
全高調波歪率
1/2 最大出力、1 kHz、8 Ω 0.09 %
SN 比 81 dB
SN 比 (2 V 入力、定格出力時) 100 dB
負荷インピーダンス 8 Ω

■ 高域側
実用最大出力
THD 10 %、10 kHz、4 Ω、両チャンネル駆動 2 × 5 W
負荷インピーダンス 4 Ω

■ アンプ部共通
総合出力 60 W
ヘッドホン
ジャック ステレオミニ (M3)
適合インピーダンス 16〜32 Ω

■ 総合
電源 AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 90 W
寸法 (幅×高さ×奥行き) 196×105.8×261 mm
質量 約 3.6 kg

DVD オーディオ／ビデオプレーヤー SL-HDA710

■ 再生できるディスク
DVD-AUDIO/VIDEO
8/12 cm、片面 1 層/片面 2 層/両面 (各面 1 層)
CD (CD-DA、VIDEO-CD) 8/12 cm

■ 音声出力
出力端子数 5.1 (FL、FR、SL、SR、C、SW)
出力レベル (1.7 kΩ) 1.4 V

■ 映像出力
出力形式 NTSC
出力レベル (75 Ω)
コンポジット 1 Vp-p
S-Video Y 1 Vp-p
S-Video C 0.286 Vp-p (NTSC)

■ デジタル出力
出力端子 光出力 × 1

■ ピックアップ
波長 668 nm

■ 総合
電源 アンプから供給
寸法 (幅×高さ×奥行き) 196×76.8×293 mm
質量 約 1.7 kg

チューナー ST-HDA710

■ プリアンプ部
入力感度/インピーダンス
EXT IN 250 mV/15 kΩ
P-MD/AUX 40 mV/8 kΩ
出力レベル/インピーダンス
EXT OUT 250 mV/1.5 kΩ

■ チューナー部
FM 受信周波数帯域
76.0〜108.0 MHz (0.1 MHz ステップ)
アンテナ端子 75 Ω 不平衡
AM 受信周波数帯域
522〜1629 kHz (9 kHz ステップ)

■ タイマー部
時計 電源同期方式、24 時間表示
タイマー機能
再生タイマー 1 回または毎日
録音タイマー 1 回または毎日
スリープタイマー 30 分間隔、最高 120 分

■ 総合
電源 アンプから供給
寸法 (幅×高さ×奥行き) 196×76.8×245 mm
質量 約 1.1 kg

MD デッキ SJ-HDA710

■ デジタル入出力
入力端子 光入力 × 2
出力端子 なし

■ 信号フォーマット
サンプリング周波数 44.1 kHz
サンプリングレート・コンバーター内蔵

■ ピックアップ
波長 780 nm

■ 総合
電源 アンプから供給
寸法 (幅×高さ×奥行き) 196×105.8×244 mm
質量 約 1.3 kg

スピーカーシステム SB-HDA710

型式 3 ウェイ 3 スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー
ツイーター 2.5 cm セミドームタイプ
ミッドレンジ 12 cm コーンタイプ
スーパーウーハー 14 cm コーンタイプ
インピーダンス
HIGH 4 Ω
MID 8 Ω
LOW 4 Ω
許容入力
HIGH 30 W (MUSIC) 15 W (DIN)
MID 60 W (MUSIC) 30 W (DIN)
LOW 60 W (MUSIC) 30 W (DIN)
出力音圧レベル 90 dB/W (1.0 m)
クロスオーバー周波数 130 Hz、5.5 kHz
再生周波数帯域 45 Hz〜 70 kHz (−16 dB)
60 Hz〜 50 kHz (−10 dB)

■ 総合
寸法 (幅×高さ×奥行き) 173×363.5×297.5 mm
質量 約 6.4 kg

電源「切」時の消費電力
NORMAL モード時：約 9 W
ECO モード時：約 0.4 W

注) この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾商品。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ **保証書（別添付）**
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ **修理を依頼されるとき**
74～75 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、DVD オーディオシステムコンポーネントの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
（この期間は通商産業省の指導によるものです。）
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） 0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0600

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。
著作権 1992 ー 1999 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の商標です。
著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

Panasonic

DVD オーディオシステムコンポーネント　SC-HDA710　取扱説明書

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用の DVD オーディオシステムコンポーネントの点検を!**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音や映像が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　ー	品番	SC-HDA710
お客様ご相談窓口	☎（　　）　ー	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5436-S
H0700SG1080